

令和8(2026)年度

競技力向上事業



目次

I 競技力向上事業の概要

栃木県競技力向上対策本部組織図・推進イメージ	1
栃木県競技力向上対策本部 令和8(2026)年度事業計画	2
栃木県競技力向上対策本部 令和8(2026)年度収支予算書	3
令和8(2026)年度競技力向上事業行事予定表	4
令和8(2026)年度競技力向上事業実施要項	6

II 競技力向上事業の事務手続き

令和8(2026)年度栃木県競技力向上事業費補助金事務手続き	38
栃木県競技力向上対策本部補助金交付要綱	39
栃木県競技力向上事業費補助金交付要領	43
令和8(2026)年度栃木県競技力向上事業費補助金対象経費等一覧	45
スポーツ用具整備事業実施要領	48
強化拠点校支援事業補助金交付要領	51
指導者連携強化事業補助金交付要領	53
中体連・高体連普及強化活動支援事業補助金交付要領	55
上級指導者養成事業実補助金交付要領	57
栃木県競技力向上対策本部後援名義等の使用承認に関する事務取扱要領	59

III 国民スポーツ大会関係

第79回国民スポーツ大会関東ブロック大会成績概況	63
第79回国民スポーツ大会関東ブロック大会各県通過状況一覧	64
第79回国民スポーツ大会成績概況	66
国民スポーツ大会総合成績算出方法について	69
国民体育(スポーツ)大会における本県総合成績の推移	70
国民体育(スポーツ)大会のあゆみ	72
第80回国民スポーツ大会関東ブロック大会競技日程・会場・アクセス	74
第80回国民スポーツ大会関東ブロック大会代表数一覧	75
第80回国民スポーツ大会競技日程・会場一覧	76
第81回国民スポーツ大会冬季大会競技日程・会場一覧	78

IV 資料

令和7(2025)年度全国中学校体育大会等の上位成績	83
令和7(2025)年度全国高等学校総合体育大会等の上位成績	84
栃木県競技力向上対策本部事務局案内図	85
関係連絡先一覧	86

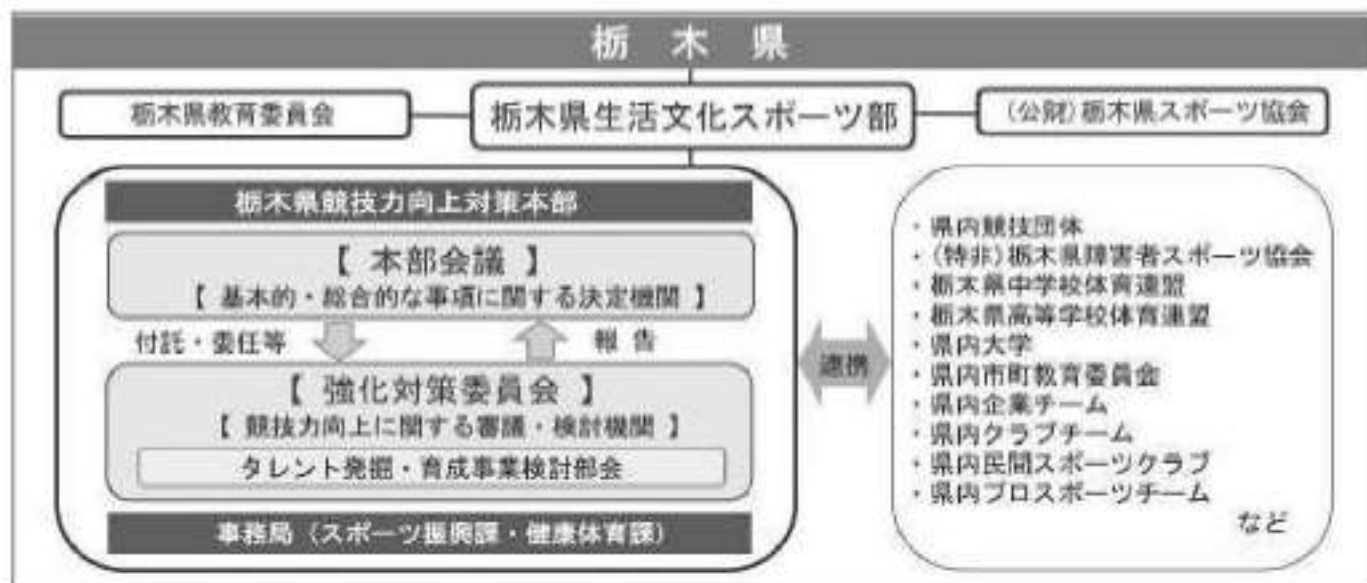
V 栃木県競技力向上基本計画

I

競技力向上事業の概要



栃木県競技力向上対策本部の組織図



栃木県競技力向上基本計画 推進イメージ

年度	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)
国体/国スポ開催地	栃木	鹿児島	佐賀	滋賀	青森	宮崎	長野	群馬	鳥根
国スポ総合順位	2位	16位	25位	21位	(目標) 国スポ天皇杯・皇后杯19位以内				
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> □ 持続可能な競技力の向上を図っていくため、県内の競技力向上におけるアスリート育成・育成・強化システムの確立 □ 国体スポーツ大会の総合成績における上位維持 □ オリンピック・パラリンピック競技大会に代表される各種国際大会等に本県産のアスリートを多数輩出 				<ul style="list-style-type: none"> □ 持続可能な競技力の向上 □ 国体スポーツ大会の総合成績における上位維持 □ 各種国際大会等に本県産のアスリートを多数輩出 				
計画の推進	Ⅰ 競技力の維持・組織運営体制の強化 Ⅱ 次世代アスリートの発掘・育成・強化 Ⅲ 指導者の養成・資質向上 Ⅳ スポーツ区・科学の活用				Ⅰ 競技力向上のための組織運営体制の強化 Ⅱ アスリートの発掘・育成・強化 Ⅲ 指導者の養成・資質向上 Ⅳ スポーツ区・科学の活用				
イベント等	いちい一会とちぎ国体・とちぎ大会 パリオリンピック・パラリンピック ミッソギョウオリンピック・パラリンピック 競技力向上基本計画見直し				ロサンゼルスオリンピック・パラリンピック シドニーオリンピック・パラリンピック 競技力向上基本計画見直し				
栃木県スポーツ振興計画	計画期間(5年)※2021-2025 改定				← 計画期間(5年)※2026-2030 改定 →				

栃木県競技力向上対策本部
令和8(2026)年度競技力向上事業計画

単位：千円

柱	No.	事業名	種別	令和8 (2026)年度 予算	概要
I 競技力の維持・組織運営体制の強化	1	競技力向上対策本部の運営	継続	2,949	1 本部会議の開催 2 強化対策委員会の開催 3 因スポ視察・調査、対策本部の運営等
	2	チームとちぎ育成強化事業	継続	108,876	とちぎ国体の成果を一過性のものでせず、持続可能な競技力向上に向けて、競技団体が実施する強化合宿等を支援 1 傷害保険加入費 2 競技団体に対する助成(41競技団体)
	3	有望選手・チーム強化支援事業	継続	23,080	全国・国際スポーツ大会等で活躍が期待される選手やチームの強化合宿等を支援(選手：A指定、B指定、チーム：S指定、A指定)
	4	アスリート就職支援事業	継続	47	成年選手の確保のため、国スポでの活躍が期待されるトップアスリートの県内企業等への就職を支援 1 職業紹介所「とちぎアスリート・キャリアサポートセンター」の運営
	5	スポーツ用具整備事業	継続	935	競技力の向上に直接効果があり、競技規則の変更等により緊急に整備する必要がある高額なスポーツ用具の購入を支援
	6	強化拠点校支援事業	新規	14,400	高体連が指定した重点拠点校を対象に、県内外の強化練習会や県外遠征等の活動を支援
	7	指導者連携強化事業	新規	1,155	ジュニア世代(中学)から成年世代のまでの指導者間の連携強化(情報交換や研修)に取り組む競技団体を支援
II アスリートの発掘・育成・強化	8	タレント発掘・育成事業	継続	11,041	本県を代表するスポーツ選手を育成するため、発掘・育成プログラム及びバスウェイプログラムなどを実施 1 タレント発掘・育成事業検討部会の開催 2 発掘プログラム(小学生)の実施 3 育成プログラム(小4～中3年生)の実施 4 バスウェイプログラムの実施
	9	次世代アスリート育成強化事業	継続	23,392	未来の競技力向上の中心となる世代の育成・強化のため、競技団体が実施する強化練習会等を支援 1 「チームとちぎジュニア選手」認定・競技団体の推薦→認定証授与 2 競技団体に対する助成・遠征合宿や強化練習会の開催等 3 ジュニアクラブチーム強化指定
	10	中体連普及強化活動支援事業	継続	12,368	中体連が実施する各種強化支援活動を支援 1 中学校スポーツ活動普及奨励事業 2 関東・全国大会開催特別強化 3 指導者育成事業
	11	高体連普及強化活動支援事業	継続	7,199	高体連が実施する各種強化支援活動を支援 1 関東・全国大会開催特別強化 2 指導者育成事業 3 指導者養成、中・高・大連携事業
	12	ジュニアクラブチーム強化指定事業	拡充	3,000	中体連に専門部のない競技クラブや中体連に専門部があるが、中体連に所属しない選手で構成されるクラブ等の強化活動を支援
	13	オリパラアスリート強化支援事業	継続	15,840	オリンピック・パラリンピック競技大会等の出場を目指す本県ゆかりのアスリートの強化活動を支援
III 指導者の養成・資質向上	14	チームとちぎ指導者養成事業	継続	275	41競技団体・全種別における指導者の資質向上を図るための講習会等の開催
	15	トップレベルコーチ招へい事業	継続	5,863	41競技団体・全種別における指導者養成を図るための講習会等の開催
	16	上級指導者養成事業	新規	2,069	指導者を育成できる高い指導力と倫理観を兼ね備えた上級指導者の養成
IV 医・科学の活用	17	スポーツ医・科学サポート事業	継続	23,311	国スポ等における選手のパフォーマンス向上を目的とした支援 1 帯同トレーナー(公認アスレティックトレーナー)の派遣等 2 トップアスリートサポート(TISの活用) (チーム・アスリートサポート、U18サポート等)
				255,800	

栃木県競技力向上対策本部
令和8(2026)年度収支予算書

1 収入

(単位：千円)

科 目	令和8 (2026)年度 予算額 (A)	令和7 (2025)年度 予算額 (B)	比較増減 (A-B)	備 考
栃木県負担金	255,800	287,476	▲ 31,676	
雑収入	72	20	52	預金利息
合 計	255,872	287,496	▲ 31,624	

2 支出

(単位：千円)

科 目	令和8 (2026)年度 予算額 (A)	令和7 (2025)年度 予算額 (B)	比較増減 (A-B)	備 考
1 とちぎ競技力向上事業費	252,851	284,928	▲ 32,077	
(1) 競技力の維持・組織運営体制の強化	148,493	138,318	10,175	
ア チームとちぎ育成強化事業費	108,876	108,726	150	保険料単価の増
イ 有望選手・チーム強化支援事業費	23,080	26,840	▲ 3,760	指定数の変更による減
ウ アスリート就職支援事業費	47	47	0	
エ スポーツ用具整備事業費	935	2,705	▲ 1,770	補助内容の変更による減
オ 強化拠点校支援事業費	14,400		14,400	新規
カ 指導者連携強化事業費	1,155		1,155	新規
(2) アスリートの発掘・育成・強化	72,840	79,264	▲ 6,424	
ア タレント発掘・育成事業費	11,041	12,337	▲ 1,296	開催方法改善による減
イ 次世代アスリート育成強化事業費	23,392	36,717	▲ 13,325	中体連独立による減
ウ 中体連普及強化活動支援事業費	12,368		12,368	
エ 高体連普及強化活動支援事業費	7,199	13,573	▲ 6,374	強化拠力校独立による減
オ ジュニアクラブチーム強化指定事業費	3,000		3,000	次世代から独立(拡充)
カ オリパラアスリート強化支援事業費	15,840	16,637	▲ 797	指定選手の減
(3) 指導者の養成・資質向上	8,207	45,332	▲ 37,125	
ア チームとちぎ指導者養成事業費	275	549	▲ 274	
イ トップレベルコーチ招へい事業費	5,863	8,585	▲ 2,722	回数の減
ウ 上級指導者養成事業費	2,069		2,069	新規
エ スポーツ指導員配置事業費		36,198	▲ 36,198	事業年度経過による廃止
(4) スポーツ医・科学の活用	23,311	22,014	1,297	
ア スポーツ医・科学サポート事業費	23,311	22,014	1,297	支援チーム数の増
2 競技力向上対策本部運営費	3,021	2,568	453	預金利息含む
合 計	255,872	287,496	▲ 31,624	

令和8(2026)年度競技力向上事業 行事予定表

第1四半期 (4/1~6/30)				第2四半期 (7/1~9/30)							
4月		5月		6月		7月		8月		9月	
1	水		金		月		水	土	土	土	土
2	木		土		火		木	日	日	日	日
3	金		日	国民の日	水		金				
4	土		月	入浴の日	木		土				
5	日		火	こどもの日	金	国定休日(5/4、5/5)~(7日)	日	日	日	日	日
6	月		水	勤労感謝の日	土		月				
7	火		木		日		火				
8	水		金		月		水				
9	木		土		火		木				
10	金		日		水		金				
11	土		月		木		土				
12	日		火		金		日				
13	月		水		土		月				
14	火		木	競技団代表者会議 第1回指導者養成向上研修会 (総合体育センター)	日		火				
15	水		金		月		水				
16	木		土		火		木				
17	金		日		水		金				
18	土		月		木		土				
19	日		火		金		日				
20	月		水		土		月				
21	火		木		日		火				
22	水		金		月		水				
23	木		土		火		木				
24	金		日		水		金				
25	土		月		木		土				
26	日		火		金		日				
27	月		水		土		月				
28	火		木		日		火				
29	水		金		月		水				
30	木		土		火		木				
31	金		日		水		金				
32	土		月		木		土				
33	日		火		金		日				
34	月		水		土		月				
35	火		木		日		火				
36	水		金		月		水				
37	木		土		火		木				
38	金		日		水		金				
39	土		月		木		土				
40	日		火		金		日				
41	月		水		土		月				
42	火		木		日		火				
43	水		金		月		水				
44	木		土		火		木				
45	金		日		水		金				
46	土		月		木		土				
47	日		火		金		日				
48	月		水		土		月				
49	火		木		日		火				
50	水		金		月		水				
51	木		土		火		木				
52	金		日		水		金				
53	土		月		木		土				
54	日		火		金		日				
55	月		水		土		月				
56	火		木		日		火				
57	水		金		月		水				
58	木		土		火		木				
59	金		日		水		金				
60	土		月		木		土				
61	日		火		金		日				
62	月		水		土		月				
63	火		木		日		火				
64	水		金		月		水				
65	木		土		火		木				
66	金		日		水		金				
67	土		月		木		土				
68	日		火		金		日				
69	月		水		土		月				
70	火		木		日		火				
71	水		金		月		水				
72	木		土		火		木				
73	金		日		水		金				
74	土		月		木		土				
75	日		火		金		日				
76	月		水		土		月				
77	火		木		日		火				
78	水		金		月		水				
79	木		土		火		木				
80	金		日		水		金				
81	土		月		木		土				
82	日		火		金		日				
83	月		水		土		月				
84	火		木		日		火				
85	水		金		月		水				
86	木		土		火		木				
87	金		日		水		金				
88	土		月		木		土				
89	日		火		金		日				
90	月		水		土		月				
91	火		木		日		火				
92	水		金		月		水				
93	木		土		火		木				
94	金		日		水		金				
95	土		月		木		土				
96	日		火		金		日				
97	月		水		土		月				
98	火		木		日		火				
99	水		金		月		水				
100	木		土		火		木				
101	金		日		水		金				
102	土		月		木		土				
103	日		火		金		日				
104	月		水		土		月				
105	火		木		日		火				
106	水		金		月		水				
107	木		土		火		木				
108	金		日		水		金				
109	土		月		木		土				
110	日		火		金		日				
111	月		水		土		月				
112	火		木		日		火				
113	水		金		月		水				
114	木		土		火		木				
115	金		日		水		金				
116	土		月		木		土				
117	日		火		金		日				
118	月		水		土		月				
119	火		木		日		火				
120	水		金		月		水				
121	木		土		火		木				
122	金		日		水		金				
123	土		月		木		土				
124	日		火		金		日				
125	月		水		土		月				
126	火		木		日		火				
127	水		金		月		水				
128	木		土		火		木				
129	金		日		水		金				
130	土		月		木		土				
131	日		火		金		日				
132	月		水		土		月				
133	火		木		日		火				
134	水		金		月		水				
135	木		土		火		木				
136	金		日		水		金				
137	土		月		木		土				
138	日		火		金		日				
139	月		水		土		月				
140	火		木		日		火				
141	水		金		月		水				
142	木		土		火		木				
143	金		日		水		金				
144	土		月		木		土				
145	日		火		金		日				
146	月		水		土		月				
147	火		木		日		火				
148	水		金		月		水				
149	木		土		火		木				
150	金		日		水		金				
151	土		月		木		土				
152	日		火		金		日				
153	月		水		土		月				
154	火		木		日		火				
155	水		金		月		水				
156	木		土		火		木				
157	金		日		水		金				
158	土		月		木		土				
159	日		火		金		日				
160	月		水		土		月				
161	火		木		日		火				
162	水		金		月		水				
163	木		土		火		木				
164	金		日		水		金				
165	土		月		木		土				
166	日		火		金		日				
167	月		水		土		月				
168	火		木		日		火				
169	水		金		月		水				
170	木		土		火		木				
171	金		日		水		金				
172	土		月		木		土				
173	日		火		金		日				
174	月		水		土		月				
175	火		木		日		火				
176	水		金		月		水				
177	木		土		火		木				
178	金		日		水		金				
179	土		月		木		土				
180	日		火		金		日				
181	月		水		土		月				
182	火		木		日		火				
183	水		金		月		水				
184	木		土		火		木				
185	金		日		水		金				
186	土		月		木		土				
187	日		火		金		日				

令和8(2026)年度競技力向上事業 行事予定表

第3四半期 (10/1~12/31)				第4四半期 (1/1~3/31)							
10月		11月		12月		1月		2月		3月	
1	木	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
2	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
3	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
4	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
5	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
6	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
7	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
8	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
9	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
10	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
11	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
12	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
13	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
14	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
15	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
16	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
17	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
18	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
19	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
20	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
21	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
22	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
23	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
24	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
25	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
26	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
27	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
28	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
29	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
30	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
31	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火

とちぎ県選手権大会
アイスホッケー(男子)
(10/10)

文化祭

アイスホッケー(男子)
(10/10)

全県選手権大会
アイスホッケー(男子)

第1回選手権大会
アイスホッケー(男子)
(2/20)

とちぎ県選手権大会
アイスホッケー(男子)
(10/10)

第1回選手権大会
(開催地)
アイスホッケー(男子)
(2/20)

アイスホッケー(男子)
(10/10)

選手権大会

第1回選手権大会
(開催)

アイスホッケー
(10/10)

とちぎ県選手権大会
アイスホッケー(男子)
(10/10)

アイスホッケー(男子)
(10/10)

アイスホッケー(男子)
(10/10)

第1回選手権大会
アイスホッケー(男子)
(2/20)

第1回選手権大会
(開催地)
(10/10)

香分の日

秋分の日

文部省の日

第1回選手権大会
アイスホッケー(男子)
(2/20)

第1回選手権大会
アイスホッケー(男子)
(2/20)

令和8(2026)年度 競技力向上事業実施要項

1	チームとちぎ育成強化事業	7
2	有望選手・チーム強化支援事業	8
3	アスリート就職支援事業	13
4	スポーツ用具整備事業	15
5	強化拠点校支援事業	18
6	指導者連携強化事業	20
7	タレント発掘・育成事業	21
8	次世代アスリート育成強化事業	22
9	中体連普及強化活動支援事業	23
10	高体連普及強化活動支援事業	24
11	ジュニアクラブチーム強化指定事業	25
12	オリパラアスリート強化支援事業	27
13	チームとちぎ指導者養成事業	29
14	トップレベルコーチ招へい事業	30
15	上級指導者(インストラクター)養成事業	33
16	スポーツ医・科学サポート事業	35



1 チームとちぎ育成強化事業 実施要項

1 目的

とちぎ国体の成果を一過性のものとせず、持続可能な競技力の向上を図るために、国民スポーツ大会や各種大会等での活躍に向けて、競技団体の年間を通じた強化・普及活動を支援することにより、全ての競技・種別の競技力向上を図る。

2 対象

国民スポーツ大会における正式競技県内 41 競技団体

3 事業内容

【補助事業】

(1) 競技団体が行う国民スポーツ大会や各種大会等の活躍を目的に行う強化・普及活動の経費の一部の支援。各競技団体が計画した事業計画に応じて強化費を配分する。

(2) 補助対象は、競技団体が実施する以下の事業とする。

- ① 国民スポーツ大会や各種大会等での活躍を目的とした県内外の強化練習会や強化合宿等
- ② とちぎスポーツ医科学センターの利用料
- ③ 競技力向上の一環となる大会の参加及び、競技力向上等を目的とした大会の開催
- ④ 県外強豪チームを本県に招へいして行う強化試合や合同練習会等
- ⑤ 発掘イベント及び普及啓発活動（スポーツ教室・体験教室）の開催等
- ⑥ 中央競技団体が主催する各種研修会への参加
- ⑦ 各種大会等の視察及び戦力分析・データ収集等
- ⑧ 国民スポーツ大会や各種大会等へのコーチ・ドクター・トレーナー等の派遣
- ⑨ 国民スポーツ大会や各種大会等エントリー選手のスポーツ安全保険への加入
- ⑩ その他本部長が認める事業

4 補助対象経費

対象団体が実施する上記の事業に係る報償費（講師謝金、指導手当）、旅費（交通費、宿泊費、県外チーム旅費）、使用料賃借料、消耗品費、通信運搬費、印刷製本費、保険料、スポーツ用具費、大会参加料、その他本部長が認めるもの。

5 スケジュール

通年 競技団体の事業計画に応じた強化活動支援

2 有望選手・チーム強化支援事業 実施要項

《選手指定》

1 目的

国民スポーツ大会にて本県選手として特に活躍が見込まれ、かつ、全国・国際スポーツ大会等で活躍することが期待できるトップアスリートを指定し、合宿や強化練習会等の支援を行うことで、本県への帰属意識を高めるとともに、国民スポーツ大会での天皇杯・皇后杯上位入賞に向けた選手の計画的な競技力向上を図る。

2 対象

国民スポーツ大会正式競技に取り組んでいる少年種別・成年種別の選手で、国民スポーツ大会等で主力選手として見込まれ、特に活躍が期待できる選手。

3 事業内容

【補助事業】

(1) 指定期間

指定日から当該年度末まで（単年度指定）

(2) 指定方法

各競技団体の推薦を受け、競技力向上対策本部が審査し選手を指定する。推薦される選手は、指定日を基準に過去2年間に、以下の実績を持つ選手とする。原則として、個人競技から指定する。

【A強化指定】（成年種別）

- ・国内最高峰の大会で上位入賞の実績があり、国民スポーツ大会、日本選手権等での入賞が期待できる選手。
- ・対策本部長が別に認める選手。

【B強化指定】（少年種別）

- ・各種全国大会で上位入賞の実績があり、国民スポーツ大会、インターハイ等での入賞が期待できる選手。
- ・対策本部長が別に認める選手。

4 補助対象経費

指定された選手には、国民スポーツ大会等での活躍を目的とした強化活動のうち、報償費（コーチ料）、旅費（交通費、宿泊費）、使用料賃借料、消耗品費、通信運搬費、印刷製本費、保険料、スポーツ用具費、大会参加料、県内に居住するための家賃・寮費、その他本部長が認めるものを対象とする。

5 スケジュール

4月	有望選手の指定
通年	強化活動支援

《チーム指定》

1 目的

国民スポーツ大会において天皇杯・皇后杯の上位入賞を目指し、各競技の強化の中心となり活躍が期待できるチーム、かつ、トップカテゴリーで活躍できるチームを指定し、重点的に成年選手の競技力向上を図る。

2 対象

国民スポーツ大会正式競技で、国民スポーツ大会等において当該チームやそのチームに所属する選手の活躍により、入賞が期待できる競技に属する大学・企業・クラブチーム。

3 事業内容

【補助事業】

(1) 指定期間

指定日から当該年度末まで（単年度指定）

(2) 指定方法

各競技団体の推薦を受け、競技力向上対策本部が審査しチームを指定する。

【S強化指定】原則、次のいずれかに該当するチーム。

- ・国内最高峰の大会において入賞の実績があり、国民スポーツ大会等において入賞が期待できるチーム。
- ・国内トップレベルの競技力を有する中心選手が複数名所属し、国民スポーツ大会等において上位入賞が期待できるチーム。

【A強化指定】

- ・各種全国大会（全日本（大学を含む）選手権大会等）において入賞実績があり、国民スポーツ大会等において活躍が期待できるチーム。

4 補助対象経費

指定されたチームは、国民スポーツ大会等での活躍を目的とした強化活動のうち、報償費（講師謝金、指導手当）、旅費（交通費、宿泊費）、使用料賃借料、消耗品費、通信運搬費、印刷製本費、保険料、スポーツ用具費、大会参加料、その他本部長が認めるものを対象とする。

5 スケジュール

- | | |
|----|----------|
| 4月 | 有望チームの指定 |
| 通年 | 強化活動支援 |

令和8(2026)年度有望選手・チーム強化支援事業 有望選手

No.	指定	競技名	選手名	種別	所属
1	A指定	スケート	小川 拓 朗	成男	一般社団法人日光市公共施設振興公社
2		スケート	上 鹿 成 双 葉	成女	公益財団法人栃木県スポーツ協会
3		スケート	並 木 碧 泉	成女	山梨学院大学
4		スケート	上 林 舞 子	成女	筑波大学
5		スキニー	大 西 美 琴	成女	慶応義塾大学
6		スキニー	大 真 詩 旺	成女	中央大学
7		スキニー	小 番 聖 夏	成女	いずみ産業株式会社
8		陸上競技	吉 成 美 羽	成女	東京女子体育大学
9		陸上競技	大 島 愛 梨	成女	宇都宮市役所
10		陸上競技	竹 内 萌	成女	株式会社カンセキ
11		ローイング	篠 飯 塚 百 合 子	成女	立教大学
12		ローイング	高 瀬 綾 乃	成女	法政大学
13		ボクシング	平 塚 駿 之 介	成男	一般社団法人 ASKA
14		ボクシング	シルバ イエシユア	成男	法政大学
15		ボクシング	小 林 栄 純	成男	東洋大学
16		ボクシング	鈴 木 美 結	成女	白鷺隊体育学校
17		体操	川 口 雄 飛	成男	駒澤大学
18		体操	岡 部 蓮	成男	ジュンスポーツクラブ
19		体操	片 山 空 秋	成男	鹿屋体育大学
20		レスリング	植 木 優 斗	成男	東洋大学
21		レスリング	中 原 陸	成男	白鷺隊体育学校
22		レスリング	本 橋 知 大	成男	拓殖大学
23		レスリング	本 橋 矢 大	成男	拓殖大学
24		レスリング	長 谷 川 虎 次 郎	成男	育英大学
25		レスリング	新 井 一 花	成女	育英大学
26		レスリング	阿 部 天 臥	成男	国土館大学
27		セーリング	小 滝 恵 美	成女	栃木県セーリング連盟
28		ウエイトリフティング	塚 田 直 人	成男	日本大学
29		ウエイトリフティング	須 藤 之 博	成男	株式会社SIFT
30		ウエイトリフティング	小 堀 美 穂	成女	宇都宮市役所
31		自転車	山 田 歩 舞	成男	京都産業大学
32		自転車	雨 谷 千 紗 子	成女	Gufo cycle works
33		ソフトテニス	海 老 根 香 澄	成女	ワクキューセイモア株式会社
34		馬術	広 田 恵 乃	成女	那須トレーニングファーム
35		馬術	広 田 龍 馬	成男	那須トレーニングファーム
36		馬術	広 田 大 和	成男	那須トレーニングファーム
37		馬術	増 山 誠 倫	成男	小山乗馬クラブ
38		馬術	増 山 久 佳	成女	小山乗馬クラブ
39		馬術	飯 田 さ や	成女	壬生乗馬クラブ
40		馬術	駒 津 風 花	成女	栃の葉乗馬クラブ
41		フェンシング	萩 原 宏 樹	成男	栃木商業高等学校(教)
42		フェンシング	武 井 隼 展	成男	宇都宮市役所
43		フェンシング	吉 成 海 之 亮	成男	上三川フェンシングクラブ
44		フェンシング	中 浦 秀 則	成男	中央大学
45		柔道	伊 藤 海 典 音	成男	北関東総合警備保障株式会社
46		柔道	柴 田 隼	成男	東海大学
47		柔道	黒 田 佑 斗	成男	東海大学
48		柔道	酒 井 結 海	成女	仙台大学
49		柔道	齋 五 肇 凌 生	成男	東海大学
50		柔道	中 田 涼 太	成男	東海大学
51		バドミントン	櫻 井 隼 介	成男	法政大学
52		バドミントン	遠 藤 美 羽	成女	ヨネックス
53		バドミントン	須 崎 沙 織	成女	筑波大学
54		バドミントン	寺 田 真 也	成男	益子芳星高等学校(教)
55		弓道	熊 倉 眞 太	成男	有限会社熊倉工業
56		弓道	五 十 嵐 翔	成男	栃木県弓道連盟
57		弓道	赤 嶺 直 之	成男	眞瀬会計事務所

令和8(2026)年度有望選手・チーム強化支援事業 有望選手

No.	指定	競技名	選手名	種別	所属
58	A指定	ライフル射撃	小林 郁 弥	成男	スポーツ健康医療専門学校
59		ライフル射撃	上 竹 独 仁	成男	ブルデンシャル生命保険株式会社
60		ライフル射撃	小林 明 菜	成女	栃木県警察
61		剣 道	濱 田 大 佑	成男	鹿屋体育大学
62		剣 道	大 河 原 彩 香	成女	明治大学
63		剣 道	鈴 木 瑞 生	成女	鹿沼高等学校(教)
64		スポーツクライミング	関 口 準 太	成男	日本大学
65		スポーツクライミング	船 木 陽	成男	宇都宮スポーツ医療専門学校
66		クレー射撃	石 原 奈 央 子	成女	宗教法人古峯神社
67		なぎなた	疋 田 か ん な	成女	國學院大學栃木高等学校(教)
68	なぎなた	佐 藤 亜 季	成女	社会福祉法人バステル	
69	B指定	スキュー	森 田 登	少男	足利大学附属高等学校
70		スキュー	大 黒 巧 翔	少男	足利大学附属高等学校
71		スキュー	小 野 里 佳 恋	少女	足利大学附属高等学校
72		スキュー	金 澤 拓	少男	足利大学附属高等学校
73		スキュー	葛 巻 潤 志 郎	少男	足利大学附属高等学校
74		スキュー	大 石 楓 真	少男	足利大学附属高等学校
75		スキュー	関 川 翠 桜	少女	足利大学附属高等学校
76		陸上競技	石 原 南 菜	少女	白鷲大学足利高等学校
77		陸上競技	岸 渡 邊 菜 里	少女	作新学院高等学校
78		陸上競技	厚 木 彰 佐	少女	佐野日本大学高等学校
79		陸上競技	藤 沼 兆 志	少男	小山工業高等専門学校
80		陸上競技	谷 楓 真	少男	佐野日本大学高等学校
81		陸上競技	佐 藤 麻 里 奈	少女	作新学院高等学校
82		陸上競技	江 田 朋 未	少女	白鷲大学足利高等学校
83		テニス	伏 見 一 輝	少男	足利大学附属高等学校
84		テニス	江 原 叶 碧	少男	足利大学附属高等学校
85		ホッケー	秋 場 優 南	少女	今市高等学校
86		ボクシング	伊 藤 瑞 那	少女	白鷲大学足利高等学校
87		体操	谷 田 智 治	少男	作新学院高等学校
88		レスリング	坂 木 大 星	少男	足利大学附属高等学校
89		セーリング	樋 口 颯 希	少男	那須塩原市立西那須野中学校
90		ウエイトリフティング	酒 井 心 音	少女	小山西高等学校
91		自転車	八 重 幡 勇 世	少男	作新学院高等学校
92		ソフトテニス	螺 良 家 々	少女	白鷲大学足利高等学校
93		馬術	藤 田 魁 馬	少男	宇都宮短期大学附属高校
94		柔道	三 宅 啓 太	少男	國學院大學栃木高等学校
95		柔道	藤 田 隼 子	少女	國學院大學栃木高等学校
96		柔道	鈴 木 月 渚	少女	足利大学附属女子高等学校
97		バドミントン	山 下 真 依	少女	作新学院高等学校
98		バドミントン	鈴 木 彩 乃	少女	作新学院高等学校
99		バドミントン	川 村 令 奈	少女	作新学院高等学校
100		弓道	川 上 聖 斗	少男	作新学院高等学校
101		剣道	大 山 和 寿	少男	佐野日本大学高等学校
102		スポーツクライミング	戸 田 峻 大	少男	宇都宮北高等学校
103		スポーツクライミング	石 塚 悠 紀	少男	宇都宮北高等学校
104		スポーツクライミング	齋 藤 紗 里 依	少女	作新学院高等学校
105		スポーツクライミング	齋 藤 真 里 依	少女	宇都宮市立泉が丘中学校
106		ゴルフ	佐 藤 ミ ラ ー	少男	佐野日本大学高等学校
107		ゴルフ	高 木 陽 仁	少男	佐野日本大学高等学校
108		ゴルフ	林 田 遼 汰	少男	佐野日本大学高等学校

【 A指定 成男：38、成女：30】 【 B指定 少男：22、少女：18】

【※印の選手はタレント発掘・育成事業（とちぎ未来アスリートプロジェクト）の修了生】

令和8(2026)年度有望選手・チーム強化支援事業 有望チーム

№	指定	競技名	チーム名	種別	監督名
1	S指定	ホ ッ ケ ー	LIEBE 栃木	成 男	若 林 勝 己
2		バスケットボール	白鷗大学女子バスケットボール部	成 女	佐 藤 智 信
3		ソ フ ト ボ ー ル	Honda	成 男	浦 本 大 嗣
4		ソ フ ト ボ ー ル	Honda Reverta	成 女	濱 中 武 直
5	A指定	ホ ッ ケ ー	ドラッグ・ミスライヴOrangeUnited	成 女	高 瀬 克 也
6	指定	アイスホッケー	TOCHIGI BREAKERS	成 男	萩 原 優 吾
7		サ ッ カ ー	ヴェルフェ矢板	成 男	上 沢 拓 也
8		サ ッ カ ー	作新学院大学サッカー部	成 男	山 本 武 則
9		サ ッ カ ー	栃木シティフットボールクラブU-25	成 男	小 松 祐 己
10		バスケットボール	白鷗大学男子バスケットボール部	成 男	網 野 友 雄
11		ソ フ ト テ ニ ス	LIL	成 男・女	福 田 榮 太 郎
12		柔 道	北関東総合警備保障株式会社	成 女	森 雄 二
13		剣 道	栃木県警察チーム	成 男	高 瀬 一 夫
14		ラグビーフットボール	白鷗大学ラグビーフットボール部	成 男	嶋 原 信 之
15		ラグビーフットボール	宇都宮ヴォルツ	成 男	鈴 木 文 善

【 S指定：4チーム、A指定：1チーム、指定：10チーム】

3 アスリート就職支援事業 実施要項

1 目的

全国・国際スポーツ大会等で活躍するトップアスリートや指導者（以下「選手等」という）に対し、県内企業等（以下「企業」という）への就職支援を行うことにより、本県の競技者及び指導者を確保し、安定した競技力を維持することを目的とする。

2 対象

(1) 選手等

次に掲げる条件のいずれかを満たす者とする。

- ① 国民スポーツ大会正式種目に取り組んでいる者で、全日本選手権大会若しくはこれに準ずる大会に出場したことがあるもの（団体競技は主力選手として試合に出場していた者）。
- ② 全国・国際スポーツ大会等で活躍するなど本県の競技力向上に寄与する者であると栃木県競技力向上対策本部（以下「対策本部」という。）が認めたもの。
- ③ 国民スポーツ大会正式競技のほか、国際大会等で優秀な成績を収め、本県競技者として競技力向上に寄与する者であると対策本部が認めたもの。

(2) 企業

県内に本社又は事業所を有し、全国・国際スポーツ大会等で活躍する選手等を採用する意志があり、競技活動への理解と協力ができる企業とする。

3 事業内容

【本部事業】

職業紹介所「とちぎアスリート・キャリアサポートセンター」において、求人及び求職の申込みを受け、企業と選手等との間における雇用関係の成立をあっせんする。

- (1) 企業への選手等の採用依頼、競技団体による選手等の発掘・勧誘。
- (2) 企業に対して求人票、選手等には求職票を競技団体の推薦を得て提出するよう依頼。
- (3) 求人・求職に係る情報の公開・管理。
- (4) 企業及び選手等にとって有益なマッチングの実施並びに事前面談の日程等を調整。
- (5) 採用後、企業及び選手等に対して定期的なアフターフォローの実施。

4 スケジュール

(1) 新卒者

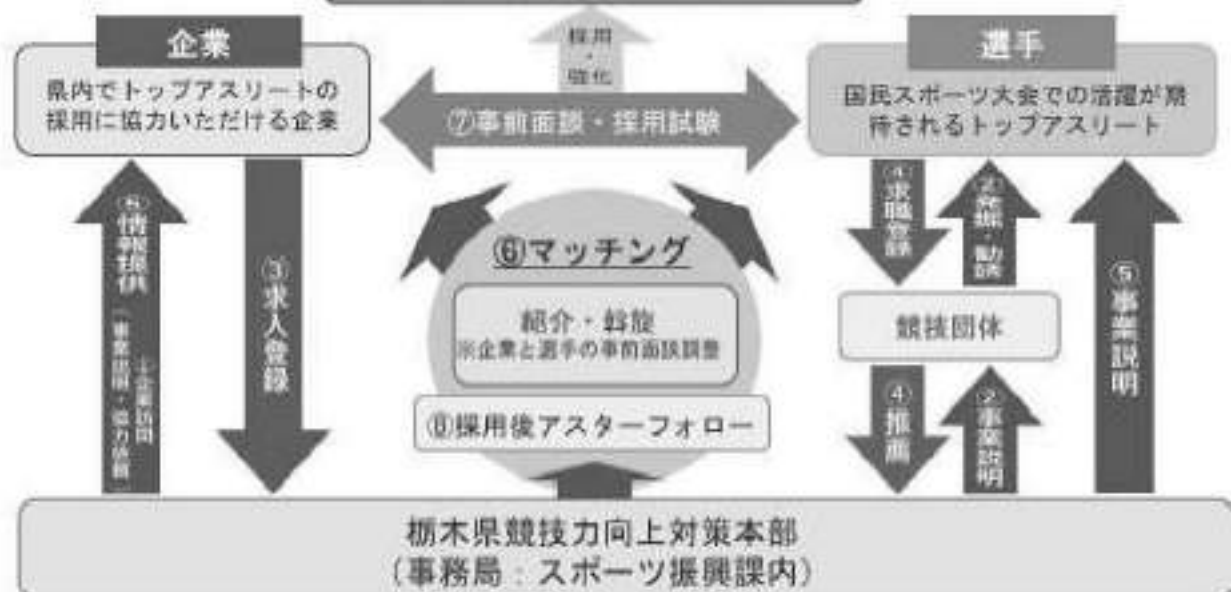
前年度1月～ エントリー受付、事前面談の日程調整
前年度3月～ 企業と選手等の事前面談（※広報活動解禁）
当年度6月～ 採用選考（※選考活動解禁）
次年度4月～ 採用

(2) 既卒者

上記スケジュールに関わらず随時エントリー受付、事前面談や採用選考等を実施

職業紹介所「とちぎアスリート・キャリアサポートセンター」

栃木県の安定した競技力の維持



アスリート採用までの流れ

Step 1 エントリーシートの提出

○とちぎアスリート・キャリアサポートセンターのHPからエントリーシートをダウンロードして、必要事項を記入後、競技団体まで提出してください。
その後、競技団体が推薦理由を記入の上、当センターに提出することになります。

Step 2 企業の求人情報を閲覧

○県内協力企業の求人情報をHPに掲載しております。気になる企業がありましたらお気軽に当センターまでご連絡ください。
なお、企業から打診があった場合には、当センターからアスリート本人にご連絡差し上げます。

Step 3 企業とのマッチング・事前面談

○当センターがアスリートの要望と企業の求人情報をマッチングの上、就職先の候補をご紹介します。また、企業担当者との面談の日程を調整させていただきます。
○面談では、企業にどのように貢献するかなどを自己アピールしていただき、競技活動の状況や競技を続ける上で企業側に配慮してもらいたいことなどを説明してください。

Step 4 採用選考

○企業の採用選考を受けていただきます。なお、企業の選考基準により採否の判断がなされます。

Step 5 採用

○「チームとちぎ」の一員として、仕事と競技を両立させた活躍を期待しています。
なお、採用後も当センターが定期的にアフターフォローさせていただきます。

とちぎアスリート・キャリアサポートセンター登録求人企業一覧

令和8(2026)年4月1日現在

※50音順

No.	企業名	業種	求人職種
1	(株) 足利銀行	金融業	総合職
2	(一社) ASKA	保育・教育の職業	教育職(児童支援員)
3	(株) アール・ティー・シー	電子機器製造業	営業職・総合職
4	(株) アルファ・クリエイト	物流サービス業	総合職
5	医療法人社団一心会	福祉業(老人介護)	介護職
6	(株) エイジェック	人材総合プロデュース業	総合職
7	(株) エコアール	卸売業(自動車部品)	営業職・技術職
8	エステート住宅産業(株)	建設業、不動産業	総合職
9	ABCロジテム(株)	運輸倉庫業	一般事務・固定ルートドライバー
10	(株) 大岩建設	建設業	総合職
11	(株) オータニ	販売職、事務職	販売職、事務職
12	環境整備(株)	ビルメンテナンス業	総合職
13	関総エンジニアリング(株)	設備工事業	総合職
14	株式会社カンセキ	サービス業	総合職
15	北関東総合警備保障(株)	警備業	警備職、事務職、技術職
16	グランディハウス(株)	不動産業	総合職、事務職
17	(株) クロサキ	卸売業(理美容器材)	営業職
18	(社福) 晃丘会	福祉業(老人介護等)	介護職、事務職
19	(社福) 光誠会	福祉業(老人介護)	介護職
20	株式会社神戸製鋼所 真岡製造所	製造業、発電業	技術職
21	(株) 古口工業	輸送用機械器具製造業	営業職、技術職
22	(有) 佐野機工	製造業	営業事務、営業、技術職
23	(株) サンスポーツ	小売業(スポーツ用品)	営業職
24	社会保険労務士法人TMC	保険業(社会保険労務士業)	営業職・事務職
25	J A 共済連栃木	共済事業	事務職
26	(社福) 真心会	福祉業(老人介護)	介護職
27	(社福) 正恵会	福祉業(老人介護)	介護職
28	大宮建設(株)	建設業	総合職
29	(有) 滝口スポーツ	小売業(スポーツ用品)	営業職
30	(株) TMC経営支援センター	コンサルト業	事務職
31	(株) デル・コラソン	フィットネスクラブ	総合職
32	東武建設(株)	総合建設業	事務職・営業職・技術職
33	(株) 栃木銀行	金融業	事務職・営業職
34	栃木トヨタ自動車(株)	小売業(自動車)	総合職
35	トチギマーケット(株)	小売業	総合職
36	トヨタカローラ栃木(株)	小売業(自動車)	総合職、事務職
37	(株) 南大門ホールディングス	サービス業(SPA事業ほか)	総合職
38	(株) 男体自動車	自動車販売修理業	営業職
39	(株) 日本栄養給食協会	サービス業	総合職
40	(株) 野澤實業	建設業・飲食業・介護業	総合職
41	社会医療法人博愛会吾間記念病院	病院	事務職・看護補助
42	初谷建設(株)	建設業	総合職
43	藤井産業(株)	卸売業(電設資材等)	営業職、業務職
44	ブルデンシャル生命保険(株)	保険業	営業職
45	(株) フレンド	福祉業(老人介護)	介護職
46	ヘンリーシャインジャパンイースト株式会社	卸売業(歯科用医療機材)	営業職
47	ホテルジャパン日光	宿泊業	サービス職
48	三井マネジメント(株)	住宅環境改善事業	営業職・技術職
49	(株) Reve's	サービス業	営業職

※ 総合職とは、その企業の総合的な業務に当たる職種を指します。

4 スポーツ用具整備事業 実施要項

1 目的

選手育成強化や競技普及などの競技力向上を図るため、必要と認められるスポーツ用具を整備し、競技団体に貸与する。

2 対象

国民スポーツ大会における正式競技県内 41 競技団体

3 事業内容

【本部事業】

競技力向上に資するもので、かつ次に掲げる用件のうち、いずれかに合致する用具を対象団体に貸与する。

- (1) 高額等の理由により、競技団体に整備することが困難なもの
- (2) 用具が整備されておらず、新たに整備する必要があるもの
- (3) 既に整備されている用具があるが、競技規則変更等による規格外、整備数不足及び老朽化等により改めて整備する必要があるもの
- (4) 競技人口が少なく、競技の普及促進のため整備する必要があるもの
- (5) その他、競技力向上の推進のために必要と認められるもの

※次に掲げる用件のうちいずれかに合致するものは、整備対象外とする。

- (1) 税込み単価 100,000 円未満のもの
- (2) 個人に帰属する性格のもの

4 スケジュール

事業の流れは別表のとおりとする。

別表

スポーツ用具整備事業の流れ

年度	県競技力向上対策本部		競技団体
前年度	次年度整備希望用具調査	照会 →	
	次年度整備用具の審議・決定	回答 ←	次年度整備希望用具調査
当年度	整備用具の内定	通知 →	
	整備用具の決定	提出 ←	「整備要望申請書(様式第1号)」
	整備用具の発注・購入・納品	通知 →	
		納品日時連絡 →	
		提出 ←	「借受申請書(様式第2号)」 「借受申請に係る管理計画書(様式第2号別紙)」 「納品報告書(別紙1)」
	「貸付承認書(様式第3号)」	送付 →	
	整備用具の貸与	貸付 →	
	提出 ←	「借受書(様式第4号)」	
	報告 ←	整備用具の適正使用及び管理 借受用具を亡失又はき損した場合 「事故報告書(様式第5号)」	
※次年度	整備用具の貸付継続希望調査	照会 →	
		提出 ←	※継続して借受を希望する場合 「借受申請書(様式第2号)」 「借受申請に係る管理計画書(様式第2号別紙)」 「現況報告書(別紙2)」
	「貸付承認書(様式第3号)」	送付 →	
	整備用具の貸与	貸付 →	
		提出 ←	「借受書(様式第4号)」
	報告 ←	整備用具の適正使用及び管理 借受用具を亡失又はき損した場合 「事故報告書(様式第5号)」	

5 強化拠点校支援事業 実施要項

1 目的

今後の国民スポーツ大会等における少年種別の安定した競技力の確保に向け、関東高等学校体育連盟及び（公財）全国高等学校体育連盟の主催する、関東大会・インターハイで活躍できる選手やチームを支援することで、より効果的な獲得得点の維持・向上を図る。

2 対象

栃木県高等学校体育連盟（以下「高体連」）に所属する 35 競技及び馬術競技を含む 36 専門部

3 事業内容

【補助事業】

（1）指定期間

指定日から当該年度末まで（単年度指定）

（2）指定方法

高体連に所属する各専門部の推薦により、高体連が指定する運動部活動拠点校のうち「重点強化拠点校」を競技力向上対策本部が審査し、補助対象校（部活動）とする。

4 補助対象経費

指定された重点強化拠点校は、国民スポーツ大会等での活躍を目的とした強化活動のうち、報償費（講師謝金、指導手当）、旅費（交通費、宿泊費）、使用料賃借料、通信運搬費、保険料、大会参加料、その他本部長が認めるものを対象とする。

5 スケジュール

前年度 1 月～	高体連事務局による運動部活動拠点校調査・認定
4 月	重点強化拠点校の指定
通年	競技団体及び専門部の事業計画に応じた強化活動の支援

6 指導者連携強化事業 実施要項

1 目的

今後の国民スポーツ大会等における安定した競技力の確保に向け、各競技団体の有望選手等の情報共有や、競技団体におけるジュニア期から成年世代まで切れ目のない一貫指導体制の構築を図る。

2 対象

国民スポーツ大会における正式競技団体が実施する、ジュニア期から成年期の指導に関わるカテゴリーを超えた指導者による情報交換会や、研修会等の開催を支援する。

3 事業内容

【補助事業】

補助対象事業は以下に該当する情報交換会・研修会等とする。

- (1) カテゴリー（小・中・高・大・社会人等※地域クラブを含む）を超えた指導者が参加する事業
- (2) 県内有望選手等の情報共有による県内育成を目指した事業
- (3) 中学校の部活動地域展開に関する事業
- (4) 競技団体の一貫指導体制の構築に寄与する事業
- (5) その他本部長が認める事業

4 補助対象経費

対象団体が実施する上記の事業に係る会場使用料、使用料賃借料、消耗品費、その他本部長が認めるものを対象とする。

5 スケジュール

通年 競技団体の事業計画に応じた情報交換会や研修会等の開催支援

7 タレント発掘・育成事業（とちぎ未来アスリートプロジェクト）実施要項

1 目的

本県の小学生の中から優れた運動能力を持つ児童を発掘し、各種プログラムの実践による身体能力や知的能力の育成及びその適性を生かせるスポーツとの出会いを通して、将来は国民スポーツ大会や国際大会で活躍する選手を輩出することを目指す。

2 事業内容

【本部事業】

(1) 発掘プログラム：運動能力の高い児童を見つけるプログラム

対象：本県の小学生

(2) 育成プログラム：発掘した児童・生徒の能力を開発し育成するプログラム

対象：令和7(2025)年度までに認定したエクセレントキッズ・ジュニア

- ① 競技体験：発掘した児童・生徒の適性のある競技を見出すプログラム
- ② 知的能力開発：発掘した児童・生徒の知的能力を育成するプログラム
- ③ 身体能力開発：発掘した児童・生徒の身体能力を育成するプログラム
- ④ その他本部長が認めるもの

3 スケジュール

(1) 発掘プログラム

○ステージ1（応募人数が500名以上の場合実施）

7～9月 新体力テストの結果等を基に選考
10月 結果を本人に通知

○ステージ2（ステージ1通過者が対象）

11月1日(日)・8日(日) 運動能力測定：日環アリーナ栃木
12月上旬 結果を本人に通知

○認定式（ステージ2通過者が対象）

3月13日(土) 認定式：栃木県総合教育センター

(2) 育成プログラム

5月24日(日) エクセレントキッズ開講式：日環アリーナ
6月21日(日) エクセレントジュニア開講式：日環アリーナ
6月～ 各種プログラム実施
3月13日(土) 第8回修了式：栃木県総合教育センター

8 次世代アスリート育成強化事業 実施要項

1 目的

今後の国民スポーツ大会及び各種全国大会等において、活躍が期待できるジュニア選手を「チームとちぎジュニア選手」として認定するとともに、強化練習会や合宿、競技人口の拡大を目的とした普及イベント等の活動を支援することで今後の本県競技力の育成強化を図る。

2 対象

国民スポーツ大会における正式競技県内 40 競技団体
(正式競技のうち非該当はクレー射撃競技)

3 事業内容

【本部事業】

「チームとちぎジュニア選手」認定証授与式

期日：令和 8 (2026) 年 9 月 19 日(土)

会場：栃木県教育会館 大ホール

【補助事業】

(1) 競技団体が実施する以下の事業に対する補助

- ① 小・中・高生世代を対象にした練習会・合宿等
- ② 小・中・高生世代を対象にした強化練習会等において講師・専門家の招へい
- ③ 小・中・高生世代の競技人口拡大のための普及イベント等の開催
- ④ その他本部長が認める事業

4 補助対象経費

対象団体が実施する上記の事業に係る報償費（講師謝金、指導手当）、旅費（交通費、宿泊費）、使用料賃借料、消耗品費、通信運搬費、印刷製本費、保険料、スポーツ用具費、大会参加料、その他本部長が認めるもの。

5 スケジュール

通年 競技団体の事業計画に応じた育成強化活動支援

9 中体連普及強化活動支援事業 実施要項

1 目的

栃木県中学校体育連盟（以下「中体連」という。）の各専門部及び国民スポーツ大会（以下「国スポ」という。）正式種目競技団体が実施する普及・育成を目的とした活動を支援することで競技力の恒久的な維持・向上を図るとともに、本県開催で迎える関東大会や全国大会を契機に、該当専門部及び競技の更なる強化を図る。

2 対象

中体連に所属する 22 専門部及び国スポ正式種目競技団体

3 事業内容

【補助事業】

（1）中学校スポーツ活動普及奨励費

中体連と競技団体が連携して、一貫した指導のもとに選手が育成されるよう支援する。

（2）関東・全国大会開催特別強化費

本県開催で迎える上位大会を契機に、競技専門部が更なる強化を図るための活動を支援する。

（3）指導者育成費

中学生の競技力向上に資する指導者の資質向上を図るため、本県指導者を上位大会や先進校へ派遣することを支援する。

4 補助対象経費

対象団体が実施する上記の事業に係る報償費（講師謝金、指導手当）、旅費（交通費、宿泊費）、使用料賃借料、消耗品費、通信運搬費、印刷製本費、保険料、スポーツ用具費、大会参加料、その他本部長が認めるもの。

10 高体連普及強化活動支援事業 実施要項

1 目的

栃木県高等学校体育連盟（以下「高体連」という。）の各専門部が実施する普及・強化を目的とした中・高世代や高・大世代等の選手及びチームが連携した強化活動を実施することで競技力の向上を図るとともに、本県開催で迎える関東大会や全国大会を契機に、該当専門部の更なる強化を図る。

2 対象

高体連に所属する 35 競技及び馬術競技を含む 36 専門部

3 事業内容

【補助事業】

（1）中・高・大連携事業費

競技人口拡大や競技力の更なる向上を図るため、中高連携活動、高大連携活動を実施することを支援する。

（2）関東・全国大会開催特別強化費

本県開催で迎える上位大会を契機に、競技専門部が更なる強化を図るための活動を支援する。

（3）指導者育成費

高校生の競技力向上に資する指導者の資質向上を図るため、本県指導者を上位大会や先進校へ派遣することを支援する。

4 補助対象経費

対象団体が実施する上記の事業に係る報償費（講師謝金、指導手当）、旅費（交通費、宿泊費）、使用料賃借料、消耗品費、通信運搬費、印刷製本費、保険料、スポーツ用具費、大会参加料、その他本部長が認めるもの。

11 ジュニアクラブチーム強化指定事業 実施要項

1 目的

今後の国民スポーツ大会等において、活躍が期待される中学生選手を育成しているジュニアクラブを指定し、その強化活動を支援することで競技力向上を図る。

2 対象

国民スポーツ大会の正式競技のうち、令和8年度の関東大会及び全国大会等において上位入賞するなどの活躍が期待できるとともに、(1)、(2)のいずれかの条件を満たす県内のジュニアクラブとする。

(1) 中体連に専門部のない競技のクラブ。

(例：フェンシング、レスリング、ボウリングなど)

(2) 中体連に専門部がある競技でも、主に中体連に所属しない選手で構成されるクラブ。

(例：サッカー、バスケットボールなど)

3 事業内容

【補助事業】

(1) 指定期間

指定日から当該年度末まで（単年度指定）

(2) 指定方法

各競技団体の推薦を受け、競技力向上対策本部が審査しチームを指定する。

4 補助対象経費

強化指定ジュニアクラブが実施する上記の事業に係る報償費（講師謝金、指導手当）、旅費（交通費、宿泊費）、使用料賃借料、消耗品費、通信運搬費、印刷製本費、保険料、スポーツ用具費、大会参加料、その他本部長が認めるもの。

5 スケジュール

4月	強化指定クラブの指定
通年	強化活動支援

令和8(2026)年度ジュニアクラブチーム強化指定事業

	競技名	チーム名	性別	監督名
1	サッカー	栃木SC U-15	男子	花 輪 浩 之
2	サッカー	栃木SCレディースU-15	女子	森 川 智 浩
3	サッカー	ウイングスサッカークラブ	男子	岡 室 昌 大
4	バレーボール	清原GP	男子	手 塚 千 貴
5	バレーボール	とらぎビーチバレークラブ	男女	外 松 広 美
6	バレーボール	Maharoバレーボールクラブ	女子	伊 藤 由 紀 子
7	バスケットボール	宇都宮ブレックスユースU15	男子	本 谷 篤 司
8	レスリング	さくら市少年レスリングクラブ	男女	石 崎 智
9	相 撲	TSU宇都宮相撲道場	男子	高 木 飛 翔
10	ラグビーフットボール	栃木県ジュニアラグビーフットボールクラブ	男子	福 田 亮
11	スポーツクライミング	栃木県スポーツクライミング協会(TSCA)	男女	家 泉 知 幸
12	空手道	清原空手道スポーツクラブ	男子	秋 澤 靖 幸
13	空手道	一般社団法人全日本空手道正友会	男女	高 橋 一 正
14	銃剣道	宇都宮銃剣道クラブ	男子	鈴 木 利 広

【 指定チーム:9競技14チーム 】

12 オリパラアスリート強化支援事業 実施要項

1 目的

日本代表・代表候補等への選出が見込まれる本県トップアスリートを指定し、強化活動等を支援することで、オリンピック、パラリンピック、世界選手権等への出場を目標とし、さらにはメダル獲得を期待する。また、本県スポーツ振興の先導役として、国民スポーツ大会における天皇杯・皇后杯の上位入賞に貢献し、本県の恒久的なスポーツ振興を目指す。

2 対象

次に掲げる条件のいずれかを満たす者とする。

- ①日本スポーツ協会加盟競技に取り組んでおり、日本代表に選出されオリンピック、世界選手権等での活躍を期待される選手。
- ②日本パラリンピック委員会加盟競技に取り組んでおり、日本代表に選出されパラリンピック、世界選手権等での活躍を期待される選手。

3 事業内容

【補助事業】

(1) 指定期間

指定日から当該年度末まで（単年度指定）

(2) 指定方法

各競技団体または県障害者スポーツ協会等の推薦を受け、競技力向上対策本部が審査し選手を指定する。推薦される選手は、栃木県出身、在住、在籍等本県にゆかりのある選手で、本県のスポーツ振興への取組に意欲的な選手であり、以下の基準を満たす選手とする。

- ・近年の国際大会に出場・日本代表選出の実績があり、今後も選出が見込まれ活躍が期待される選手。
- ・日本選手権や国民スポーツ(体育)大会等での入賞実績を有し、日本代表・代表候補として選出が期待される選手。
- ・対策本部長が別に認める選手。

4 補助対象経費

指定された選手には、日本代表選考大会等に向けた強化活動のうち、報償費(コーチ料)、旅費(交通費、宿泊費)、使用料賃借料、消耗品費、通信運搬費、印刷製本費、保険料、スポーツ用具費、大会参加料、その他本部長が認めるものを対象とする。

5 スケジュール

4月	選手の指定
通年	強化活動支援

令和8(2026)年度オリパラアスリート強化支援事業 指定選手

No.	競技名	種目、階級等	選手名	所属
1	アイスホッケー	-	小平 梅花	DAISHIN
2	陸上競技	400m 4×400mリレー	佐藤 風雅	ミズノ株式会社
3	水泳	200m, 400m個人メドレー	松下 知之	東洋大学
4	水泳	飛込	榎本 遼香	橋本トヨタ自動車株式会社
5	ホッケー	-	川村 崧亮	LIEBE栃木
6	ホッケー	-	大岡 凌磨	LIEBE栃木
7	ホッケー	-	工藤 優	グラクソ・スミスクラインOrange United
8	ホッケー	-	田中 彩樹	グラクソ・スミスクラインOrange United
9	ボクシング	57kg級	古澤 颯希	自衛隊体育学校
10	体操	-	谷田 雅治	順天堂大学
11	セーリング	-	井上 陸	マホロバ・マインズ三浦
12	相撲	軽量級	奥谷 英宗	一般社団法人TSU
13	柔道	100kg超級	太田 彪雅	旭化成株式会社
14	スポーツクライミング	-	楠崎 智亜	無所属
15	スポーツクライミング	-	川又 玲瑛	無所属
16	スポーツクライミング	-	葛生 真白	白鷲大学
17	クレー射撃	-	折原 研二	株式会社那須国際射撃場
18	クレー射撃	-	折原 梨花	林テレンプ株式会社
19	トライアスロン	-	ニナー 賢治	NTT東日本NTT西日本
20	知的障がい者サッカー	-	大久保 史弥	栃木県知的障害者サッカー連盟
21	ろう者サッカー	-	増田 香音	足利両毛ローザFC
22	脳性まひ者 7人制サッカー	-	久保 善暉	横浜BAY.FC
23	デフゴルフ	-	辻 結名	日本大学

13 チームとちぎ指導者養成事業 実施要項

1 目的

県内の競技団体における中核的指導者を対象とし、最新の指導技術等を学ぶための各種研修会や競技の垣根を超えた交流の場を設けることで、県内指導者のスキルアップを図り指導体制の充実に努める。また、各競技団体の推薦を受けた指導者を、チームとちぎ強化指定コーチに指定することにより強化指導体制の推進を図る。

2 対象

国民スポーツ大会における正式競技県内 41 競技団体

3 事業内容

【本部事業】

(1) チームとちぎ指導者資質向上研修会の開催

① 第1回チームとちぎ指導者資質向上研修会

期 日：令和8(2026)年4月14日(火) ※競技団体代表者会議後に実施

会 場：栃木県総合教育センター 大講義室

対象者：競技団体における国スポの監督・コーチ等

② 第2回チームとちぎ指導者資質向上研修会 未定

③ 第3回チームとちぎ指導者資質向上研修会 未定

(2) チームとちぎ強化指定コーチの指定

スケジュール

4月 各競技団体は対策本部に強化指定コーチを推薦

6月 対策本部において強化指定コーチを承認、内定
強化指定コーチ指定

14 トップレベルコーチ招へい事業 実施要項

1 目的

本県各競技団体の指導者を対象に、国内トップレベルの実績と指導力を持つ指導者や、スポーツに関する専門家等を招へいし、最先端の指導を受けることで、本県指導者の指導力向上を図り、競技力の維持・向上を図る。

2 対象

国民スポーツ大会における正式競技県内 41 競技団体

3 事業内容

【本部事業】

(1) 各競技団体が行う以下の講習会等に講師を派遣する。指定は単年度、各競技団体、4回(人)以内とし、講師謝金は1回50,000円とする。

なお、複数の種目がある競技においては、6回(人)以内とする。

(例)・選手の資質向上を図る指導法

コーチング、技術・戦略、メンタル、フィジカル等

・医科学的分野の活用に関すること

ICT活用(動作分析等)、メンタル、栄養(食事)等

※複数の種目がある競技

国スポ諸規定に基づき、対策本部で定めた以下の13競技とする。

スケート・スキー・陸上競技・水泳・バレーボール・体操・

セーリング・自転車・ライフル射撃・ラグビーフットボール・

スポーツクライミング・カヌー・クレール射撃

・各種目の上限回数は4回とする。

(例) スピードスケート4回、フィギュアスケート1回、ショートトラック1回は可

スピードスケート5回、フィギュアスケート1回、ショートトラック0回は不可

(2) 講師の選定

講師は、各競技団体の推薦を受け、対策本部において審査し決定する。

(3) スポーツ傷害保険への加入

指定された講師の傷害等への補償のため、スポーツ安全保険に加入する。

(4) 講師謝金

事業実施後、報告書を対策本部へ提出。対策本部が審査、指定の口座へ振込(謝金及び保険料以外の経費については対象外)。

4 スケジュール

4月	講師決定、委嘱
通年	事業実施

令和8(2026)年度「トップレベルコーチ招へい事業」事務手続フロー



○経費の支出について

講師謝金・保険料	→	競技力向上対策本部より支出
旅費等其他費用	→	競技力向上事業費補助金又は競技団体負担等により支出

令和8(2026)年度トップレベルコーチ招へい事業 講師

№	競技名	氏名	所属	指導内容
1	陸上競技	奥田 本 悠	筑波大学	専門知識・技術指導
2	陸上競技	水 島 淳	筑波大学	コーチング
3	サッカー	上 野 洋 介	日本プロサッカー選手会	専門知識・技術指導
4	サッカー	宮 地 一 道	MIYACHI-SPORTS 09	専門知識・技術指導
5	ボクシング	村 橋 真 真	白梅院	技術指導・戦術指導
6	バレーボール	井 上 智 之	足立区立朝日中学校	専門知識・技術指導
7	バレーボール	村 上 め ぐ み	株式会社立東ホールディングス	専門知識・技術指導
8	バレーボール	高 橋 将 将	フリーランス	専門知識・技術指導
9	体操	中 塚 秀 之	国士館大学	専門知識・技術指導
10	体操	塚 本 悠 介	スクウェアジャパン株式会社	専門知識・技術指導
11	レスリング	前 田 翔 吉	東洋大学	技術指導・戦術指導
12	セーリング	高 塚 山 大	日本スポーツ振興センター	専門知識・技術指導
13	セーリング	栗 原 洋 光	国士大学法人愛知体育大学	コーチング・技術指導
14	セーリング	土 屋 一 斗	株式会社オーチオマシーナ	コーチング・技術指導
15	フェイトリフティング	前 本 宗 健	岐阜県立岐阜南成高等学校	専門知識・技術指導
16	フットボール	大 塚 三 貴	ゲンキアップ・フットボール部	専門知識・技術指導
17	フットサニス	浅 川 陽 介	合同会社 田中興業IT	専門知識・技術指導
18	卓球	平 野 友 樹	TMU	専門知識・技術指導
19	卓球	松 平 賢 二	島根マリナ	専門知識・技術指導
20	卓球	高 松 拓 斗	島根マリナ	専門知識・技術指導
21	卓球	宮 川 昌 大	島根マリナ	専門知識・技術指導
22	射撃	松 前 大 成	長崎県立長崎南洋高等学校	専門知識・技術指導
23	射撃	新 井 大 史 幸	新潟県立大戸瀬中学校	専門知識・技術指導
24	射撃	寺 尾 航 昌	新潟県立西田中学校	専門知識・技術指導
25	馬術	鶴 口 悠 希	愛馬クラブイーサノイdsteeple(株)	技術指導・戦術指導
26	馬術	岡 田 一 将	愛馬クラブIOSS HOF	メンタル・技術全般
27	フェンシング	伊 藤 幹 彦	山形県フェンシング協会	専門知識・技術指導
28	柔道	奥 代 航 輔	田舎武芸大学	技術指導・戦術指導
29	柔道	朝 倉 大 樹	朝倉道場	技術指導・戦術指導
30	バドミントン	神 谷 づ け り ー ン	豊田道南	専門知識・技術指導
31	スピードスケート	小 山 祥 太 哉	J-MSC Speeding Range	専門知識・技術指導
32	剣道	香 田 航 希	全日本剣道連盟	技術指導・戦術指導
33	剣道	神 崎 浩 希	大阪体育大学	技術指導・戦術指導
34	スノーボードライティング	伊 藤 恭 希	伊藤希和スノーボードスクール	専門知識・技術指導
35	スノーボードライティング	吉 田 直 典	The Snow Session 福岡	専門知識・技術指導
36	アーチェリー	岸 藤 貴 司	ARCOアーチェリー	専門知識・技術指導
37	アーチェリー	岡 本 純 己	武蔵アーチェリー	専門知識・技術指導
38	空手道	風 間 大 輔	日本空手道連盟	技術指導・戦術指導
39	銃剣道	小 川 功 功	千葉県銃剣道連盟	技術指導・戦術指導
40	なぎなた	吉 井 美 穂 子	東京なぎなた連盟	技術指導・戦術指導
41	ボウリング	山 岸 航 航	福岡スノーレーン(プロボウラー)	技術指導・戦術指導・分析
42	ボウリング	下 橋 貴 幸 守	株式会社エオジックモビル	技術指導・戦術指導・分析
43	ゴルフ	塚 茂 崇 倫	(公社)日本プロゴルフ協会	技術指導・戦術指導
44	ゴルフ	大 野 昌 徳	大野ジュニアゴルフアカデミー	技術指導・戦術指導
45	ゴルフ	大 本 美 千 子	(一社)日本女子プロゴルフ協会	技術指導・戦術指導
46	ゴルフ	横 山 健 士	VIP 40P FLAZA	技術指導・戦術指導

15 上級指導者養成事業 実施要項

1 目的

今後の国民スポーツ大会等における安定した競技力の確保に向け、県内指導者を育成できる高い指導力と倫理観を兼ね備えた上級指導者を養成するプログラムを提供することで、県内指導者の質的拡充を図る。

2 対象

国民スポーツ大会における正式競技県内 41 競技団体

3 実施内容

【本部事業】

(1) 指定期間

指定日から当該年度末まで（単年度指定）

(2) 指定方法

各競技団体の推薦を受け、競技力向上対策本部が審査し指定する。

なお、指定にあたっては、国民スポーツ大会の正式競技の指導者で令和 8（2026）年 4 月から令和 9（2027）年 3 月までの 1 年間指定研修会等への継続受講が可能な者のうち、以下のいずれかの条件を満たす者とする。

- ① 栃木県の競技力向上において、各カテゴリーの県代表または県選抜チームの中心的な役割を担う者。
- ② 各強化指定チーム及び強化指定選手の指導者
- ③ 優れた競技実績を有するトップアスリートであり、競技生活の終了に伴い今後栃木県の競技力向上において指導者として活躍が見込める者。
- ④ チームとちぎ強化指定コーチに指定されている者。

【補助事業】

指定指導者が参加する以下の事業に対する補助

- (1) 対策本部が主催する研修会への参加
- (2) チームとちぎ指導者資質向上研修会への参加
- (3) 日本スポーツ協会や中央競技団体等が主催する指導者研修会への参加
- (4) 指定指導者相互の実践観察・実践指導・情報共有及び県外強豪チームや学校等の視察

4 補助対象経費

対象団体が実施する上記の事業に係る諸費用（交通費、宿泊費、使用料賃借料、研修参加費、通信運搬費、印刷製本費、保険料）、その他本部長が認めるもの。

5 年間計画

4 月：オリエンテーション・研修Ⅰ 8 月：研修Ⅱ 12 月：研修Ⅲ
通年：県外研修、県内研修

令和 8 (2026) 年度上級指導者養成事業 上級指導者

NO.	競技名	氏名	所属
1	サッカー	種倉 寛	栃木県立真岡高等学校
2	レスリング	新井 正道	栃木県レスリング協会
3	ウエイトリフティング	高際 恭平	栃木県立足利中央特別支援学校
4	ハンドボール	伊集院 聖悟	栃木県立小山西高等学校
5	柔道	根本 哲也	文星芸術大学附属高等学校
6	柔道	内藤 暁	足利大学附属女子高等学校
7	弓道	柴田 誠一	栃木県弓道連盟
8	ボウリング	藤沼 史暁	栃木県ボウリング連盟
9	ゴルフ	櫻井 敦	(有)櫻井鉄工所

16 スポーツ医・科学サポート事業 実施要項

1 目的

国民スポーツ大会や各種全国大会、オリンピック・パラリンピック、世界選手権等での活躍が期待される選手・チームに対し、とちぎスポーツ医科学センター(以下、T I Sという)を活用した医・科学的知見に基づいたサポートを実施し、競技力向上を図る。

2 対象

国民スポーツ大会における正式競技県内 41 競技団体等

3 事業内容

【委託事業】

(1) 帯同トレーナー派遣事業

県内外の強化練習会や強化合宿及び各種大会等に帯同トレーナーを派遣するとともに、スポーツ医・科学支援を担う人材が栃木県選手団のサポートに定着することを目的とした T I S の実施する研修会等を支援し、各種指定選手のコンディショニングサポートの充実を図る。

- ① 帯同トレーナー派遣
- ② トレーナー資質向上研修会の開催

(2) トップアスリートサポート事業

国民スポーツ大会や各種全国大会等において活躍が期待できる選手・チーム及び少年種別の選手・チーム(高等学校運動部活動拠点校を含む各指定選手)やオリンピック・パラリンピック競技大会等の国際大会において活躍が期待できる選手に対し、T I S の各種サポートの利用を支援する。

- ① チームサポート：対象は国民スポーツ大会や全国大会等において活躍が期待できるチーム
- ② アスリートサポート：対象はオリンピック・パラリンピック競技大会や世界選手権、国民スポーツ大会、全国大会等において活躍が期待できる選手
- ③ U18 サポート：対象は国民スポーツ大会や全国大会等において活躍が期待できる U18 選手・チーム(高等学校運動部活動拠点校を含む)

4 スケジュール

4月	支援競技団体決定
随時	事業実施
3月	実績報告

【 とちぎスポーツ医科学センター 】

～アスリートチェック～



TIS では、競技に必要な各体力要素を測定し、数値化します。数値化することで自分の現状の体力を把握することができ、トレーニング効果の確認や今後のトレーニングで強化していくポイントを見つけることができます。

自分の体力の現状を把握したい！という方は、基本測定がおすすめです。ぜひ、お気軽にお申し込みください。

～トレーニング・リハビリテーション指導～

アスリートチェックで明らかとなった課題に対して、個々人に適したトレーニング・リハビリテーション指導を実施していきます。

自身の体力レベルや競技種目特性を考慮した上でそれぞれの目的に応じたトレーニング指導を行います。

チームでのお申し込みも大歓迎です。ただし、アスリートチェックを受けた方のみお申し込み可能です。



～その他サポート～



栄養指導



心理指導



医事相談



パフォーマンス分析

お問い合わせ先



028-645-2080

TIS ホームページ



TIS Instagram



TIS YouTube



II

競技力向上事業の事務手続き



令和8(2026)年度栃木県競技力向上事業費補助金事務手続き

○栃木県競技力向上事業費補助金一覧

区分	事業	交付先	再交付先	支払方法
競技団体強化費	○チームとちぎ育成強化事業 ○次世代アスリート育成強化事業	競技団体	/	概算払
選手・チーム強化指定	○有望選手・チーム強化支援事業 ○ジュニアクラブチーム強化指定事業 ○オリパラアスリート強化支援事業	競技団体	対策本部が指定する選手・チーム	概算払

○フローチャート

時期	県競技力向上対策本部		競技団体
前年度10月頃	○提出書類の確認 ※次年度予算要求に反映。	←	○次年度補助金の計画書及び予算書(案)の作成・提出 (強化指定選手・チーム分を除く) 【提出書類】 計画書(別記様式第2)、予算書(別記様式第3)、 予算内訳書 ※本大会に向けた強化事業や次回団体に向けた年間計画の作成
前年度1月中～下旬 (競技団体にアリンク)	○次年度補助金の計画書及び予算書(案)の確認	→	※次年度の強化計画のポイントや予算配分への要望等。
前年度3月頃	○内示	→	○次年度補助金の計画書及び予算書の再作成・提出 ※内が額と一致するよう前回提出時からの追加・修正。 ①交付申請
内示後～4月中旬	○提出書類の確認、審査	←	【提出書類】 申請書(別記様式第1)、計画書(別記様式第2)、 予算書(別記様式第3)、予算内訳書(データ)、 選手強化計画
4月中～下旬 (申請書提出後)	○交付決定	→	○請求書の提出 【提出書類】 第1四半期請求書(別記様式第7)
4月下旬～5月上旬 (請求書提出後)	○第1四半期補助金支払	→	※同様の手続き(第2四半期:7月、第3四半期:10月、第4四半期:1月)
※必要に応じて	○内示	→	②変更交付申請 【提出書類】 変更承認申請書(別記様式第8)
	○変更交付決定	←	○請求書の提出 【提出書類】 請求書(別記様式第7)
	○補助金支払	→	
11月上旬	○執行見込額調査	→	○執行見込額調査票の回答 ※10月末時点の執行済額と年度末までの執行計画を確認して作成。
1月中～下旬 (競技団体にアリンク)	○執行状況の確認 ※執行見込額調査から年度末までの執行予定を再確認	→	※12月末時点の執行済額と年度末までの執行計画を確認して回答。 ※事業実績報告に向け、会計書類等の整理(随時)。
事業終了後30日以内 ～次年度4月10日	○提出書類の確認、実績報告書の検査	←	○事業実績報告書の提出 【提出書類】 報告書添書(別記様式第4)、実績報告書(別記様式第5)、 収支決算書(別記様式第6)、決算内訳書(データ)、 選手強化成果表、記録写真、関係書類及び領収書(写)
次年度4月中旬 ～5月上旬 (実績報告書提出後)	○補助金の額の確定	→	

栃木県競技力向上対策本部補助金交付要綱

(趣旨)

第1条 栃木県競技力向上対策本部長（以下「本部長」という。）は、国民体育（スポーツ）大会等（以下「国体等」という。）に向けた本県の競技力向上を図るため、競技団体等が行う選手及び指導者の育成・強化に要する経費に対し、この要綱に定めるところにより、予算の範囲内で補助金を交付する。

(交付の対象)

第2条 この補助金は、競技団体、学校等において、国体等に向けた選手及び指導者の育成・強化のために実施する事業を交付の対象とする。

2 補助金の名称、目的、交付の対象である事務又は事業の内容、その交付額及び交付の相手方は別に定める。

(交付の申請)

第3条 補助金の交付の申請をしようとする者は、補助金交付申請書（様式第1号）に次に掲げる書類を添えて、別に定める期日までに本部長に提出しなければならない。

- (1) 事業計画書
- (2) 収支予算書
- (3) その他本部長が必要と認める書類

(補助金の対象期間)

第4条 補助金の対象期間は、交付決定のあった日から翌年3月31日までとする。

(交付の決定)

第5条 本部長は、補助金の交付の申請があったときは、当該申請に係る書類の審査及び必要に応じて行う現地調査等により、当該申請に係る補助金を交付すべきものと認めたときは、速やかに補助金の交付の決定をするものとする。

2 本部長は、第1項の場合において、適正な交付を行うため必要があるときは、補助金の交付の申請に係る事項につき修正を加えて補助金の交付の決定をすることがある。

3 本部長は、補助金の交付の決定をしたときは、速やかにその決定の内容及びこれに条件を附した場合にはその条件を補助金の交付の申請をした者に通知するものとする。

(交付の条件)

第6条 本部長は、補助金の交付の決定をする場合において、予算で定める補助金の交付の目的を達成するために必要があるときは、次に掲げる事項につき条件を附するものとする。

- (1) 補助事業に要する経費の配分の変更又は補助事業の内容の変更（第8条で定める軽

微な変更を除く。)をする場合においては、本部長の承認を受けること。

- (2) 補助事業を中止し、又は廃止する場合においては、本部長の承認を受けること。
 - (3) 補助事業が予定の期間内に完了しない場合又は当該事業の遂行が困難となった場合においては、速やかに本部長に報告し、その指示を受けること。
 - (4) 補助事業の完了により当該事業者が相当の収益が生ずると認められる場合においては、当該補助金の交付の目的に反しない場合に限る、その交付した補助金の全部又は一部に相当する金額を本部長に納付すること。
- 2 本部長は、前項に定めるもののほか、補助金の交付の目的を達成するため必要な条件を附することがある。

(申請の取下げ)

- 第7条 補助金の交付の申請をした者は、第5条第3項による通知を受領した場合において、当該通知に係る補助金の交付の決定の内容又はこれに附された条件に不服があるときは、当該受領の日から10日を経過する日までに申請の取り下げをすることができる。ただし、本部長が特に必要と認める場合は、この期間を短縮し、又は延長することがある。
- 2 前項の規定による申請の取り下げがあつたときは、当該申請に係る補助金の交付の決定は、なかつたものとみなす。

(軽微な変更)

- 第8条 第6条第2項第1号における軽微な変更とは、次に掲げる変更以外の変更とする。
- (1) 事業種目を変更し、又は廃止すること。
 - (2) 事業主体を変更すること。
 - (3) 総事業費の20パーセント以上の変更をすること。

(変更の承認)

- 第9条 第6条第2項第1号の規定に基づく補助事業の内容の変更について承認を受けようとする場合には、変更承認申請書(様式第2号)に変更の内容及び理由を記載して本部長に提出しなければならない。

(決定の取消し)

- 第10条 本部長は、補助事業者が補助金の他の用途への使用をし、その他補助事業に関し、補助金の交付の決定の内容又はこれに附した条件その他法令等又はこれに基づく本部長の処分違反したときは、補助金の交付の決定の全部又は一部を取り消すことがある。
- 2 本部長は、補助金の交付の決定をした場合において、その後の事情の変更により特別の必要が生じたときは、補助金の交付の決定の全部若しくは一部を取り消し、又はその決定の内容若しくはこれに附した条件を変更することがある。ただし、補助事業のうちですでに経過した期間に係る部分については、この限りでない。
- 3 第2項の規定により補助金の交付の決定を取り消すことができる場合は、次の各号に該当する場合とする。

- (1) 天災地変その他補助金の交付の決定後生じた事情の変更により、補助事業の全部若しくは一部を継続する必要がなくなった場合
- (2) 前号に規定する場合のほか、補助事業を遂行することができない場合（補助事業者の責に帰すべき事由による場合を除く。）

（補助事業の遂行）

第11条 補助事業者は、法令等の定め並びに補助金の交付の決定の内容及びこれに附した条件その他法令等に基づく本部長の処分に従い、善良な管理者の注意をもって補助事業を行わなければならない。いやしくも補助金の他の用途への使用をしてはならない。

- 2 補助事業により取得し、又は効用の増加した財産については、事業完了後においても善良な管理者の注意を持って管理するとともに、その効率的な運営を図らなければならない。

（状況報告）

第12条 補助事業者は、補助事業の遂行の状況に関し、別に通知する書類をもって、本部長に報告しなければならない。

（実績報告）

第13条 補助事業者は、補助事業が完了したときは、事業の完了した日から起算して30日以内又は4月10日のいずれか早い日までに、補助事業実績報告書（様式第3号）に次に掲げる書類を添えて、本部長に報告しなければならない。

- (1) 実績報告書
- (2) 収支決算書
- (3) その他本部長が必要と認める書類

（検査）

第14条 本部長は、前条の規定により補助事業の完了の届出があったときは、補助事業者に対し、本部長の命じた職員（以下「検査員」という。）をして、当該補助事業に係る書類、帳簿その他必要な物件の検査を行わせることがある。

- 2 本部長は、補助金に係る予算の執行の適正を期するため必要があると認めたときは、いつでも検査員をして補助事業者に対し、当該事業に係る帳簿、書類その他の物件の検査を行わせることがある。

（補助金の額の確定）

第15条 本部長は、第13条の規定による実績報告書の提出を受けた場合は、前条の規定により行う検査により、その報告に係る補助事業の成果が補助金の交付の決定の内容及びこれに付した条件に適合するものであるかどうかを調査し、適合すると認めたときは、交付すべき補助金の額を確定し、当該補助事業者に通知する。

(交付の請求)

第16条 補助事業者は、補助金の交付を受けようとするときは、補助金交付請求書(様式第4号)に次に掲げる書類を添えて、本部長に提出しなければならない。

- (1) 交付決定通知書の写
- (2) その他本部長が必要と認める書類

2 本部長は、特に必要があると認めるときは、補助金を概算払により交付することができる。

(補助金の返還)

第17条 本部長は、補助金の交付の決定を取り消した場合において、補助事業の当該取消しに係る部分に関し、すでに補助金が交付されているときは、期限を定めて、その返還を命ずるものとする。

(帳簿の備付等)

第18条 補助事業者は、補助事業に係る収入及び支出を証らかにした帳簿を備え、かつ、当該収入及び支出についての証拠書類を整理し、これらの書類を事業の完了の日の属する年度の終了後5年間保管しておかななければならない。

(財産処分の制限)

第19条 補助事業者等は、補助事業等により取得し、又は効用の増加した財産を本部長の承認を受けないで、補助金等の交付の目的に反して使用し、譲渡し、交換し、貸し付け又は担保に供してはならない。

(その他)

第20条 この要綱に定めるもののほか、補助金に関し必要な事項は、本部長が別に定めるものとする。

附 則

この要綱は、平成28年4月1日から適用する

附 則

この要綱は、平成29年4月1日から適用する

附 則

この要綱は、令和3年4月1日から適用する

附 則

この要綱は、令和5年4月1日から適用する

栃木県競技力向上事業費補助金交付要領

(趣 旨)

第1条 栃木県競技力向上対策本部（以下「対策本部」という。）の交付する栃木県競技力向上事業費補助金（以下「補助金」という。）の交付については、栃木県競技力向上対策本部補助金交付要綱（以下「要綱」という。）に規定するもののほか、この要領の定めるところによる。

(補助対象)

第2条 要綱第2条の規定による補助金の名称、目的、交付の対象である事務又は事業の内容、対象経費及び交付の相手方は別表に定めるもののほか本部長が必要と認めるものとし、予算の範囲内で交付する。

(交付の申請)

第3条 補助金の交付を受けようとする者が、要綱第3条の規定により提出する書類は、次の表に定めるところによる。

提出すべき申請書の名称	様式	部数	申請書に添付すべき書類の名称	様式	部数	提出期限
栃木県競技力向上事業費補助金交付申請書	別記様式第1	1	1 事業計画書	別記様式第2	1	本部長が別に定める日
			2 収支予算書	別記様式第3	1	

(変更の承認又は追加交付申請)

第4条 要綱第6条第1号に基づく本部長の承認を受けようとする場合には、変更承認申請書（別記様式第8）に変更の内容及び理由を記載した書類を添付して1部を本部長に提出しなければならない。

2 この補助金の交付決定後の事業の変更により申請の内容を変更して追加交付申請を行う場合には、変更承認申請書に変更内容及び理由を記載した書類を添付して、1部を交付申請の手続きに従い本部長に提出しなければならない。

(実績報告)

第5条 要綱第13条の規定により提出する書類は、次の表に定めるところによる。

提出すべき報告書の名称	様式	部数	報告書に添付すべき書類の名称	様式	部数	提出期限
栃木県競技力向上事業費補助金実績報告書	別記様式第4	1	1 実績報告書	別記様式第5	1	事業完了後の30日以内または4月10日のいずれか早い日
			2 収支決算書	別記様式第6	1	

(補助金等の請求)

第6条 要綱第16条の規定により提出する書類は、次の表に定めるところによる。

提出すべき請求書の名称	様式	部数	請求書に添付すべき書類の名称	部数	提出期限
栃木県競技力向上事業費補助金交付請求書	別記様式第7	1	交付決定通知書の写	1	交付を受けようとする日の10日前

附 則

この要領は、平成27年度分の補助金から適用する。

附 則

この要領は、平成28年度分の補助金から適用する。

附 則

この要領は、平成29年度分の補助金から適用する。

附 則

この要領は、令和2年度分の補助金から適用する。

附 則

この要領は、令和3年度分の補助金から適用する。

附 則

この要領は、令和5年度分の補助金から適用する。

附 則

この要領は、令和8年度分の補助金から適用する。

【別表】

補助金の名称	交付の目的	交付の対象である事務又は事業の内容及び対象経費	交付の相手方
チームとちぎ育成強化事業	本県選手の国スポ等における、優勝数・入賞数の増加	県内競技団体が行う強化練習会及び強化合宿等に要する報償費、旅費及び使用賃借料等の経費	国スポ正式競技である県内41競技団体
有望選手・チーム強化支援事業	国スポ等での活躍が期待される選手及びチームの競技力向上	対策本部が指定した選手又はチームが行う強化練習会や強化合宿等に要する報償費、旅費及び使用賃借料等の経費	対策本部が指定した県内競技団体
オリパラアスリート強化支援事業	オリンピック・パラリンピック等での活躍が期待される選手の競技力向上	対策本部が指定した選手が行う強化練習や強化合宿等に要する報償費、旅費及び使用賃借料等の経費	対策本部が指定した県内競技団体
次世代アスリート育成強化事業	本県ジュニア選手に対する競技の普及及び育成強化	県内競技団体がジュニア選手を対象に行う、普及・育成強化を図るためのイベント及び強化練習会等に要する報償費、旅費及び使用賃借料等の経費	国スポ正式競技である県内40競技団体

令和8(2026)年度栃木県競技力向上事業費補助金 対象経費等一覧

No	補助対象経費	補助対象限度額	チームとちぎ	アセスメント	有望・オリパラ(選手)・次世代(チーム)		補助対象外経費
					選強化指手定	手強化指ム定	
1	雑償費	指導手当：2,500円/日、講師謝金「別表1」	○	○	●	○	会議手当
2	旅費	交通費：実費（注意事項①）	○	○	○	○	燃料代（自家用車）、タクシー代
		宿泊費：都道府県別上限額(別表2)/食事代込（注意事項②）	○	○	○	○	
3	使用貸借料	実費（注意事項③）	○	○	○	○	
4	消耗品費	交付額の原則10%程度（注意事項④）	○	○	○	○	単価10万円以上、備品
5	通信運搬費	実費	○	○	○	○	
6	印刷製本費	実費	○	○	○	○	
7	保険料	実費	○	○	○	○	
8	スポーツ用具費	各事業の原則20%程度（注意事項⑤）	○	○	●	○	個人的用具（ラケット・スパイク等）、備品
9	大会参加料	実費	○	○	○	○	県内競技団体主催大会参加料
10	その他経費	本部長が認めるもの（注意事項⑥、⑦）	○	○	●	○	資格取得等受講料

【注意事項】 ※原則、必ず領収証を提出すること。

① 自家用車利用の場合は、21円/kmとし出発地（自宅・勤務地）から会場地の往復距離とする（往復のkm未満は切り捨て）。なお、同乗者への旅費は補助対象外とする。

※有料・高速道路を利用した場合は、領収証のコピー又はETC利用明細書を提出すること。また、航空、水上交通機関を利用の場合も領収証のコピーを提出すること。

※特別急行列車（新幹線等）の急行料金については、旅行の実情に応じて強化上必要であれば支給可能（県の旅費規程に準ずる）。

② 学校内などの宿泊施設使用については、1人2,500円/泊を補助対象とする。

③ とちぎスポーツ医学センターの利用料金、借上げバスやレンタカーの使用料及び駐車場及び駐車場代は使用貸借料として補助対象とする。

④ 栄養補助食品（サプリメント・プロテイン等）、練習会や合宿、会議等で必要な飲料及びアイシングや熱中症対策等で必要な米は消耗品費として補助対象とする。

新型コロナウイルス感染症の対策用品として消毒液やフェイスマスク、非接触型体温計等についても消耗品費として補助対象とする。

⑤ スポーツ用具費とは、競技用具の中でも消耗品に類するものを指す（例：ボール、シャトル等）。概ね1年以内にその性質・形状が失われるものが該当。

⑥ 手数料（振込手数料等）、委託料、修繕費（スポーツ用具）等及び、招へい講師の食事代（1食1,000円上限）はその他経費として補助対象とする。

⑦ その他、支出に關して不明な点は、事前に栃木県競技力向上対策本部事務局に相談すること。

● 強化指定選手に対する報償費は、個人的に契約するコーチやトレーナー等への謝金を補助対象とする。

スポーツ用具費は、個人的用具であつても補助対象とする（限産額は定めない）。心体のケアにかかるコンディショニング費用についてもその他経費として補助対象とする。

令和8(2026)年度栃木県競技力向上事業費補助金 講師謝金区分

謝金対象区分					補助対象限度額		
					¥50,000	¥30,000	¥10,000
とちぎ競技力向上事業費 ※1・2	有識者	大学関係者	大学教授・准教授・講師 等	県外	○		
				県内		○	
		ドクター	スポーツドクター 等	県外	○		
				県内		○	
	指導者	著名な指導者	日本代表監督・コーチ 中央競技団体強化委員 等	県外	○		
				県内		○	
		専門指導者	地方競技団体強化委員 実業団チーム監督・管理栄養士 メンタルトレーナー 等	県外		○	
				県内			○
	選手	著名な選手	オリンピック入賞 世界選手権入賞 等	県外	○		
				県内		○	
		トップレベル選手	オリンピック代表 世界選手権代表 等	県外		○	
				県内			○

- ・原則として、事業を実施する競技団体登録者を除くこととする。
- ・各競技団体は謝金支払時に源泉徴収の手続きを行う。また、講師に確定申告を行うよう伝える。
- ・講師謝金に関して不明な点は、事前に栃木県競技力向上対策本部事務局に相談する。

※1 県外・県内の区分は、居住地または所属チーム・登録競技団体等の所在地による。

※2 栃木県競技力向上事業費補助金の講師謝金単価は、一人の講師に1日(4時間～6時間)の指導を依頼した場合の基準とし、半日(2時間～3時間)の場合は半額とする。なお、講師謝金単価以上を支払う場合は、競技団体が超過分を負担すること。

栃木県競技力向上事業費補助金 対象経費等一覧

別表 2

〈都道府県別上限額〉

	北海道	東北	関東	北信越	東海	近畿	中国	四国	九州
北海道	13,000	青森 11,000 岩手 9,000 宮城 10,000 秋田 11,000 山形 10,000 福島 8,000	茨城 11,000 栃木 10,000 群馬 10,000 埼玉 19,000 千葉 17,000 東京 19,000 神奈川 16,000 山梨 12,000	新潟 16,000 長野 11,000 富山 11,000 石川 9,000 福井 10,000	静岡 9,000 愛知 11,000 三重 9,000 岐阜 13,000	滋賀 11,000 京都 19,000 大阪 13,000 兵庫 12,000 奈良 11,000 和歌山 11,000	鳥取 8,000 島根 9,000 岡山 10,000 広島 13,000 山口 8,000	香川 15,000 徳島 10,000 愛媛 10,000 高知 11,000	福岡 18,000 佐賀 11,000 長崎 11,000 熊本 14,000 大分 11,000 宮崎 12,000 鹿児島 12,000 沖縄 11,000

スポーツ用具整備事業実施要領

(趣旨)

第1条 この要領は、栃木県競技力向上対策本部（以下「対策本部」という。）が国民体育（スポーツ）大会に向けて競技力向上を推進するために実施するスポーツ用具整備事業の実施に関し必要な事項を定めるものとする。

(整備対象競技)

第2条 本事業によりスポーツ用具（以下「用具」という。）を整備する競技は、国民体育（スポーツ）大会における正式競技とする。

(整備対象用具)

第3条 本事業により整備する用具は、競技力向上に資するもので、かつ次に掲げる要件のうちいずれかに合致すると対策本部が認めるものとする。ただし、税込単価100,000円未満のもの、競技会の運営上必要なもの及び個人に帰属する性格のものは対象外とする。

- (1) 高額等の理由により、競技団体で整備することが困難なもの
- (2) 用具が整備されておらず、新たに整備する必要があるもの
- (3) 既に整備されている用具があるが、競技規則変更等による規格外、整備数不足及び老朽化等の理由により、改めて整備する必要があるもの
- (4) 競技人口が少なく、競技の普及促進のため整備する必要があるもの
- (5) その他、競技力向上の推進のために必要と認められるもの

(整備方法)

第4条 用具整備を希望する競技団体は、別に定める期日までに整備要望申請書（別記様式第1号）を対策本部長に提出する。

2 対策本部長は、前項の申請書を受理したときは、内容を審査し、適当と認めた用具を整備する。

3 対策本部長が整備した用具については、競技団体からの申請に基づき無償で貸付けることとする。

4 税込単価100,000円未満のもの及び特に対策本部長が必要と認める用具については、競技団体その他団体へ無償で譲渡することができる。

5 整備年度の次年度より3年間の貸与を継続した上で、対策本部長が認めた用具については、無償で競技団体その他団体へ譲渡することができる。

(貸付の申請)

第5条 前条第3項の規定による貸付を受けようとする競技団体は、借受申請書（別記様式第2号）を対策本部長に提出しなければならない。

(貸付の承認)

第6条 対策本部長は、前条の申請書を受理したときは、内容を審査し、承認したときは貸付

承認書（別記様式第3号）により、承認しないときはその旨を記載した通知書により申請者に通知するものとする。

（借受書）

第7条 前2条の規定により用具を借受ける競技団体（以下「借受人」という。）は、借受書（別記様式第4号）を対策本部長に提出しなければならない。

（事故報告書）

第8条 借受人が、借受用具を亡失又はき損した場合は、事故報告書（別記様式第5号）により対策本部長に報告し、その指示に従わなければならない。この場合において、その原因が天災火災又は盗難に係るものであるときは、亡失又はき損の事実を証する関係官公署の発行する証明書を当該様式に添付すること。

2 対策本部長は前項の報告を受けた場合において亡失又はき損が借受人の責に帰すべき理由によるものであると認めるときは、これを補てんさせ、若しくは修理させ、又はその損害を弁償させるものとする。

（貸付期間）

第9条 用具の貸付期間は、特に必要と認められる場合を除き、貸付日から翌年3月31日までとする。ただし、1年を超えない期間において延長することができる。

（貸付条件）

第10条 用具の貸付けにあたり、次の各号に掲げる条件を付す。

- （1）貸付用具の引渡し、維持、修繕及び返納に要する費用は、借受人が負担するものとする。
 - （2）貸付用具は、善良な管理者の注意をもって管理し、その効率的使用に努めること。
 - （3）貸付用具は、転貸しないこと。
 - （4）貸付用具は、貸付の目的以外の目的のために使用しないこと。
 - （5）貸付用具についての使用場所が指定されたときは、指定場所以外の場所では使用しないこと。
 - （6）貸付用具は、借受人が貸付条件に違反したときは、対策本部長の指示に従い、すみやかに返納すること。
 - （7）貸付用具は、貸付期間満了の日までに指定された場所に返納すること。
 - （8）貸付用具について、対策本部長が随時に実地に調査し、若しくは所要の報告を求め、又は当該用具の維持、管理及び返納に関して必要な指示をしたときは、これに従うこと。
- 2 対策本部長は、前項各号に掲げる条件のほか、必要と認める条件を付することがある。

（譲渡の申請）

第11条 前条の条件に該当し譲渡を受けようとする競技団体は、譲渡申請書（別記様式第6号）及び誓約書を対策本部長に提出しなければならない。

(譲渡の承認)

第12条 対策本部長は、前条の申請書を受理したときは、内容を審査し、承認したときは譲渡承認書（別記様式第7号）により、承認しないときはその旨を記載した通知書により申請者に通知するものとする。

(受領書)

第13条 前2条の規定により用具の譲渡を受ける競技団体は、受領書（別記様式第8号）を対策本部長に提出しなければならない。

(譲渡条件)

第14条 用具の譲渡にあたり、次の各号に掲げる条件を付す。

- (1) 譲渡される用具は、管理責任者の責任の下、適切に使用すること。
- (2) 譲渡される用具の所在は、管理責任者が責任をもって把握すること。
- (3) 譲渡される用具の処分は、譲渡を受けた団体が適切に処分すること。
- (4) 譲渡を受けた団体は、管理状況を把握し、事故等が生じた場合は責任を持って対応すること。

2 対策本部長は、前項各号に掲げる条件のほか、必要と認める条件を付することがある。

附 則

この要領は、平成27年4月1日から適用する。

附 則

この要領は、平成31年4月1日から適用する。

附 則

この要領は、令和5年4月1日から適用する。

強化拠点校支援事業補助金交付要領

(趣 旨)

第1条 栃木県競技力向上対策本部（以下「対策本部」という。）の交付する強化拠点校支援事業補助金の交付については、栃木県競技力向上対策本部補助金交付要綱（以下「要綱」という。）に規定するもののほか、この要領の定めるところによる。

(交付の目的等)

第2条 強化拠点校支援事業補助金の名称、目的、交付の対象である事務又は事業の内容、その交付額及び交付の相手方は、次の表のとおりとし、予算の範囲内で交付する。

補助金の名称	補助金等の交付の目的	交付の対象である事務又は事業の内容	交付額	交付の相手方
強化拠点校支援事業補助金	県内高校生の競技力向上	高体連主催の関東大会やインターハイ等に向けた競技力向上を図るための強化練習や合宿、遠征等	200,000円 (定額)	高体連が定める運動部活動重点拠点校

(交付の申請)

第3条 強化拠点校支援事業補助金の交付を受けようとする者が、要綱第3条の規定により提出する書類は、次の表に定めるところによる。

提出すべき申請書の名称	様式	部数	申請書に添付すべき書類の名称	様式	部数	提出期限
強化拠点校支援事業補助金交付申請書	別記様式第1	1	1 事業計画書 2 収支予算書	別記様式第2 別記様式第3	1 1	本部長が別に定める日

(交付の条件)

第4条 要綱第6条の規定による条件は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 強化拠点校支援事業補助金の交付対象である事業（以下「補助金事業」という。）の内容の変更（第5条の軽微な変更を除く。）をする場合においては、本部長の承認を受けること。
- (2) 補助金事業を中止し、又は廃止する場合においては、本部長の承認を受けること。
- (3) 補助金事業が予定の期間内に完了しない場合又は当該事業の遂行が困難となった場合においては、速やかに本部長に報告し、その指示を受けなければならない。
- (4) 補助金事業により取得し、または効用の増加した財産については、本部長の承認を受けずしてこの補助金の交付の目的に反して使用し、譲渡し、交換し、貸し付け、担保に供し、又は廃棄してはならない。
- (5) 本部長の承認を受けて財産を処分することにより収入があった場合には、その収入の全部または一部を対策本部に納付させることがある。
- (6) 補助金事業により取得し、又は効用の増加した財産については、事業完了後においても善良な管理者の注意を持って管理するとともに、その効率的な運営を図らなければならない。
- (7) 強化拠点校支援事業補助金と補助金事業に係る証拠書類等の管理については、補助金事業に係る収入及び支出を明らかにした帳簿を備え、当該収入及び支出について証拠書類を

整理し、かつ、当該帳簿及び証拠書類を補助金事業完了の日（補助金事業の中止又は本部長の承認を受けた場合には、その承認を受けた日）の属する年度の終了後5年間保管しなければならない。

（軽微な変更）

第5条 第4条第1号における軽微な変更とは、次に掲げる変更以外の変更とする。

- （1） 事業種目を変更し、又は廃止すること。
- （2） 事業主体を変更すること。
- （3） 総事業費の20%以上の変更をすること。

（変更の承認）

第6条 第4条1号の規定に基づく本部長の承認を受けようとする場合には、変更承認申請書（別記様式第8）に変更の内容及び理由を記載した書類を添付して1部を本部長に提出しなければならない。

（実績報告）

第7条 要綱第13条の規定により提出する書類は、次の表に定めるところによる。

提出すべき報告書の名称	様式	部数	報告書に添付すべき書類の名称	様式	部数	提出期限
強化拠点校支援事業補助金実績報告書	別記様式第4	1	1 実績報告書	別記様式第5	1	事業完了後の30日以内又は翌年度の4月10日のいずれか早い日
			2 収支決算書	別記様式第6	1	

（補助金等の請求）

第8条 要綱第16条の規定により提出する書類は、次の表に定めるところによる。

提出すべき請求書の名称	様式	部数	請求書に添付すべき書類の名称	部数	提出期限
強化拠点校支援事業補助金交付請求書	別記様式第7	1	交付決定通知書の写し	1	交付を受けようとする日の10日前

附 則

この要領は、令和8年度分の強化拠点校支援事業補助金から適用する。

指導者連携強化事業補助金交付要領

(趣 旨)

第1条 栃木県競技力向上対策本部（以下「対策本部」という。）の交付する指導者連携強化事業補助金の交付については、栃木県競技力向上対策本部補助金交付要綱（以下「要綱」という。）に規定するもののほか、この要領の定めるところによる。

(交付の目的等)

第2条 指導者連携強化事業補助金の名称、目的、交付の対象である事務又は事業の内容、その交付額及び交付の相手方は、次の表のとおりとし、予算の範囲内で交付する。

補助金の名称	補助金等の交付の目的	交付の対象である事務又は事業の内容	交付率	交付の相手方
指導者連携強化事業補助金	有望選手の県内定着	カテゴリーを超えた指導者間の情報交換会や研修会等の開催の補助	10/10	県内41競技団体

(交付の申請)

第3条 指導者連携強化事業補助金の交付を受けようとする者が、要綱第3条の規定により提出する書類は、次の表に定めるところによる。

提出すべき申請書の名称	様式	部数	申請書に添付すべき書類の名称	様式	部数	提出期限
指導者連携強化事業補助金交付申請書	別記様式第1	1	1 事業計画書 2 収支予算書	別記様式第2 別記様式第3	1 1	本部長が別に定める日

(交付の条件)

第4条 要綱第6条の規定による条件は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 指導者連携強化事業補助金の交付対象である事業（以下「補助金事業」という。）の内容の変更（第5条の軽微な変更を除く。）をする場合においては、本部長の承認を受けること。
- (2) 補助金事業を中止し、又は廃止する場合においては、本部長の承認を受けること。
- (3) 補助金事業が予定の期間内に完了しない場合又は当該事業の遂行が困難となった場合においては、速やかに本部長に報告し、その指示を受けなければならない。
- (4) 補助金事業により取得し、または効用の増加した財産については、本部長の承認を受けずしてこの補助金の交付の目的に反して使用し、譲渡し、交換し、貸し付け、担保に供し、又は廃棄してはならない。
- (5) 本部長の承認を受けて財産を処分することにより収入があった場合には、その収入の全部または一部を対策本部に納付させることがある。
- (6) 補助金事業により取得し、又は効用の増加した財産については、事業完了後においても善良な管理者の注意を持って管理するとともに、その効率的な運営を図らなければならない。
- (7) 指導者連携強化事業補助金と補助金事業に係る証拠書類等の管理については、補助金事業に係る収入及び支出を明らかにした帳簿を備え、当該収入及び支出について証拠書類を

整理し、かつ、当該帳簿及び証拠書類を補助金事業完了の日（補助金事業の中止又は本部長の承認を受けた場合には、その承認を受けた日）の属する年度の終了後5年間保管しなければならない。

（軽微な変更）

第5条 第4条第1号における軽微な変更とは、次に掲げる変更以外の変更とする。

- （1） 事業種目を変更し、又は廃止すること。
- （2） 事業主体を変更すること。
- （3） 総事業費の20%以上の変更をすること。

（変更の承認）

第6条 第4条1号の規定に基づく本部長の承認を受けようとする場合には、変更承認申請書（別記様式第8）に変更の内容及び理由を記載した書類を添付して1部を本部長に提出しなければならない。

（実績報告）

第7条 要綱第13条の規定により提出する書類は、次の表に定めるところによる。

提出すべき報告書の名称	様式	部数	報告書に添付すべき書類の名称	様式	部数	提出期限
指導者連携強化事業補助金実績報告書	別記様式第4	1	1 実績報告書 2 収支決算書	別記様式第5-1、5-2 別記様式第6	1 1	事業完了後の30日以内又は翌年度の4月10日のいずれか早い日

（補助金等の請求）

第8条 要綱第16条の規定により提出する書類は、次の表に定めるところによる。

提出すべき請求書の名称	様式	部数	請求書に添付すべき書類の名称	部数	提出期限
指導者連携強化事業補助金交付請求書	別記様式第7	1	交付決定通知書の写し	1	交付を受けようとする日の10日前

附 則

この要領は、令和8年度分の指導者連携強化事業補助金から適用する。

中体連・高体連普及強化活動支援事業補助金交付要綱

(趣 旨)

第1条 栃木県競技力向上対策本部（以下「対策本部」という。）の交付する中体連・高体連普及強化活動支援事業補助金の交付については、栃木県競技力向上対策本部補助金交付要綱（以下「要綱」という。）に規定するもののほか、この要綱の定めるところによる。

(交付の目的等)

第2条 中体連・高体連普及強化活動支援事業補助金の名称、目的、交付の対象である事務又は事業の内容、その交付額及び交付の相手方は、次の表のとおりとし、予算の範囲内で交付する。

補助金の名称	補助金等の交付の目的	交付の対象である事務又は事業の内容	交付額	交付の相手方
中体連・高体連普及強化活動支援事業補助金	県内中学生・高校生の競技力向上	県内中学生・高校生の競技力向上並びに競技人口拡大を図るための強化練習や合宿、遠征等	予算の範囲内で本部長が定める額	栃木県中学校体育連盟 栃木県高等学校体育連盟

(交付の申請)

第3条 中体連・高体連普及強化活動支援事業補助金の交付を受けようとする者が、要綱第3条の規定により提出する書類は、次の表に定めるところによる。

提出すべき申請書の名称	様式	部数	申請書に添付すべき書類の名称	様式	部数	提出期限
中体連・高体連普及強化活動支援事業補助金交付申請書	別記様式第1	1	1 事業計画書 2 収支予算書	別記様式第2 別記様式第3	1 1	本部長が別に定める日

(交付の条件)

第4条 要綱第6条の規定による条件は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 中体連・高体連普及強化活動支援事業補助金の交付対象である事業（以下「補助金事業」という。）の内容の変更（第5条の軽微な変更を除く。）をする場合においては、本部長の承認を受けること。
- (2) 補助金事業を中止し、又は廃止する場合においては、本部長の承認を受けること。
- (3) 補助金事業が予定の期間内に完了しない場合又は当該事業の遂行が困難となった場合においては、速やかに本部長に報告し、その指示を受けなければならない。
- (4) 補助金事業により取得し、または効用の増加した財産については、本部長の承認を受けずこの補助金の交付の目的に反して使用し、譲渡し、交換し、貸し付け、担保に供し、又は廃棄してはならない。
- (5) 本部長の承認を受けて財産を処分することにより収入があった場合には、その収入の全部または一部を対策本部に納付させることがある。
- (6) 補助金事業により取得し、又は効用の増加した財産については、事業完了後においても善良な管理者の注意を持って管理するとともに、その効率的な運営を図らなければならない。
- (7) 中体連・高体連普及強化活動支援事業補助金と補助金事業に係る証拠書類等の管理については、補助金事業に係る収入及び支出を明らかにした帳簿を備え、当該収入及び支出につ

いて証拠書類を整理し、かつ、当該帳簿及び証拠書類を補助金事業完了の日（補助金事業の中止又は本部長の承認を受けた場合には、その承認を受けた日）の属する年度の終了後5年間保管しなければならない。

（軽微な変更）

第5条 第4条第1号における軽微な変更とは、次に掲げる変更以外の変更とする。

- （1） 事業種目を変更し、又は廃止すること。
- （2） 事業主体を変更すること。
- （3） 総事業費の20%以上の変更をすること。

（変更の承認）

第6条 第4条1号の規定に基づく本部長の承認を受けようとする場合には、変更承認申請書（別記様式第8）に変更の内容及び理由を記載した書類を添付して1部を本部長に提出しなければならない。

（実績報告）

第7条 要綱第13条の規定により提出する書類は、次の表に定めるところによる。

提出すべき報告書の名称	様式	部数	報告書に添付すべき書類の名称	様式	部数	提出期限
中体連・高体連普及強化活動支援事業補助金実績報告書	別記様式第4	1	1 実績報告書	別記様式第5	1	事業完了後の30日以内又は4月10日のいずれか早い日
			2 収支決算書	別記様式第6	1	

（補助金等の請求）

第8条 要綱第16条の規定により提出する書類は、次の表に定めるところによる。

提出すべき請求書の名称	様式	部数	請求書に添付すべき書類の名称	部数	提出期限
中体連・高体連普及強化活動支援事業補助金交付請求書	別記様式第7	1	交付決定通知書の写	1	交付を受けようとする日の10日前

附 則

この要領は、平成28年度分の中学校拠点校支援事業補助金から適用する。

この要領は、平成28年度分の高等学校拠点校支援事業補助金から適用する。

附 則

この要領は、平成29年4月1日から適用する。

附 則

この要領は、令和2年4月1日から適用する。

附 則

この要領は、令和3年4月1日から適用する。

附 則

この要領は、令和5年4月1日から適用する。

附 則

この要領は、令和8年4月1日から適用する。

上級指導者養成事業補助金交付要領

(趣 旨)

第1条 栃木県競技力向上対策本部（以下「対策本部」という。）の交付する上級指導者養成事業補助金の交付については、栃木県競技力向上対策本部補助金交付要綱（以下「要綱」という。）に規定するもののほか、この要領の定めるところによる。

(交付の目的等)

第2条 上級指導者養成事業補助金の名称、目的、交付の対象である事務又は事業の内容、その交付額及び交付の相手方は、次の表のとおりとし、予算の範囲内で交付する。

補助金の名称	補助金等の交付の目的	交付の対象である事務又は事業の内容	交付の相手方
上級指導者養成事業補助金	県内指導者の質的拡充	競技力向上に向けた指導者の資質向上を図るための研修会参加や、視察等	国体正式競技である県内41競技団体の内、該当競技団体

(交付の申請)

第3条 上級指導者養成事業補助金の交付を受けようとする者が、要綱第3条の規定により提出する書類は、次の表に定めるところによる。

提出すべき申請書の名称	様式	部数	申請書に添付すべき書類の名称	様式	部数	提出期限
上級指導者養成事業補助金交付申請書	別記様式第1	1	1 事業計画書 2 収支予算書	別記様式第2 別記様式第3	1 1	本部長が別に定める日

(交付の条件)

第4条 要綱第6条の規定による条件は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 上級指導者養成事業補助金の交付対象である事業（以下「補助金事業」という。）の内容の変更（第5条の軽微な変更を除く。）をする場合においては、本部長の承認を受けること。
- (2) 補助金事業を中止し、又は廃止する場合においては、本部長の承認を受けること。
- (3) 補助金事業が予定の期間内に完了しない場合又は当該事業の遂行が困難となった場合においては、速やかに本部長に報告し、その指示を受けなければならない。
- (4) 補助金事業により取得し、または効用の増加した財産については、本部長の承認を受けずしてこの補助金の交付の目的に反して使用し、譲渡し、交換し、貸し付け、担保に供し、又は廃棄してはならない。
- (5) 本部長の承認を受けて財産を処分することにより収入があった場合には、その収入の全部または一部を対策本部に納付させることがある。
- (6) 補助金事業により取得し、又は効用の増加した財産については、事業完了後においても善良な管理者の注意を持って管理するとともに、その効率的な運営を図らなければならない。
- (7) 上級指導者養成事業補助金と補助金事業に係る証拠書類等の管理については、補助金事業に係る収入及び支出を明らかにした帳簿を備え、当該収入及び支出について証拠書類を

整理し、かつ、当該帳簿及び証拠書類を補助金事業完了の日（補助金事業の中止又は本部長の承認を受けた場合には、その承認を受けた日）の属する年度の終了後5年間保管しなければならない。

（軽微な変更）

第5条 第4条第1号における軽微な変更とは、次に掲げる変更以外の変更とする。

- （1） 事業種目を変更し、又は廃止すること。
- （2） 事業主体を変更すること。
- （3） 総事業費の20%以上の変更をすること。

（変更の承認）

第6条 第4条1号の規定に基づく本部長の承認を受けようとする場合には、変更承認申請書（別記様式第8）に変更の内容及び理由を記載した書類を添付して1部を本部長に提出しなければならない。

（実績報告）

第7条 要綱第13条の規定により提出する書類は、次の表に定めるところによる。

提出すべき報告書の名称	様式	部数	報告書に添付すべき書類の名称	様式	部数	提出期限
上級指導者養成事業補助金実績報告書	別記様式第4	1	1 実績報告書	別記様式第5	1	事業完了後の30日以内又は翌年度の4月10日のいずれか早い日
			2 収支決算書	別記様式第6	1	

（補助金等の請求）

第8条 要綱第16条の規定により提出する書類は、次の表に定めるところによる。

提出すべき請求書の名称	様式	部数	請求書に添付すべき書類の名称	部数	提出期限
上級指導者養成事業補助金交付請求書	別記様式第7	1	交付決定通知書の写	1	交付を受けようとする日の10日前

附 則

この要領は、令和8年度分の上級指導者養成事業補助金から適用する。

栃木県競技力向上対策本部後援名義等の使用承認に関する事務取扱要領

(趣旨)

第1条 この要領は、栃木県競技力向上対策本部事業に係る競技団体（以下「主催者」という。）が主催する行事に対する栃木県競技力向上対策本部の後援、共催等の名義（以下「後援名義等」という。）の使用の承認に関し必要な事項を定めるものとする。

(後援名義等の区分)

第2条 栃木県競技力向上対策本部の後援名義等の使用の承認に当たっては、次の各号に掲げる場合に応じ、当該各号に定める名義によるものとする。

(1) 行事の趣旨に賛同し、その開催を支援する場合 「後援」

(2) 行事の企画又は運営に参加し、当該主催者と共同して責任の一部を分担する場合 「共催」

2 前項の規定にかかわらず、特に主催者の要望がある場合等、前項各号に定める名義により難しい場合は、協賛等当該行事に応じた名義によることができる。

(承認の基準)

第3条 後援名義等の使用承認に係る行事が次に掲げる基準を満たしていると認められるときは、当該行事の後援名義等の使用を承認することができる。

(1) 当該行事の目的、規模、対象者等を総合的に判断して栃木県の競技力向上に寄与すると認められるものであること。

(2) 当該行事が公序良俗に反しないもの、その他社会的な非難を受けるおそれのないものであること。

(3) 当該行事が宗教的又は政治的色彩を有しないものであること。

(4) 当該行事が私的な利益を目的とするものでないこと。

(5) 主催者の存在が明確であり、行事遂行能力が十分であると認められるものであること。

(6) 行事開催の場所以が公衆衛生、災害防止等について十分な設備及び措置の講じられているものであること。

(7) 当該行事の登壇者、発言者等が2人以上いる場合は、その性別に偏りがないよう努められているものであること。

(申請の手続き等)

第4条 栃木県競技力向上対策本部に対する後援名義等の使用承認の申請は、後援名義等使用承認申請書（別記様式第1号）によるものとする。

2 前項の申請書を受理した本部長は、当該行事に係る後援名義等の使用の承認の可否について審査し、その結果を遅滞なく申請者に通知するものとする。

3 前項の通知は、別記様式第2号又は、別記様式第3号によるものとし、必要に応じ所要の補正を加えるものとする。ただし、これにより難しい場合は、この限りではない。

(承認の条件)

第5条 後援名義等の使用を承認する場合は、次の条件を付するものとする。

- (1) 承認期間は、承認した日から当該行事終了の日までとし、6ヶ月を限度とすること。ただし、引き続き申請のある場合又は行事の性格上やむを得ない場合は、この限りではない。
- (2) 承認後において行事計画に変更があった場合は、直ちに届けさせること。
- (3) 必要があると認めるときは、主催者に対し、実施報告書（別記様式第4号）の提出を求めること。
- (4) その他必要と認められる事項

附 則

この要領は、令和6(2024)年4月1日から実施する。

Ⅲ

国民スポーツ大会関係



第79回国民スポーツ大会関東ブロック大会 各都県通過状況一覧

No	競技	種別	種目	代表枠	順位 ※()内78回大会実績(順位)									
					栃木 (29位)	山梨 (28位)	茨城 (24位)	群馬 (27位)	千葉 (9位)	神奈川 (8位)	埼玉 (3位)	東京 (1位)		
1	水泳	少年男子	水球	3	1位	7位	6位	2位	4位	3位	1位	4位		
		女子	水球	2	-	5位	-	5位	1位	1位	3位	3位		
		少年女子	アーティスティックスイミング	4	-	-	1位	-	3位	4位	2位	3位		
2	サッカー	成年男子		3	5位	5位	3位	3位	1位	1位	5位	5位		
		少年男子		4	5位	5位	1位	1位	3位	5位	1位	1位		
		少年女子		3	3位	1位	5位	5位	3位	3位	6位	1位		
3	テニス	成年男子		6	1位	5位	6位	7位	3位	3位	1位	1位		
		成年女子		7	5位	1位	6位	5位	1位	1位	7位	1位		
4	ローイング	成年男子	舵手つきフォア	3	-	5位	6位	3位	-	4位	2位	1位		
			シングルスカル	3	6位	3位	-	2位	-	3位	1位	4位		
		成年女子	舵手つきフォドルブル	3	4位	-	-	3位	-	-	3位	1位	1位	
			ダブルスカル	3	4位	5位	-	2位	-	6位	3位	1位	1位	
		少年男子	シングルスカル	4	3位	6位	-	-	3位	4位	1位	3位	3位	
			舵手つきフォドルブル	3	6位	3位	-	5位	-	2位	1位	4位	4位	
		少年女子	ダブルスカル	3	4位	5位	-	6位	-	5位	1位	2位	2位	
			シングルスカル	3	-	6位	3位	1位	2位	4位	5位	6位	-	
		5	ホッケー	成年男子		1	1位	5位	5位	5位	5位	3位	2位	3位
				成年女子		1	5位	1位	5位	5位	5位	3位	2位	3位
少年男子				1	1位	5位	5位	3位	3位	5位	2位	5位		
少年女子				1	1位	2位	5位	-	3位	-	5位	3位		
6	ボクシング	成年男子		4	1位	7位	6位	3位	3位	4位	6位	2位		
		少年男子		4	5位	3位	7位	6位	2位	4位	2位	1位		
		女子		2	4位	4位	4位	2位	3位	4位	4位	1位		
7	バレーボール	成年男子	6人制	1	5位	5位	1位	5位	3位	5位	2位	3位		
		成年女子	6人制	1	5位	5位	2位	3位	3位	5位	1位	3位		
		少年男子	6人制	4	5位	1位	5位	7位	7位	1位	3位	3位		
		少年女子	6人制	4	1位	3位	3位	5位	5位	1位	7位	1位		
		少年男子	ビーチ	4	1位	5位	3位	7位	5位	1位	1位	4位		
		少年女子	ビーチ	4	4位	7位	3位	7位	3位	5位	1位	1位		
8	体操	成年男子	器械	1	2位	6位	7位	4位	1位	6位	2位	3位		
		成年女子	器械	1	6位	3位	5位	6位	1位	3位	4位	2位		
		少年男子	器械	4	3位	6位	7位	6位	1位	5位	2位	4位		
		少年女子	器械	4	6位	7位	6位	5位	2位	1位	2位	4位		
		少年男子	新体操	1	-	6位	-	5位	4位	1位	3位	2位		
		少年女子	新体操	3	6位	6位	7位	5位	1位	3位	4位	2位		
		男子	トランポリン	1	5位	7位	1位	6位	3位	3位	4位	2位		
		女子	トランポリン	1	7位	6位	2位	4位	5位	1位	6位	3位		
9	バスケットボール	成年男子		2	5位	5位	2位	5位	3位	3位	5位	1位		
		成年女子		2	1位	2位	5位	5位	5位	3位	5位	3位		
		少年男子		4	1位	4位	1位	5位	7位	3位	5位	2位		
		少年女子		4	1位	3位	5位	5位	1位	4位	2位	7位		
10	ウエイトリフティング	成年男子	1~2位2名、3~6位1名追加	6	2位	2位	5位	6位	7位	6位	4位	1位		
		少年男子	1~6位1名追加	6	4位	1位	3位	6位	3位	6位	7位	2位		
11	ハンドボール	成年男子		3	7位	4位	5位	6位	1位	1位	6位	7位		
		成年女子		4	5位	7位	1位	5位	3位	1位	7位	3位		
		少年男子		4	5位	1位	3位	5位	7位	1位	3位	7位		
		少年女子		3	7位	6位	4位	7位	1位	1位	5位	3位		
12	ソフトテニス	成年男子		3	7位	6位	6位	3位	1位	4位	5位	2位		
		少年男子		3	7位	4位	2位	5位	3位	1位	6位	6位		
13	卓球	成年女子		3	5位	7位	4位	6位	5位	1位	2位	3位		
		少年男子		2	3位	6位	7位	4位	6位	1位	5位	2位		
14	軟式野球	成年男子		6	5位	7位	5位	1位	1位	7位	1位	1位		
		成年男子		6	4位	6位	6位	5位	1位	2位	7位	3位		
15	射撃	成年女子		6	1位	5位	3位	6位	2位	6位	6位	4位		
		少年		4	3位	6位	4位	7位	1位	4位	6位	2位		
		成年女子		3	3位	6位	6位	4位	5位	7位	3位	7位		
16	フェンシング	少年男子		4	4位	6位	7位	5位	6位	1位	2位	2位		
		少年女子		3	3位	7位	8位	5位	6位	2位	4位	5位		
		成年男子		4	1位	5位	3位	7位	3位	5位	1位	1位		
17	柔道	成年男子		5	7位	6位	7位	5位	3位	1位	1位	3位		
		少年男子		2	7位	5位	7位	3位	4位	5位	2位	7位		
		成年女子		2	7位	7位	7位	1位	4位	5位	3位	5位		
		少年女子		2	-	6位	6位	1位	5位	2位	3位	4位		
18	ソフトボール	成年男子		2	7位	5位	7位	3位	4位	5位	2位	7位		
		少年女子		2	4位	2位	6位	1位	6位	3位	7位	7位		

No.	種目	種別	種目		徳島	山形	茨城	群馬	千葉	神奈川県	埼玉	東京	
18	バドミントン	成年男子		6	6位	5位	6位	6位	3位	3位	1位	1位	
		成年女子		2	7位	5位	1位	5位	7位	3位	3位	1位	
		少年男子		2	3位	5位	1位	7位	3位	5位	1位	7位	
20	弓道	成年男子		4	3位	3位	5位	4位	2位	1位	7位	5位	
		成年女子		4	5位	3位	1位	5位	3位	5位	4位	2位	
		少年男子		3	3位	5位	5位	5位	2位	4位	1位	3位	
		少年女子		3	3位	3位	3位	1位	3位	2位	4位	3位	
21	ライフル射撃	成年男子	FPSF	4	3位	3位	5位	7位	3位	4位	1位	2位	
			FPSFR	4	3位	4位	5位	6位	7位	3位	2位	1位	
			APSF	4	4位	5位	3位	6位	1位	7位	6位	2位	
		成年女子	RSP	4	3位	7位	4位	5位	2位	6位	1位	3位	
			AREW	4	3位	5位	3位	7位	4位	1位	2位	4位	
			APSW	4	2位	3位	3位	5位	3位	7位	4位	1位	
		少年男子	ARELJ	4	7位	4位	3位	3位	2位	5位	1位	3位	
			BRFLJ	4	3位	4位	1位	7位	5位	3位	3位	2位	
			BRFLJ	2	3位	4位	5位	-	3位	-	2位	1位	
		少年女子	ARNWJ	4	-	3位	-	4位	5位	2位	1位	3位	
			BRFWJ	2	-	5位	2位	-	1位	4位	3位	3位	
		22	剣道	成年女子		3	5位	7位	7位	4位	5位	3位	1位
少年男子				3	3位	7位	5位	7位	3位	1位	4位	2位	
少年女子				3	5位	7位	2位	5位	7位	3位	4位	1位	
23	ラグビーフットボール	成年男子		1	3位	5位	3位	5位	7位	7位	3位	1位	
		少年男子		1	4位	4位	3位	4位	3位	2位	4位	1位	
		女子		1	1位	7位	5位	7位	3位	2位	3位	5位	
24	スポーツクライミング	成年女子		2	-	5位	6位	-	1位	4位	1位	2位	
		少年男子		2	4位	3位	5位	7位	3位	1位	3位	2位	
		少年女子		3	3位	3位	4位	7位	3位	4位	6位	1位	
25	カヌー(SP)	成年男子	スプリント K-1	4	-	1位	7位	5位	3位	6位	4位	2位	
			スプリント C-1	4	4位	3位	4位	5位	1位	7位	2位	3位	
		成年女子	スプリント K-1	3	4位	5位	7位	6位	2位	3位	3位	2位	
			スプリント C-1	1	3位	-	4位	2位	5位	-	1位	-	
		少年男子	スプリント K-1	5	3位	2位	7位	5位	4位	1位	6位	3位	
			スプリント K-2	2	7位	1位	5位	2位	4位	3位	6位	4位	
			スプリント C-1	4	3位	3位	7位	2位	-	4位	6位	5位	
			スプリント C-2	2	2位	3位	-	1位	-	4位	5位	-	
	少年女子	スプリント K-1	4	1位	3位	1位	6位	3位	3位	3位	4位		
		スプリント K-2	2	3位	3位	7位	1位	-	4位	3位	5位		
		スプリント K-4	2	-	-	3位	2位	-	-	-	1位		
		スラローム K-1	4	-	-	5位	6位	7位	2位	3位	1位	4位	
	カヌー(SL-WW)	成年男子	スラローム C-1	1	-	-	3位	-	1位	4位	2位	3位	
			フィールドウォーター K-1	1	-	2位	-	-	4位	1位	0:45	3位	
		成年女子	スラローム K-1	3	4位	-	-	-	1位	3位	5位	2位	
			スラローム C-1	1	3位	-	-	-	2位	-	1位	4位	
少年男子		スラローム K-1	1	-	-	-	-	0:45	-	2位	1位		
		フィールドウォーター K-1	1	-	-	-	-	0:45	-	2位	1位		
26		アーチェリー	成年男子		2	7位	4位	3位	4位	5位	3位	1位	2位
			成年女子		2	7位	3位	6位	5位	2位	4位	3位	1位
	少年男子			4	3位	7位	3位	5位	1位	3位	4位	2位	
	少年女子			4	3位	7位	5位	4位	1位	3位	2位	3位	
27	空手道	成年男子	形	3	4位	5位	7位	3位	1位	5位	2位	7位	
		成年女子	形	3	-	3位	4位	5位	5位	2位	7位	1位	
		少年男子	形	2	7位	5位	7位	1位	5位	4位	3位	2位	
		少年女子	形	2	7位	2位	4位	5位	7位	5位	3位	1位	
28	銃剣道	少年男子		2	3位	4位	3位	-	3位	1位	-	4位	
29	なぎなた	少年女子	試合	5	7位	5位	6位	4位	4位	2位	3位	1位	
30	ホウリング	成年男子		4	3位	3位	2位	3位	7位	5位	1位	4位	
		成年女子		4	3位	3位	5位	1位	3位	2位	7位	4位	
		少年男子		4	3位	7位	1位	2位	6位	3位	4位	3位	
		少年女子		4	2位	-	-	4位	3位	3位	5位	1位	
31	ゴルフ	少年男子		5	3位	4位	5位	6位	1位	7位	2位	4位	
		各種別通算数	成年男子	102	11	7	11	3	13	11	3	13	13
			成年女子	84	7	3	7	3	12	10	7	20	
			少年男子	117	10	10	12	11	11	23	20	22	
			少年女子	89	8	7	7	9	12	15	11	10	
		男子	1	0	0	1	3	0	0	0	0		
		女子	6	1	0	0	1	1	2	0	1		
		少年	5	1	1	1	1	1	1	1	1		
通算競技種目数合計				400	30	30	34	37	50	42	47	41	

★アイスホッケー競技は除く。

第79回国民スポーツ大会 栃木県選手団の成績

1 総合成績

(1) 天皇杯 (男女総合成績)	21位	1029.5点	(競技得点629.5点 参加得点 400点)
[令和6年度国スポ	25位	958.5点	(競技得点558.5点 参加得点 400点)]
(2) 皇后杯 (女子総合成績)	25位	584.0点	(競技得点224.0点 参加得点 360点)
[令和6年度国スポ	27位	558.5点	(競技得点208.5点 参加得点 350点)]

2 大会を振り返って

(1) 冬季大会

スケート競技、アイスホッケー競技、スキー競技の3競技が群馬県、岡山県、秋田県で実施された。天皇杯で24位(53点)、皇后杯で16位(36点)と、天皇杯では昨年を下回る結果となったが、皇后杯では昨年以上回る結果となり、女子選手の活躍が目立つ大会となった。

スケート競技スピードスケートでは、上鹿渡 双葉選手が成年女子500m 8位に入賞、成年男子小川拓朗選手が5000m 3位に入賞した。更に少年女子上林 舞子選手が500m 5位に入賞した。スキー競技ジャイアントスラロームでは、成年女子Bで小番 聖夏選手が3位入賞、少年女子の大西 美琴選手が4位入賞、成年男子Cで三井田 雄太選手が8位入賞した。小番選手の4年連続入賞をはじめいずれも本県スキー競技の歴史に新たな1ページを刻む結果となった。

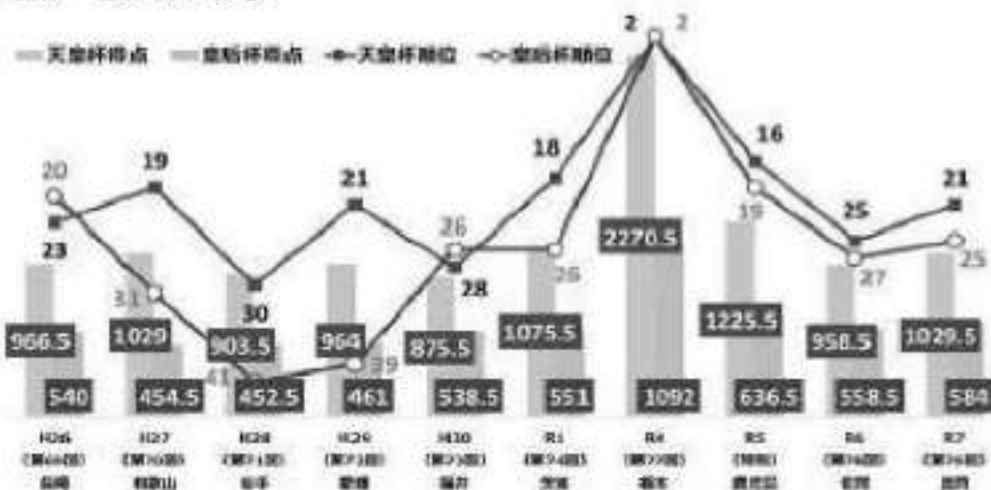
(2) 本大会

第79回国民スポーツ大会(わたSHIGA輝く国スポ)が滋賀県にて「湖国の感動 未来へつなぐ」をスローガンに、選手や関係者をはじめ、全ての人が様々な場面で主役として光り輝き、夢や感動、連帯感を共有できる大会を目指し開催された。栃木県は「輝け! TEAMとちぎ」を合言葉に34競技374名で臨んだ。天皇杯・皇后杯ともに19位以内を目標に健闘したが、結果は天皇杯21位・皇后杯25位と悔しさが残る結果で閉会した。しかし、前回大会を上回る9種目での優勝をはじめ、7種目で準優勝、11種目で3位を獲得した。

ソフトボール成年女子は関東ブロック大会で敗れた群馬県選抜に決勝で勝利しHONDA Revertaが15年ぶりに優勝し、成年男子も3位と健闘した。弓道は少年男子が近的に3連覇を達成し、少年女子・成年男子でも入賞を果たすなど安定した競技力を見せつけた。ホッケーは成年男子が昨年のSAGA国スポ決勝で敗れた岐阜県選抜とふたたび決勝で激突。同率優勝となりL I E B E栃木が5度目の優勝となった。ゴルフでは少年男子が全種別初の優勝、体操競技の少年男子が3位、スポーツクライミング成年男子ボルダーで3位入賞と大きな得点源となる団体競技での活躍が見られた。

個人競技では陸上競技少年女子共通100mハードルに出場した石原 南菜選手が高校新記録で優勝し、その他6名の選手が6種目で入賞した。レスリングは少年フリースタイル125キロ級の阿部 天臥選手とグレコローマンスタイル80キロ級の松井 礼士選手が優勝し、その他6名の選手が6種目で入賞する活躍を見せた。馬術は成年女子ダービーで優勝した広田 思乃選手を中心に5名の選手が7種目入賞と大きく貢献した。2年ぶりの開催となったボクシングでは、成年男子フライ級の平塚 駿之介選手が3年ぶり2度目の優勝に輝き、その他1名の選手が入賞した。また、水泳で2位が3名、3位が1名、自転車で3位が1名、セーリングで2位が1名となった。最終日は陸上競技、ローイング、ウエイトリフティングの3種目で7位に入賞し大会を締め括った。

3 10年間の天皇杯・皇后杯の推移



第79回国民スポーツ大会 入賞者一覧

No.	競技名	種別	実施競技及び種目	選手名及び団体名	順位	得点
1	スケート	成年女子	スピードスケート500m	上鹿 遼 双葉	8	1
2		成年男子	スピードスケート5000m	小川 拓朗	3	6
3		少年女子	スピードスケート500m	上林 舞子	5	4
4	スキー	成年男子C	ジャイアントスラローム	二井田 雄太	8	1
5		成年女子B	ジャイアントスラローム	小森 聖夏	3	6
6		少年女子	ジャイアントスラローム	大西 美琴	4	5
7	陸上競技	成年男子	やり投	小椋 健司	5	4
8		成年女子	300m	大島 愛梨	7	2
9		成年女子	砲丸投	吉成 美羽	7	2
10		少年女子A	2000mSC	人見 寿依	8	1
11		少年女子共通	100m H	石原 南菜	1	8
12		少年男子B	砲丸投	藤沼 邦志	7	2
13		少年男子B	3000m	谷 颯真	7	2
14	水泳	成年男子	400m自由形	松下 知之	3	6
15		成年女子	高飛込	関野 忠衣	8	1
16		少年女子A	200mバタフライ	後藤 結愛	2	7
17		少年女子A	50m自由形	後藤 結愛	5	4
18		成年男子	飛板飛込	須山 晴貴	2	7
19		少年女子B	100m背泳ぎ	福田 光	6	3
20		成年女子	飛板飛込	櫻本 遼香	2	7
21	少年男子	飛板飛込	古谷 英成	5	4	
22	テニス	少年男子	-	栃木県選抜	8	3
23	ローイング	成年女子	シングルスカル	坂塚 百合子	7	2
24	ホッケー	少年女子	-	栃木県選抜	5	20
25		成年男子	-	LIEBE栃木	1	60
26		少年男子	-	栃木県選抜	5	20
27	ボクシング	成年男子	ミドル級	シルバイエシユア	3	5.5
28		成年男子	フライ級	平塚 駿之介	1	8
29	体操	少年男子	-	栃木県選抜	3	30
30	バスケットボール	成年女子	-	栃木県選抜	5	12.5
31	レスリング	少年男子	フリースタイル65kg級	坂本 大星	3	5.5
32		少年男子	フリースタイル125kg級	阿部 天臥	1	8
33		成年男子	フリースタイル86kg級	本橋 矢大	5	2.5
34		成年男子	フリースタイル97kg級	植木 博斗	5	2.5
35		成年男子	グレコローマン67kg級	長谷川 虎次郎	5	2.5
36		少年男子	グレコローマン55kg級	池田 常	5	2.5
37		成年男子	グレコローマン130kg級	中原 陸	3	5.5
38	少年男子	グレコローマン80kg級	松井 礼士	1	8	
39	セーリング	成年女子	国スポウインドサーフィン級	小嶋 恵美	2	7
40	ウェイトリフティング	少年男子	67kgスナッチ	桃木 麻嘉	5	4
41		少年男子	67kgクリーン&ジャーク	桃木 麻嘉	7	2
42		少年男子	96kgクリーン&ジャーク	森原 龍馬	5	4
43		少年男子	102kgスナッチ	上條 恭睦	6	3
44		少年男子	102kgクリーン&ジャーク	上條 恭睦	7	2
45	自転車	女子	49kgスナッチ	酒井 心音	6	3
46		男子A	1kmタイムトライアル	町田 颯	8	1
47		男子B	ケイリン	海老原 慶大	3	6
48	馬術	女子	スクラッチ	市谷 千紗子	5	4
49		少年	標準障害飛越	藤田 彩馬	7	2
50		成年女子	二段障害飛越	朝津 風花	7	2
51		成年男子	ダービー	広田 龍馬	2	7
52		成年男子	トップスコア	広田 龍馬	8	1
53		成年女子	ダービー競技	広田 恵乃	1	8
54		成年女子	標準障害飛越	広田 恵乃	2	7
55	成年男子	六段障害飛越	広田 大和	3	6	
56	フェンシング	成年女子	エペ	栃木県選抜	7	6
57	ソフトボール	成年男子	-	HONDA	3	44
58		成年女子	-	HONDA Reverta	1	64
59	バドミントン	少年女子	-	栃木県選抜	5	7.5
60	弓道	少年女子	近的	栃木県選抜	7	6
61		少年男子	遠的	栃木県選抜	4	15
62		少年男子	近的	栃木県選抜	1	24
63		成年男子	遠的	栃木県選抜	5	12
64		成年男子	近的	栃木県選抜	2	21
65	ライフル射撃	成年男子	FR60PR	上竹 強仁	6	3
66		成年女子	AP60W	小林 明菜	5	4
67	ラグビーフットボール	女子	-	栃木県選抜	5	20
68	スポーツクライミング	成年男子	ホルダー	栃木県選抜	3	18
69		成年男子	リード	栃木県選抜	6	9
70	カヌー	少年男子	SPC-2(500m)	栃木県選抜	7	2
71	ゴルフ	少年男子	-	栃木県選抜	1	24

第79回国民スポーツ大会 天皇杯／皇后杯 総合得点一覧表

<<都道府県順>>

<<成績順>>

都道府県名	順位	男女総合 (天皇杯)	都道府県名	順位	女子総合 (皇后杯)
北海道	11位	1334	北海道	18位	625
青森	23位	975.5	青森	14位	666
岩手	41位	779	岩手	43位	461.5
宮城	33位	888	宮城	23位	593.5
秋田	45位	689.5	秋田	45位	420.5
山形	42位	767	山形	30位	542.5
福島	26位	922	福島	37位	512.5
茨城	37位	822	茨城	35位	517
栃木	21位	1029.5	栃木	25位	584
群馬	35位	853.5	群馬	37位	512.5
埼玉	7位	1451	埼玉	11位	733.5
千葉	8位	1450.5	千葉	7位	790
東京	2位	2354.33	東京	2位	1128.33
神奈川	6位	1505.5	神奈川	7位	790
山梨	36位	829.5	山梨	32位	522.5
新潟	28位	907.5	新潟	31位	542
長野	19位	1075.33	長野	13位	685.83
富山	40位	790	富山	36位	513.5
石川	32位	889	石川	44位	459
福井	14位	1278.5	福井	12位	706.5
静岡	16位	1108.5	静岡	24位	588.5
愛知	5位	1598.83	愛知	4位	977.33
三重	15位	1138	三重	21位	603
岐阜	12位	1298	岐阜	9位	784
滋賀	1位	2488	滋賀	1位	1244.5
京都	3位	1730.5	京都	3位	986
大阪	4位	1658	大阪	5位	909
兵庫	10位	1338	兵庫	6位	861
奈良	24位	955.5	奈良	22位	602
和歌山	38位	795.5	和歌山	40位	494.5
鳥取	34位	859	鳥取	27位	567.5
島根	44位	720	島根	39位	502
岡山	20位	1040.5	岡山	17位	635
広島	18位	1076.5	広島	15位	662.5
山口	39位	793	山口	29位	563.5
香川	29位	901	香川	26位	572
徳島	47位	602.5	徳島	47位	396.5
愛媛	17位	1107	愛媛	20位	619
高知	46位	670	高知	46位	416.5
福岡	9位	1442.5	福岡	10位	739.5
佐賀	13位	1279.5	佐賀	16位	659.5
長崎	30位	898.5	長崎	41位	489
熊本	27位	921.5	熊本	19位	622.5
大分	25位	930	大分	28位	565.5
宮崎	31位	891.5	宮崎	33位	519.5
鹿児島	22位	1010	鹿児島	34位	519
沖縄	43位	746	沖縄	42位	475
合計		51204	合計		29716

都道府県名	順位	男女総合 (天皇杯)	都道府県名	順位	女子総合 (皇后杯)
滋賀	1位	2488	滋賀	1位	1244.5
東京	2位	2354.33	東京	2位	1128.33
京都	3位	1730.5	京都	3位	986
大阪	4位	1658	愛知	4位	977.33
愛知	5位	1598.83	大阪	5位	909
神奈川	6位	1505.5	兵庫	6位	861
埼玉	7位	1451	千葉	7位	790
千葉	8位	1450.5	神奈川	7位	790
福岡	9位	1442.5	岐阜	9位	784
兵庫	10位	1338	福岡	10位	739.5
北海道	11位	1334	埼玉	11位	733.5
岐阜	12位	1298	福井	12位	706.5
佐賀	13位	1279.5	長野	13位	685.83
福井	14位	1278.5	青森	14位	666
三重	15位	1138	広島	15位	662.5
静岡	16位	1108.5	佐賀	16位	659.5
愛媛	17位	1107	岡山	17位	635
広島	18位	1076.5	北海道	18位	625
長野	19位	1075.33	熊本	19位	622.5
岡山	20位	1040.5	愛媛	20位	619
栃木	21位	1029.5	三重	21位	603
鹿児島	22位	1010	奈良	22位	602
青森	23位	975.5	宮城	23位	593.5
奈良	24位	955.5	静岡	24位	588.5
大分	25位	930	栃木	25位	584
福島	26位	922	香川	26位	572
熊本	27位	921.5	鳥取	27位	567.5
新潟	28位	907.5	大分	28位	565.5
香川	29位	901	山口	29位	563.5
長崎	30位	898.5	山形	30位	542.5
宮崎	31位	891.5	新潟	31位	542
石川	32位	889	山梨	32位	522.5
宮城	33位	888	宮崎	33位	219.5
鳥取	34位	859	鹿児島	34位	519
群馬	35位	853.5	茨城	35位	517
山梨	36位	829.5	富山	36位	513.5
茨城	37位	822	福島	37位	512.5
和歌山	38位	795.5	群馬	37位	512.5
山口	39位	793	島根	39位	502
富山	40位	790	和歌山	40位	494.5
岩手	41位	779	長崎	41位	489
山形	42位	767	沖縄	42位	475
沖縄	43位	746	岩手	43位	461.5
島根	44位	720	石川	44位	459
秋田	45位	689.5	秋田	45位	420.5
高知	46位	670	高知	46位	416.5
徳島	47位	602.5	徳島	47位	396.5
合計		51204	合計		29716

総合成績決定方法

(1) 総合表彰（都道府県）における総合成績決定方法

- 1) 各都道府県の男女総合成績（天皇杯）及び女子総合成績（皇后杯）は、冬季大会及び本大会で実施した全正式競技の得点を合計したものとし、その合計得点が多い順に順位を決定し、第1位から第8位まで表彰する。ただし、同点の場合は、その順位を共有し、その次の順位を欠位とする。
- 2) 各都道府県の総合成績は、大会総務委員会が決定する。
- 3) その他業務上必要な事項は別に定める。

(2) 競技別表彰における総合成績決定方法

各正式競技の男女総合成績及び女子総合成績は、次の競技得点及び参加得点を合計し、その多い順に順位を決定し、第1位から第8位まで表彰する。ただし、同点の場合は、順位を共有し、その次の順位を欠位とする。

各競技会の総合成績は、中央競技団体が決定するが、天候その他の事情により一部競技が中止になった場合は、当該中央競技団体と大会総務委員会が協議する。

1) 競技得点

競技得点は、次の2種類とし、第1位から第8位までの都道府県に与える。ただし、同順位の場合の競技得点は、次順位のものに加え、当該都道府県で等分し、割り切れない場合は小数第3位以下を切り捨てる。

		1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
種別	4人以下	24点	21点	18点	15点	12点	9点	6点	3点
	5人以上7人以下	40点	35点	30点	25点	20点	15点	10点	5点
	8人以上	64点	56点	48点	40点	32点	24点	16点	8点
種目	—	8点	7点	6点	5点	4点	3点	2点	1点

[注] 「種別」：種別などに与える得点 「種目」：種目などに与える得点

2) 参加得点

参加得点は10点とし、その基準を下記のとおりとする。

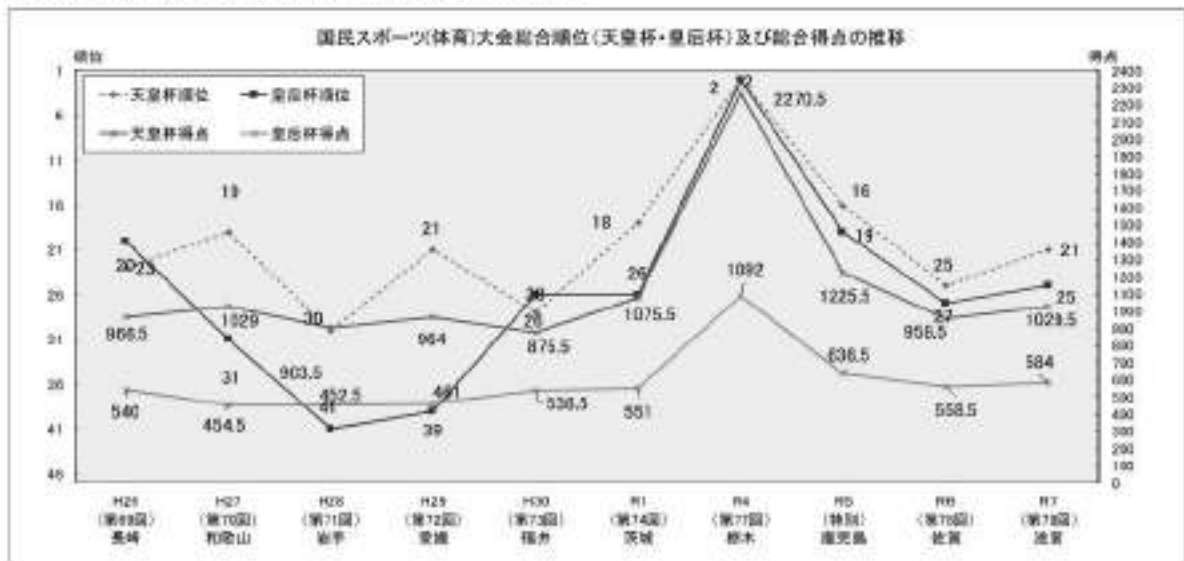
- ① 都道府県が大会に直接エントリーする競技については、参加種別数にかかわらず、大会の参加をもって得点を与える。
- ② ブロック大会を経て参加する競技については、ブロック大会を大会参加とみなし、得点を与える。ただし、ブロック大会で大会の出場権を獲得しながら、大会に参加しなかった場合は与えない。

(3) 参加資格違反並びにアンチ・ドーピング規則に対する違反に関わる競技順位等の取り扱い

「国民スポーツ大会における違反に対する処分に関する規程」によるものとする。

国民体育(スポーツ)大会における本県総合成績の推移

1 国民体育(スポーツ)大会総合順位(天皇杯・皇后杯)及び総合得点の推移



2 高得点種別競技数の比較

	令和元年		令和4年		令和5年		令和6年		令和7年		
	第71回(岩手)		第73回(熊本)		特別(鹿児島)		第76回(徳島)		第77回(徳島)		
熊本県	天皇杯 順位	19位	20位	19位	25位	23位	25位	27位	23位	23位	
	皇后杯 順位	20位	20位	19位	27位	25位	27位	27位	25位	25位	
	主催大会参加競技数	59725	51420	51479	51294	51599	51599	51599	51599	51599	
	天皇杯 得点	1975.5	2270.5	1825.5	956.5	1024.5	1024.5	1024.5	1024.5	1024.5	
	得点割合	2.12%	4.42%	2.38%	1.87%	2.00%	2.00%	2.00%	2.00%	2.00%	
	人員総数	17	34	27	24	24	24	24	24	24	
	高得点種別	30~99	100以上	30~99	100以上	30~99	100以上	30~99	100以上	30~99	100以上
	冬季大会	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0
	本大会	1	2	10	5	4	1	1	0	1	2
	高得点競技数	4	14	6	1	1	0	1	0	0	
種別 技 術	1人1種	1人1種	1人1種	1人1種	1人1種	1人1種	1人1種	1人1種	1人1種	1人1種	
	1000	150	1020	1020	1170	54	170	1000	1000	1000	
	1000	1000	1100	1100	1011	000	000	1000	1000	1000	
天皇杯 10位県	県 名	福井県	和歌山県	兵庫県	岐阜県	岐阜県	岐阜県	岐阜県	岐阜県	岐阜県	
	天皇杯 得点	1291	1352.5	1415	1317.5	1358	1358	1358	1358	1358	
	皇后杯 順位	11位	9位	6位	9位	6位	6位	6位	6位	6位	
	得点割合	2.74%	2.74%	2.74%	2.57%	2.57%	2.57%	2.57%	2.57%	2.57%	
	高得点種別	30~99	100以上	30~99	100以上	30~99	100以上	30~99	100以上	30~99	100以上
	冬季大会	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	本大会	6	1	8	2	4	4	4	2	4	1
	高得点競技数	3	14	9	6	6	6	6	6	6	
	天皇杯 15位県	県 名	鹿児島県	長野県	三重県	岡山県	三重県	三重県	三重県	三重県	三重県
		天皇杯 得点	1151	1152.5	1274.5	1146	1138	1138	1138	1138	1138
皇后杯 順位		12位	13位	14位	16位	23位	23位	23位	23位	23位	
得点割合		2.27%	2.24%	2.44%	2.24%	2.21%	2.21%	2.21%	2.21%	2.21%	
高得点種別		30~99	100以上	30~99	100以上	30~99	100以上	30~99	100以上	30~99	100以上
冬季大会		0	0	0	2	0	0	1	0	0	0
本大会		4	0	4	0	5	0	3	0	6	0
高得点競技数		4	6	5	4	6	4	6	6	6	
天皇杯 20位県		県 名	広島県	佐賀県	岡山県	熊本県	岡山県	岡山県	岡山県	岡山県	岡山県
		天皇杯 得点	1044.5	1093.75	1063	1054.5	1046.5	1046.5	1046.5	1046.5	1046.5
	皇后杯 順位	16位	14位	17位	17位	17位	17位	17位	17位	17位	
	得点割合	2.06%	2.13%	2.04%	2.04%	2.02%	2.02%	2.02%	2.02%	2.02%	
	高得点種別	30~99	100以上	30~99	100以上	30~99	100以上	30~99	100以上	30~99	100以上
	冬季大会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	本大会	4	0	3	0	3	0	1	0	2	0
	高得点競技数	4	0	3	0	3	0	1	0	2	0

高自办程技数	1	2	3	4	5
--------	---	---	---	---	---

国民体育(スポーツ)大会における本県選手団競技得点の推移

年度	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	2	3	4	5	6	7	
競技名	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	特別	78	79	
1 スケート	28	32	3	9	3	6	9	18	28	37	12	11	21		8	3	10	12	2		9			14	42	84	22	20	21	
2 アイスホッケー	28	65	30	35	37.5	30	35	38	40	20	30	15	30		13	30	45	45	45	48	45	35	55	40		30	25	30	0	
3 スキー			2							6	2	2										5		4	7	-	8	14	12	12
4 陸上競技	36	18	27	32	29	19	23	28	30	45.5	39	26	14	23.5	30	38	30	29	10	21	14	6	17.5	-	-	52.5	34	47	21	
5 水泳	7	12	3	17	16	18	13	39	24	37	47	27	31	43	42	40	98	67.5	66.5	64.5	49	50.5	44	-	-	68.5	45	32	29	
6 サッカー	12.5					12.5	64	60	60		40		48												-	-	60		0	
7 テニス						40																			-	-	12	18	27	3
8 ローイング													3	6			6.5								-	-	20	2		3
9 ホッケー		47.5	42.5	47.5	25	42.5	20	108	40	44	96	40	96	116	98	96	68	48	124	24	100	84	192	-	-	132	170	76	100	
10 ボクシング	28.5	31	15.5	30	20.5	5	5	8		18	10.5	9.5	8	8	10.5	26	26		29.5	24	30	20.5			-	-	33.5	15	-	13.5
11 バレーボール	25	17.5									7.5	7.5						7.5							-	-	17.5	4.5		0
12 体操																									-	-	118	25	26	30
13 バスケットボール				12.5			12.5						12.5			12.5	40				52.5	35		27.5	-	-			40	12.5
14 レスリング	18	10.5	5.5	19.5	15	5	20	11	20.5	18.5	15.5	29	15	8	18	10.5	15	20.5	17.5	13	15.5	13	8	-	-	41	26	31.5	27	
15 セーリング																									-	-	14	10	11	7
16 カヌー/ボウイング	28	36	43	46	25	43	27	25	21	43	38	38	30	42	21	31	23	14	32	24	6	21	32	-	-	61	28	47	28	
17 ハンドボール	12.5	30			12.5																				-	-	12.5			0
18 自転車	6	31	2	35			16	6	1	5	20	3	6	34	2	12	7	10	3	6	28	7	16	-	-	70	5	44	21	
19 ソフトテニス				25								30													-	-	5			0
20 卓球			12.5	26	27.5																				-	-	24	16.5	7.5	0
21 軟式野球							8	44			8														-	-				0
22 相撲																									-	-				0
23 馬術	9	14.5	12	11	29	10	9	3	6	2	12	23.5	17	31.5	38	8	0.25	14	7	14.5	32	39	92	-	-	128	70	22	28	
24 フェンシング			8	8						3			6	3			15			12	18			-	-	10	24	12	8	
25 柔道					25				12.5	12.5	12.5		30	12.5	25		25	15	12.5	27.5				12.5	-	-	40	12.5	25	0
26 ソフトボール							41				52	36		36	30		88	100	44	64	60		140	-	-	132	60		108	
27 バドミントン																	7.5									-	-	7.5		7.5
28 弓道	41.0	32.5		25		17.5	24	41	30	39	36	45	42	24	42	60	30	84	42		42	28		-	-	78	45	36	28	
29 ライフル射撃	2	1		11	8	12	40	21	13	12	27	18	11	33	37	27	8	21	32	24	13	18	27	-	-	28	16	7	7	
30 剣道	12.5	25		12.5	25				12.5	12.5	25			12.5	12.5	30		25		12.5					-	-	144		12.5	0
31 ラグビーフットボール															44	28					44				-	-	94	10.5	25	20
32 スノーボード/パラオリンピック	35	32.5		10		6		3		24	39	30	45	42		54	30	45	51	33	43	39	24	-	-	78	54	45	27	
33 カヌー	4						3		28	15		1	1	7											-	-	80	61	8	2
34 アーチェリー															15										-	-				0
35 空手道	18.5	4	13	7		11	15	7.5	2.5			5				2.5					6			-	-	67			0	
36 競艇																					9	-	-	-	-	-	35	6		0
37 クレー射撃						40				21	21	23	42	24	21		18	21		33	18	21		33	-	-	-	-	-	-
38 なぎなた																									-	-	33		3	0
39 ボウリング	4			3.5			4			21	21	28		5		6								13	-	-				0
40 ゴルフ				39	30		9	14.5		15	15	4.5	10.5	11.5	3	21	16.5	13.5	13	7.5	61.5			-	-	21			24	
41 トライアスロン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
選手団合計	324	484	234	435	215	398	258	229	282	472.5	622.5	646.5	808.5	1214	1234	1483.5	6724	580.5	629.5	623.5	844.5	475.5	679.5	613	423	1439	123.5	896.5	629.5	
県立選手団合計	16	20	14	19	16	17	16	21	17	30	22	22	22	29	18	20	22	16	21	16	19	14	17	3	1	34	27	24	24	
大分県高校	37	26	44	27	40	37	39	28	38	27	22	24	26	27	27	18	13	23	19	30	21	28	18	19	19	2	16	25	21	
県立特別校	32	31	45	40	47	39	47	39	45	34	25	40	38	34	22	19	14	20	31	41	39	26	26	30	18	2	19	27	25	

※ 1は北見県競技、2は、12、3は新型コロナウイルス感染症の影響により本大会を中止、そのため、大分県-県立特別校は本大会終了時点の順位である。

国民体育(スポーツ)大会のあゆみ

回	年	本大会	冬季大会	本県順位		優勝都道府県		備考
				天皇杯	皇后杯	天皇杯	皇后杯	
1	21	京阪神地区を中心とした近畿地区	青森			—		—
2	22	石川	—			—		—
3	23	福岡	岩手・長野	42	22	東京	京都	冬・夏・秋
4	24	東京	長野・北海道	21	20	東京	東京	冬・夏・秋
5	25	愛知	北海道・山形	14	9	東京	東京	冬・夏・秋
6	26	広島	青森・新潟	22	7	北海道	北海道	冬
						東京	東京	夏・秋
7	27	福島・宮城・山形	栃木・北海道	20	6	北海道	北海道	冬
						東京	東京	夏・秋
8	28	愛媛・香川 徳島・高知	岩手・秋田	17	11	北海道	北海道	冬
						東京	東京	夏・秋
9	29	北海道	北海道・長野	22	11	北海道	北海道	冬
						奈良	奈良	水泳
						東京	東京	夏・秋
10	30	神奈川	長野・北海道	30	32	東京都	東京都	
11	31	兵庫	青森	33	35	東京都	東京都	
12	32	静岡	栃木・兵庫	38	29	静岡県	東京都	
13	33	富山	岩手・北海道	5	22	東京都	東京都	
14	34	東京・埼玉	北海道・山形	13	17	東京都	東京都	
15	35	熊本	長野	22	24	東京都	東京都	
16	36	秋田	長野・新潟	28	19	東京都	東京都	
17	37	岡山	青森・北海道	27	13	東京都	東京都	
18	38	山口	北海道・宮城	26	9	東京都	東京都	
19	39	新潟	神奈川・新潟	32	20	新潟県	新潟県	
20	40	岐阜	長野・兵庫	29	14	岐阜県	岐阜県	
21	41	大分	岩手・北海道	31	12	大分県	東京都	
22	42	埼玉	栃木・青森	22	13	埼玉県	埼玉県	
23	43	福井	北海道・長野	30	11	福井県	東京都	
24	44	長崎	山梨・岐阜	31	11	長崎県	長崎県	
25	45	岩手	長野・北海道	27	14	岩手県	大阪府	
26	46	和歌山	青森・秋田	26	23	和歌山県	大阪府	
27	47	鹿児島	栃木・鳥取	26	27	鹿児島県	鹿児島県	
28	48	千葉	岩手・新潟	20	16	千葉県	東京都	
29	49	茨城	北海道・福島	23	14	茨城県	茨城県	
30	50	三重	山梨・北海道	19	15	三重県	三重県	
31	51	佐賀	栃木・富山	36	23	佐賀県	東京都	
32	52	青森	青森	25	39	青森県	東京都	
33	53	長野	長野	13	8	長野県	長野県	
34	54	宮崎	岩手・秋田・北海道	4	5	宮崎県	宮崎県	
35	55	栃木	北海道	1	1	栃木県	栃木県	
36	56	滋賀	山梨・新潟	27	16	滋賀県	滋賀県	
37	57	島根	栃木・秋田	18	26	島根県	島根県	
38	58	群馬	群馬	17	27	群馬県	群馬県	
39	59	奈良	北海道・山形	25	33	奈良県	奈良県	
40	60	鳥取	青森・群馬	16	29	鳥取県	鳥取県	

は開催県以外が天皇杯・皇后杯を獲得

回	年	本大会	冬季大会	本県順位		優勝都道府県		備考
				天皇杯	皇后杯	天皇杯	皇后杯	
41	61	山梨	山梨・北海道	19	28	山梨県	山梨県	
42	62	沖縄	長野	29	26	沖縄県	沖縄県	
43	63	京都	群馬・岩手	25	28	京都府	京都府	
44	平元	北海道	北海道	18	32	北海道	北海道	
45	2	福岡	岩手・青森	24	35	福岡県	福岡県	
46	3	石川	長野・新潟	32	25	石川県	石川県	
47	4	山形	山形	21	22	山形県	山形県	
48	5	香川・徳島	青森・鳥取	24	22	香川県	香川県	
49	6	愛知	群馬・宮城	27	28	愛知県	愛知県	
50	7	福島	福島	33	38	福島県	福島県	
51	8	広島	栃木・岐阜	19	19	広島県	広島県	
52	9	大阪	北海道・秋田	37	32	大阪府	大阪府	
53	10	神奈川	岩手	26	31	神奈川県	神奈川県	
54	11	熊本	長野・北海道	44	45	熊本県	熊本県	
55	12	富山	青森・富山	27	40	富山県	富山県	
56	13	宮城	山梨・長野	40	47	宮城県	宮城県	
57	14	高知	北海道・新潟	37	39	東京都	東京都	
58	15	静岡	群馬・北海道	39	47	静岡県	静岡県	
59	16	埼玉	青森・山形	28	30	埼玉県	埼玉県	
60	17	岡山	山梨・東京・岩手	38	45	岡山県	岡山県	
61	18	兵庫	北海道・群馬	27	34	兵庫県	兵庫県	
62	19	秋田	群馬・秋田	22	25	秋田県	秋田県	
63	20	大分	長野	29	40	大分県	大分県	
64	21	新潟	青森・新潟	26	38	新潟県	新潟県	
65	22	千葉	北海道	27	34	千葉県	千葉県	
66	23	山口	青森・秋田	27	22	山口県	山口県	
67	24	岐阜	愛知・岐阜	18	19	岐阜県	岐阜県	
68	25	東京	東京・秋田・福島	13	14	東京都	東京都	
69	26	長崎	栃木・山形	23	20	長崎県	東京都	
70	27	和歌山	群馬	19	31	和歌山県	東京都	
71	28	岩手	岩手	30	41	東京都	東京都	
72	29	愛媛	長野	21	39	東京都	東京都	
73	30	福井	山梨・神奈川・新潟	28	26	福井県	福井県	
74	令元	茨城	北海道	18	26	茨城県	茨城県	
75	2	鹿児島	富山・青森	19	30	-	-	冬季大会のみ
76	3	三重	岐阜・愛知・秋田	19	18	-	-	冬季大会のみ (スキー中止)
77	4	栃木	栃木・秋田	2	2	東京都	東京都	
特別	5	鹿児島	青森・岩手	16	19	東京都	東京都	特別団体
78	6	佐賀	北海道・山形	25	27	東京都	東京都	山形県・一大会 (名称変更)
79	7	滋賀	岡山・群馬・秋田	21	25	滋賀県	滋賀県	
80	8	青森	青森					
81	9	宮崎	山梨・岐阜・神奈川・岩手					
82	10	長野	長野					
83	11	群馬						
84	12	島根						
85	13	奈良						
86	14	山梨						
87	15	鳥取						
88	16	沖縄						
89	17	三重						

第80回国民スポーツ大会関東ブロック大会 競技日程・会場・アクセス

種別	No	競技	競技日程	会場地	会場名	所在地	主な最寄り駅等からのアクセス		
本大会	1	水球	少男・女子 8月1日(土)～4日(火)	習志野市	千葉国際水球センター	習志野駅西口2-3	JR新習志野駅から徒歩1分		
		フットボール スロピタ	少年女子 7月5日(日)						
	2	サッカー	成年女子 少年女子	8月27日(土)～28日(日)	千葉市	JFA夢フィールド 千葉東フットボールセンター	千葉市東区美浜35	JR海浜幕張駅から徒歩約15分	
			少年男子	8月27日(土)		高円宮記念JFA夢フィールド	千葉市東区美浜11	JR海浜幕張駅から徒歩約15分	
				8月27日(土)		フクダ電子アリーナ	千葉市中央区川崎町1-20	JR勝田駅から徒歩8分	
	3	テニス	成年・成年	8月1日(土)～2日(日)	千葉市	千葉駅前スポーツセンター-庭球場	千葉市船毛区天竺町22	ちばモノレールスポーツセンター一駅から徒歩約10分 JR船毛駅からバスで20分	
	4	ローイング	全種別	7月18日(土)～19日(日)	香取市	小見川ボート場	香取市小見川5218	JR小見川駅から徒歩20分	
	5	ホッケー	少男・少女	7月18日(土)～21日(火)	いすみ市	いすみ市大原グラウンド陸上競技場	いすみ市大原6600	JR大原駅から徒歩18分	
			成年・成年	7月24日(金)～27日(月)					
	6	バレーボール	6人制 全種別	8月29日(土)～30日(日)	船橋市	船橋アリーナ	船橋市習志野台1-5-1	東武東上線船橋駅大船橋から徒歩10分	
			ビーチバレー ボール	少男・少女	7月18日(土)～19日(日)	千葉市	高円宮記念JFA夢フィールド	千葉市東区美浜11	JR海浜幕張駅から徒歩約15分
	7	体操	競技 全種別	7月19日(日)	千葉市	千葉ポートアリーナ	千葉市中央区同慶町1-20	JR千葉みなと駅から徒歩16分 JR千葉駅から徒歩16分 ちばモノレール市役所前駅から徒歩8分	
			新体操	少男・少女					7月17日(金)～18日(土)
			トナリリ	男子・女子					7月17日(金)
	8	バスケットボール	全種別	8月22日(土)～23日(日)	船橋市	船橋アリーナ	船橋市習志野台1-5-1	東武東上線船橋駅大船橋から徒歩10分	
	9	ウエイトリフティング	成年・少年	8月21日(金)～23日(日)	茨城県	キョウコフアンアリーナ	茨城県野々下7-42-1	つくばエクスプレス成流山セントラルパーク駅から徒歩7分	
	10	ハンドボール	成年男子 少年男子	7月11日(金)～18日(日)	市川市	西川吉雄実業体育館	西川吉雄4-1-1	JR市川塩浜駅から徒歩20分	
			西川吉雄総合市民体育館			西川吉雄台1-4-4	JR市川駅からバスで7分 京友園台駅から徒歩18分		
			鎌倉市			橋本アリーナ	鎌倉市和歌山2-3	東武・北総・京成総武 新鎌倉駅から徒歩20分	
	松戸市	松戸中央体育館	松戸市下7-1	JR北総駅から徒歩15分					
	11	ソフトテニス	成年・成年・少年	8月21日(金)～23日(日)	千葉市	千葉駅前スポーツセンター-庭球場	千葉市船毛区天竺町22	ちばモノレールスポーツセンター一駅から徒歩約10分 JR船毛駅からバスで20分	
	12	卓球	成年・成年・少年	8月29日(土)～30日(日)	船橋市	船橋総合体育館	船橋市2-4-1	JR船橋駅から徒歩30分	
	13	軟式野球	成年男子	8月22日(土)～23日(日)	千葉市	千葉駅前スポーツセンター-野球場	千葉市船毛区天竺町22	JR船毛駅からバスで20分	
				8月22日(土)		青葉の森公園スポーツプラザ野球場	千葉市中央区青葉町254	JR千葉駅からバスで11分	
	14	馬術	成年・成年・少年	8月27日(土)～28日(日)	山梨県	山梨県馬術競技場	山梨県北杜市小豆沢町1000-2	JR小豆沢駅から徒歩30分	
	15	フェンシング	成年・少年・少年	8月22日(土)～23日(日)	船橋市	船橋中央体育館	船橋市下7-1	JR北総駅から徒歩15分	
	16	柔道	少男・女子	8月23日(日)	千葉市	千葉駅前スポーツセンター-武道場	千葉市船毛区天竺町22	ちばモノレールスポーツセンター一駅から徒歩約10分 JR船毛駅からバスで20分	
	17	ソフトボール	成年男子	8月15日(土)～17日(月)	成田市	下加運動公園野球場	成田市高岡1435	JR成田駅から徒歩15分	
			ナゴヤスタジアム			成田市一ツ木410-1	成田青国大基恩寺前駅から徒歩30分		
			豊高スポーツフィールド中台野球場			成田市中台2-2	JR成田駅から徒歩10分		
なごみの水産センターモメンフィールド 大谷津野球場			成田市神倉263-2			JR成田駅からバスで10分			
全国馬多目的広場			成田市全国馬131-1			JR成田駅からタクシーで25分			
ニュータウン多目的広場-野球場	成田市古台1144	成田新駅公園の駅からタクシーで13分							
18	バドミントン	成年・成年・少年	8月22日(土)～23日(日)	千葉市	千葉ポートアリーナ	千葉市中央区同慶町1-20	JR千葉みなと駅から徒歩16分 JR千葉駅から徒歩16分 ちばモノレール市役所前駅から徒歩8分		
19	弓道	全種別	8月23日(日)	河津市	バシドラール運動アリーナ 河津市運動公園アーチェリー場	河津市河津2-27	JR河津駅から徒歩10分 東武Mの東武河津駅からバスで35分		
20	ライフル射撃	全種別	7月25日(土)～26日(日)	伊勢崎市	神奈川県立伊勢原射撃場	神奈川伊勢原市上野原2160	小前線伊勢原駅からバスで14分		
		少男・少女	7月25日(土)～26日(日)	栗野市	ナガツクス体育館ほたけの (栗野総合体育館)	神奈川栗野市平沢101-1	小前線栗野駅からバスで6分		
21	剣道	成年・少年・少年	8月23日(日)	千葉市	千葉公園総合体育館(Yule5アリーナ)	千葉市中央区升天4-1-2	千葉駅千葉ホール千葉公園駅から徒歩7分		
22	ラグビーフットボール	成年男子	8月22日(土)	成田市	東武東上線フットボールセンター上野球場	成田市中台2-2	JR成田駅から徒歩10分		
		女子	8月23日(日)						
		少年男子	8月23日(土)～24日(日)					千葉市	千葉駅前スポーツセンター サッカーラグビー場
23	スポーツクライミング	成年・成年・少年	8月8日(土)～9日(日)	印西市	松山下山公園総合体育館	印西市津田215	JR木下駅から車で7分 北総線木下ニュータウン駅駅から15分		
24	カヌー	SL・WW	成年・成年	8月6日(土)～7日(日)	栃木県	足利川特設カヌー場	栃木県足利市足利大木船主7130-1	東武高崎駅からタクシーで13分	
		SP	全種別	7月12日(日)	栃木県	種彦湖カヌー競技場	栃木県那須市河口町河津46-14	富士急行河口湖駅からバスで40分	
25	アーチェリー	全種別	8月18日(日)	市原市	ゼットエーオリムピアスタジアム	市原市船橋338	JR市原駅からタクシーで10分		
26	空手道	全種別	8月20日(日)	茨城県	キョウコフアンアリーナ	茨城県野々下7-42-1	つくばエクスプレス成流山セントラルパーク駅から徒歩7分		
27	銃剣道	少年男子	8月23日(日)	四街道市	四街道運動公園体育館	四街道市有明191	JR四街道駅からバスで13分		
28	なぎなた	少年女子	7月19日(日)	千葉市	千葉駅前スポーツセンター-武道場	千葉市船毛区天竺町22	ちばモノレールスポーツセンター一駅から徒歩約10分 JR船毛駅からバスで20分		
29	ボウリング	全種別	7月10日(土)～10日(日)	松戸市	北小金ボウル	松戸市松木内244-7	JR北小金駅から徒歩4分		
30	ゴルフ	少年男子	8月10日(木)	千葉市	ゆめづみゴルフクラブ緑の湖コース	千葉市緑区自由町567	JR船橋駅からタクシーで6分		
冬季	アイスホッケー	成年男子	12月4日(金)～4日(日)	千葉市	アクアリンクちば	千葉市東区新港234-1	JR船毛海岸駅からバスで13分		
		少年男子	12月11日(金)～12日(日)						

第80回国民スポーツ大会関東ブロック大会 代表数一覧

季	No	種別		成年男子	成年女子	少年男子	少年女子	男子	女子	
		競技・種目								
本大会	1	水泳	水球 アーティスティックスイミング			2	4		2	
	2	サッカー			3	4	3			
	3	テニス		6	6	(S)	(S)			
	4	ローイング	軽子つきフォア	3						
			軽子つきクオドルプル		2	2	3			
			ダブルスカル	(S)	3	3	2			
			シングルスカル	3	2	3	3			
	5	ホッケー		1	1	1	1			
	6	バレーボール	6人制	1	1	4	4			
			ビーチバレー			4	4			
	7	体操	競技	1	1	4	4			
			新体操			1	4			
			トランポリン					1	1	
	8	バスケットボールボール		3	3	4	4			
	9	ウエイトリフティング		(S)+2~0		(S)+1~0			(S)	
	10	ハンドボール		4	3	3	4			
	11	ソフトテニス		4	2	(S)	4			
	12	卓球		2	5	(S)	3			
	13	軟式野球		5						
	14	馬術		関東ブロック単位で人数決定						
	15	フェンシング		(S)	3	3	4			
	16	柔道		(S)		4			5	
	17	ソフトボール		2	1	2	2			
	18	バドミントン		2	6	(S)	2			
	19	弓道		4	4	3	3			
	20	ライフル射撃	FR3×20 FR40	5						
			FR60PR	3						
			AR60	3						
			AP60	4						
			CFP60 QP30	(S)						
			R3×20 REGPR		3					
AR60W				(S)						
AP60W				3						
ARMix				*1						
AR60J AR30J					3					
BR60J					(S)					
BP60J					2					
AR60WJ AR30WJ						4				
BR60WJ						3				
BP60WJ				2						
BRMixJ				*2						
21	剣道		(S)	3	3	3				
22	ラグビーフットボール		1		1			1		
23	スポーツクライミング		3	3	3	(S)				
24	カヌー	S P-K 1	4	3	5	4				
		S P-K 2			2	2				
		S P-K 4			2					
		S P-C 1	4	1	4					
		S P-C 2			2					
		S L-K 1	4	3						
		S L-C 1	1	1						
		WW-K 1	1	1						
25	アーチェリー		4	4	2	2				
26	空手道(組)		3	3	2	2				
27	銃剣道		(S)		2					
28	なぎなた(試合)			(S)		5				
29	ボウリング		4	4	4	4				
30	ゴルフ		(S)		5			(S)		
冬季	31	アイスホッケー		5		4				

(S)はストレート(関東ブロック大会を実施しない)種別・種目
 *1 AR60, AR60Wの国スポ競技の合計点上位1-2都道府県が出場
 *2 BR60J, BR60WJの国スポ競技本戦の合計点上位1-2都道府県が出場

青の煌めきあおもり国スポ(第80回国民スポーツ大会)競技会会期

<本大会>

式典	会場地	式典会場	式典 日数	競技日程										
				1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目	10日目	11日目
				10月										
総合開会式	青森市	マエダアリーナ	1	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
総合閉会式				土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火

【正式競技(本会期)】

競技名	種別	会場地	競技会場	競技 日数	競技日程										
					1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目	10日目	11日目
					10月										
陸上競技	全種別	青森市	カクヒログループアスレチックスタジアム	5						●	●	●	●	●	
サッカー	成年女子	十和田市	十和田市青森山球場 十和田市青森山人工芝多目的グラウンド	4		●	●	●	●						
		五戸町	五戸町ひばり野公園陸上競技場	1		●									
	少年男子	八戸市	八戸市東運動公園陸上競技場 八戸市南運動公園陸上競技場	2	●	●									
		十和田市	十和田市青森山人工芝多目的グラウンド	1	●										
	少年女子	五戸町	五戸町ひばり野公園陸上競技場	4	●	●	●	●							
		南郷町	ふるさと運動公園陸上競技場	2	●	●									
テニス	全種別	青森市	新青森県総合運動公園テニスコート	4		●	●	●	●						
バレーボール	8人制	成年男子	青森市	マエダアリーナ	4		●	●	●	●					
		成年女子	五所川原市	五所川原市民体育館	4		●	●	●	●					
		少年男子	青森市	マエダアリーナ	4		●	●	●	●					
		少年女子	つがる市	伊藤産業アリーナつがる	4		●	●	●	●					
バスケットボール	成年男子	八戸市	八戸市民体育館	4						●	●	●	●		
	成年女子	むつ市	むつマエダアリーナ	4						●	●	●	●		
	少年男子	十和田市	十和田市総合体育センター	5						●	●	●	●	●	
	少年女子	三沢市	三沢市国際交流スポーツセンター	5						●	●	●	●	●	
レスリング	全種別	八戸市	FLAT HACHINOHE	4			●	●	●						
ウエイトリフティング	成年男子・少年男子	早川市	ひらかわフリースームアリーナ	5	●	●	●	●	●						
自転車	トラックレース	男子A・男子B・女子	八戸市	八戸自転車競技場	4			●	●	●	●				
	ロードレース	男子A・男子B・女子	陸上町	陸上町特設ロードレースコース	1		●								
ソフトテニス	全種別	青森市	新青森県総合運動公園テニスコート	4						●	●	●	●		
卓球	全種別	青森市	カクヒログループスーパースタジアム	5		●	●	●	●	●					
軟式野球	成年男子	青森市	青森県営野球場	3		●	●	●	●						
		三沢市	三沢市民運動広場野球場	3		●	●	●	●						
		八戸市	八戸市総合運動公園野球場	3		●	●	●	●						
		おいらせ町	おいらせ町下白公園野球場	1		●									
		六ヶ所村	六ヶ所村大石総合運動公園第三球場	1		●									
馬術	成年男子・成年女子・少年	山形県北村市	山形県馬術競技場	4						●	●	●	●		
フェンシング	全種別	むつ市	むつマエダアリーナ	4	●	●	●	●							
柔道	成年男子・少年男子	つがる市	伊藤産業アリーナつがる	3							●	●	●		
ソフトボール	成年男子	八戸市	八戸市長根公園野球場 八戸市東運動公園野球場	2							●	●	●		
		弘前市	弘前市運動公園野球場	3							●	●	●		
	成年女子	弘前市	弘前市運動公園野球場	3							●	●	●		
		若木山総合公園野球場	2								●	●	●		
少年男子	東北町	東北町南総合運動公園ソフトボール場	3							●	●	●			
	東北町	東北町南総合運動公園野球場	2							●	●	●			
少年女子	三沢市	三沢市南山麓外運動場(A球場)	3							●	●	●			
	三沢市	三沢市南山麓外運動場(B球場)	2							●	●	●			
バドミントン	全種別	黒石市	スポカルイン黒石	4		●	●	●	●						
弓道	近的	全種別	弘前市	青森県武道館	4	●	●	●	●						
	遠的	全種別	弘前市	青森県武道館	3	●	●	●							
剣道	全種別	七戸町	七戸町総合アリーナ	3							●	●	●		
ラゲージボウリング	7人制	成年男子	八戸市	ブライフーズスタジアム	2						●	●			
	女子				2							●	●		
15人制	少年男子	青森市	大連建設スポーツ広場ラグビー場	4						●	●	●	●		
スノーシューイング	リードホルダー	全種別	青森市	盛運輸アリーナ	3		●	●	●						
カヌー	スプリント	全種別	西日星村	津軽白神湖特設カヌー競技場	4						●	●	●	●	
空手道	全種別	弘前市	青森県武道館	3							●	●	●		
杖剣道	成年男子・少年男子	三沢市	三沢市国際交流スポーツセンター	3		●	●	●							
なぎなた	成年女子・少年女子	藤崎町	スポーツプラザ藤崎	3							●	●	●		
ボウリング	全種別	八戸市	ゆりの木ボウル	5			●	●	●	●	●				

【正式競技(会期前Ⅰ)】

競技名	種別	会場地	競技会場	競技 回数	競技日程												
					9月												
					3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13		
木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日							
水泳	競泳	全種別	青森市	マエダアリーナ50mプール	3									●	●	●	
	水球	少年男子・女子			4				●	●	●	●					
	AS	少年女子			1	●											
	OWS	男子・女子			1								●				
飛込	全種別	宮城野村町	セントラルスポーツ宮城G21プール	3								●	●	●			
ローイング	全種別	むつ市	むつ市大湊特設ローイング場	4								●	●	●	●		
ホッケー	成年男子・成年女子	六ヶ所村	六ヶ所村向子内蔵山村広場多目的広場	5		●	●	●	●	●							
	少年男子・少年女子	三沢市	青森県立三沢高等学校グラウンド	5		●	●	●	●	●							
バレーボール	ビーチバレーボール	少年男子・少年女子	青森市	サンセットビーチあさむし特設会場	4	●	●	●	●								
体操	競技	全種別	弘前市	青森県武道館	4	●	●	●	●								
	新体操	少年男子・少年女子			2									●	●		
	トランポリン	男子・女子			1												
セーリング	全種別	むつ市	大湊マリーナ	4		●	●	●	●								
ハンドボール	成年男子・成年女子	青森市	盛岡輪アリーナ	5		●	●	●	●	●							
	少年男子・少年女子	青森市	マエダアリーナ	5		●	●	●	●	●							
	少年男子	野辺地町	青森県立野辺地産高等学校体育館	4		●	●	●	●								
和撲	成年男子・少年男子	十和田市	十和田市相撲場	3									●	●	●		
ライフル射撃	50m	成年男子・成年女子	弘前市	弘前市運動公園運動広場特設ライフル射撃場	3								●	●	●		
	10m	全種別			4									●	●	●	
	BR・BP	少年男子・少年女子			3									●	●	●	
	25m	成年男子			3										●	●	●
カヌー	SL・WW	成年男子・成年女子	五戸町	日置沢谷岩木川カヌー競技場	4		●	●	●	●							
クレー射撃	トラップ・skeet	成年	弘前市	弘前クレー射撃場	4	●	●	●	●								
ゴルフ	成年男子	平内町	夏泊ゴルフリンクス	3							●	●	●				
	女子	青森市	青森カントリー倶楽部	3							●	●	●				
	少年男子	青森市	東奥カントリークラブ	3							●	●	●				
トライアスロン	成年男子・成年女子	青森市	青森市特設トライアスロン会場	1											●		

【正式競技(会期前Ⅱ)】

競技名	種別	会場地	競技会場	競技 回数	競技日程										
					9・10月										
					30	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土					
アーチェリー	全種別	青森市	カクヒログループアスレチックスタジアム	3							●	●	●		

【特別競技(会期前Ⅱ)】

競技名	種別	会場地	競技会場	競技 回数	競技日程										
					9月・10月										
					30	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土					
(特別)高等学校野球	硬式	弘前市	弘前市運動公園野球場	3				●	●	●					
軟式	3					●		●	●						

【公開競技】

競技名	種別	会場地	競技会場	競技 回数	競技日程	
					開催日	開催日
綱引	—	平内町	平内町立体育館	2	8月22日(土)～8月23日(日)	
ゲートボール	—	十和田市	十和田市若葉球技場	2	8月29日(土)～8月30日(日)	
武術太極拳	—	三沢市	三沢市国際交流スポーツセンター	2	8月8日(土)～8月9日(日)	
パワーリフティング	—	藤崎町	スポーツプラザ藤崎	3	9月26日(土)～9月28日(月)	
グラウンドゴルフ	—	平川市	平川市緑上競技場、平賀多目的広場、ひらかのドーム	2	9月26日(土)～9月27日(日)	
パウンドテニス	—	十和田市	十和田市総合体育センター	2	10月3日(土)～10月4日(日)	
エアロビクス	—	平川市	ひらかのドームアリーナ	2	8月22日(土)～8月23日(日)	

第 81 回国民スポーツ大会冬季大会(岐阜県・山梨県・神奈川県・岩手県)

競技日程・会場一覧

1 会期

(1) スケート競技会(スピード)

令和 9 (2027) 年 1 月 26 日(火)～1 月 30 日(土) 5 日間

スケート競技会(ショートトラック、フィギュア)

令和 9 (2027) 年 2 月 5 日(金)～2 月 10 日(水) 6 日間

(2) アイスホッケー競技会

令和 9 (2027) 年 1 月 31 日(日)～2 月 4 日(木) 5 日間

(3) スキー競技会

令和 9 (2027) 年 2 月 18(木)～21 日(日) 4 日間

2 会場地

(1) スケート競技会 スピード：岐阜県恵那市

ショートトラック・フィギュア：山梨県甲府市

(2) アイスホッケー競技会：神奈川県横浜市

(3) スキー競技会：岩手県八幡平市

3 日程及び会場

(1) スケート競技会

・スピード(岐阜県)

式典・競技種目	日程	会場
開始式	未定	
表彰式	未定	
スピードスケート	1 月 26 日(火)～30 日(土)	クリスタルパーク恵那

・ショートトラック・フィギュア(山梨県)

式典・競技種目	日程	会場
開始式	実施しない	
表彰式	2 月 10 日(水)	小瀬スポーツ公園武道館
フィギュア	2 月 9 日(火)～10 日(水)	小瀬スポーツ公園アイスアリーナ
ショートトラック	2 月 5 日(金)～8 日(月)	小瀬スポーツ公園アイスアリーナ

(2) アイスホッケー競技会(神奈川県)

式典・競技種目	日程	会場
開始式	1月31日(日)	KOSE 新横浜スケートセンター
表彰式	2月4日(木)	
アイスホッケー	1月31日(日)	KOSE 新横浜スケートセンター
	～2月4日(木)	横浜銀行アイスアリーナ

(3) スキー競技会(岩手県)

式典・競技種目	日程	会場
開始式	2月18日(木)	盛岡市民文化ホール
表彰式	2月21日(日)	八幡平市安代地区体育館
ジャイアントスラローム	2月19日(金)～21日(日)	安比高原スキー場
クロスカントリー	2月19日(金)～21日(日)	田山クロスカントリーコース
スペシャルジャンプ	2月19日(金)	矢神飛躍台
コンバインド(SJ)	2月18日(木) ※予備ラウンド同日開催	
コンバインド(CC)	2月20日(土)	田山クロスカントリーコース

スポーツ // 文化活動 // ボランティア 団体活動のための補償制度

令和8年度
(2026年度)

保険期間
令和8年4月1日から
令和9年3月31日まで

小さな掛金、大きな補償

スポーツ 安全保険



スポあんネット

インターネットでかんたん加入

保険の詳細な内容、資料の請求は、
ホームページをご覧ください。



#スポーツチーム #大学クラブ #スポーツ少年団
#放課後事業 #総合型地域スポーツクラブ #教室
#部活動地域展開 #文化系サークル #ボランティア

加入区分・掛金 (年度初回加入時は4名以上)

加入対象者	補償対象となる団体・グループ活動	加入区分	年間掛金 (1人当たり)	
子ども (中学生以下)	スポーツ活動 文化活動 ボランティア活動 地域活動	A1	800円	
	スポーツ活動(指導・審判を含む) ●A2区分で対象となる活動も補償されます。	C 2,000円	2,000円	
大人 (高校生以上)	文化活動 ボランティア活動 地域活動 準備・片付け・応援・団体の送迎 ●スポーツ活動中の事故は補償の対象外です。	B 1,200円	1,200円	
	危険度の高いスポーツ(指導・審判を含む)	A2	800円	
全年齢		D	11,000円	
子ども (中学生以下)	ワ(個人活動補償型) イド コ イス	A1 区分の補償となる団体活動に加え、個人活動も対象	AW	1,450円
		C 区分の補償となる団体活動に加え、個人活動も対象	CW	5,000円
		B 区分の補償となる団体活動に加え、個人活動も対象	BW	5,000円

※特別支援学校高等部の生実を含みます。 年間掛金には、制度運営費(10円)が含まれます。
[注] C・B・CW・BW区分の年齢の判断は「令和8年4月1日」を基準とします。

本広告はスポーツ安全保険の概要を掲載しており、ご加入の際には、必ず「スポーツ安全保険のあらまし」及び「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は保険約款及び特約書によりますが、ご不明の点については(公財)スポーツ安全協会または東京海上日動火災保険(株)へお問い合わせください。

(引受幹事保険会社)

東京海上日動火災保険株式会社 ☎ 0120-233-801
担当課 公財第二部 文教公務室 (平日9:00~17:00)

(共同引受保険会社(令和8年4月予定))

あいおいニッセイ同和 共栄火災 損保ジャパン 大塚火災 東京海上日動 日清火災 三井住友海上 AGC損保

公益財団法人スポーツ安全協会
<https://www.sportsanzen.org>

※掲載日現在 2024.04.07

IV

資料



令和7(2025)年度 全国中学校体育大会等の上位成績

	団 体			賞 状				人	
	種 目	種 別	学 校 名	種 目	種 別	氏 名	学 校 名		
優 勝				ウエイトリフティング	男子81kg	田口 伸	3	タイ日本人学校	
	ホッケー	男子	東京	陸上競技	男子砲丸投	藤沼 北志	3	美田	
				水泳競技	女子400m自由形	鹿野 結愛	2	古里	
2 位				ウエイトリフティング	男子73kg	野澤 幹太	3	小山	
	ホッケー	女子	今市	陸上競技	女子1300m	萩原 沙音	3	七井	
				柔道	女子-48kg級	千塚 杏	3	三島	
3 位				弓道	男子	橋戸 隼人	2	札幌	
				ウエイトリフティング	女子55kg	渡邊 天音	3	吹上	
	ソフトボール	女子(ベストB)	黒岩ソフトボールクラブ	陸上競技	女子走高跳 5位	塚本 彩花	3	足利陸上クラブ	
ベスト8以内	弓道	男子(3位)	泉が丘	陸上競技	男子走高跳 8位	木村 優希	3	佐賀高附属	
	ホッケー	男子(ベストB)	今市	ソフトテニス	個人戦(ベストB)	鈴木 佳穂	3	栃木	
	アイスホッケー	男子(ベストB)	日光東アイスホッケークラブ			別府 海都	3		
				水泳競技	男子200mリレーフリー 6位	青山 博人	3	大田原	
				水泳競技	女子200m自由形 7位	鹿野 結愛	2	古里	
				剣道	男子1区 4位	本多 優希	3	三島	
				ウエイトリフティング	女子45kg級 4位	藤田 想乃	2	小山三	
				ウエイトリフティング	男子61kg級 4位	加藤 陽輝	3	関ヶ田	

[上位入賞数の推移]

	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人
優勝	2	0	1	3	2	2	3	13	0	0	0	2	0	0	0	2	1	3	0	1
2位	0	2	2	2	0	5	2	6	0	0	1	3	2	1	0	3	3	0	1	3
3位	1	3	1	4	1	4	1	4	0	0	1	2	2	5	2	6	2	3	1	4
小計	3	5	4	9	3	11	6	22	0	0	2	7	4	6	2	11	6	6	2	8
合計	6		13		14		26		0		9		10		13		12		10	

[4位～ベスト8の推移]

	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人
優 勝	5	10	8	12	3	14	2	17	0	0	6	9	12	15	5	6	1	10	4	8
合 計	15		20		17		19		0		15		27		11		11		12	
総 計	23		33		31		47		0		24		37		24		23		22	

● 栃木県競技力向上対策本部事務局 案内図



栃木県競技力向上対策本部事務局
 (栃木県生活文化スポーツ部スポーツ振興課内)

◆所在地 〒320-8501
 栃木県宇都宮市塙田1-1-20本館7階

◆電話 028-623-3368・3575
 FAX 028-623-3411

関係連絡先一覧

● 栃木県競技力向上対策本部

<事務局> 栃木県競技力向上対策本部事務局 (栃木県生活文化スポーツ部スポーツ振興課内)	〒 320-8501 栃木県宇都宮市塩田1-1-20 栃木県庁7階	TEL 028-623-3068-3070 FAX 028-623-3411
--	--------------------------------------	---

● 国民スポーツ大会 各実行委員会

【第80回大会本大会】 青の想めきあふれ、国スポ 「輝ける未来へ魂文の風に乗って」 青の想めきあふれ、国スポ・国スポ実行委員会事務局	〒 030-8370 青森県青森市長巻1-1-1 青森県庁東棟4階	TEL 017-734-9703 FAX 017-734-8012
【第80回大会冬季大会/スケート(スピード)競技会】 ◆いざ出陣！KOPU国スポ2027 山梨県実行委員会事務局	〒 400-8001 山梨県甲府市丸の内一丁目6番1号 山梨県観光文化・スポーツ部 国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会 環境省冬季大会担当	TEL 055-225-3959 FAX 055-225-1786
【第81回大会冬季大会/スケート(スピード)競技会】 クリスタル国スポ岐阜2027 岐阜県冬季国スポ実行委員会事務局	〒 500-8570 岐阜県岐阜市田町2丁目1番1号 観光文化スポーツ部 地域スポーツ課冬季国スポ推進係	TEL 058-272-8258 FAX 058-278-2604
【第81回大会冬季大会/アイスホッケー競技会】 かなよこ冬の国スポ2027 「君には見えるか！？時速150kmの氷球！！」 第81回国民スポーツ大会冬季大会 アイスホッケー競技会実行委員会事務局	〒 231-8588 神奈川県横浜市中区日本大通1 神奈川県文化スポーツ観光局 スポーツ課競技スポーツグループ	TEL 045-2285-0797 FAX
【第81回大会冬季大会/スキー競技会】 いっぴて八幡平雪の国スポ 「白銀の世界で舞く夢・絆」 岩手県実行委員会事務局	〒 029-8070 岩手県盛岡市内丸10番1号 岩手県文化スポーツ部 スポーツ振興課冬季国スポ推進担当	TEL 019-629-6494 FAX 091-629-6791
【第80回国民スポーツ大会開会ブロック大会】 第80回国民スポーツ大会開会ブロック大会 千葉県実行委員会	〒 260-8007 千葉県中央区市場町1-1 本庁舎18階 環境生活利便性スポーツ振興課 国民スポーツ大会開会ブロック大会班	TEL 043-223-4523 FAX 043-223-5716

● 公益財団法人栃木県スポーツ協会

<事務局> 公益財団法人栃木県スポーツ協会	〒 321-0132 栃木県宇都宮市西川田4-1-1 コンセキスタジアムとちぎ内	TEL 028-680-7771 FAX 028-615-5151
とちぎスポーツ医科学センター	〒 321-0132 栃木県宇都宮市西川田4-1-1 コンセキスタジアムとちぎ内	TEL 028-645-2080 FAX 028-645-2030

栃木県競技力向上基本計画 2030

[令和8(2026)年度～令和12(2030)年度]



令和8年3月策定

栃木県競技力向上対策本部

目次

第1章 改定の基本的な考え方	1
1 競技力向上基本計画改定の趣旨	
2 基本計画の位置付け	
3 基本計画の期間	
4 基本計画のスケジュール	
第2章 これまでの取組成果と課題	2～3
1 競技力の維持・組織運営体制の強化	
2 次世代アスリートの発掘・育成・強化	
3 指導者の養成・資質向上	
4 スポーツ医・科学の活用	
第3章 本計画の目標と競技力向上のための具体的な取組	
I 計画の目標	4
II 競技力向上のための4つの柱と具体的な取組	4～5
1 競技力向上のための組織運営体制の強化	
(1) とちぎ国体前後の取組成果の検証や課題分析による戦略的強化の充実	
(2) 強化指定による強化拠点校への活動支援の充実	
(3) 持続可能な県内選手育成体制の構築に向けた指導者の連携強化	
2 アスリートの発掘・育成・強化	6～7
(1) アスリートの発掘・育成・強化に関する取組の充実	
(2) スポーツ教室などの普及活動の充実	
(3) 有望なジュニアアスリートが在籍するクラブ等の支援対象の拡充	
(4) トップアスリートに関する支援の充実	
3 指導者の養成・資質向上	8
(1) 持続可能な競技力の向上に向けた県内指導者の確保	
(2) 外部指導者の招へいによる県内指導者の拡充	
(3) 指導者を育成する上級指導者の養成	
4 スポーツ医・科学の活用	9
(1) アスリートやチームのニーズに応じた医・科学的支援の充実	
(2) 国スポや全国大会での上位進出に向けた帯同トレーナー派遣の充実	
(3) 女性アスリート向けの研修や血液検査等の支援の充実	
第4章 競技力向上基本計画の推進体制	10
1 競技力向上対策本部の組織図	
2 競技力向上対策本部事務局の運営体制	
参考資料 栃木県競技力向上対策本部 本部委員/強化対策委員名簿	11

第1章 改定の基本的な考え方

1 競技力向上基本計画改定の趣旨

本県では、とちぎ国体・とちぎ大会終了後の安定した競技力の確保及び本県の恒久的なスポーツの振興を目的に「栃木県競技力向上基本計画(2023～2025)」を策定し、競技力の維持・向上に向けた各種施策を積極的に推進してきました。

栃木県競技力向上基本計画が令和7(2025)年度をもって終期を迎えることから、これまで取り組んできた成果や課題及び本県のスポーツを取り巻く環境の変化を踏まえ、持続可能な競技力の向上については県民総スポーツ社会の実現のため、「栃木県競技力向上基本計画 2030」(以下「基本計画」という。)を策定することとしました。

2 基本計画の位置付け

この基本計画は、「栃木県スポーツ推進計画 2030～とちぎスポーツ推進プラン～」に基づき、国の「第3期スポーツ基本計画」及び「栃木県重点戦略～新とちぎ未来創造プラン～」を踏まえ、競技スポーツの推進を目指す具体的指針として位置付けることとします。

3 基本計画の期間

この基本計画は、「栃木県スポーツ推進計画 2030～とちぎスポーツ推進プラン～」の計画期間に合わせ、令和8(2026)～令和12(2030)年度の5年間を対象期間とし、必要に応じて見直しを図ることとします。

4 基本計画のスケジュール

年 度	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)
国体/国スポ開催地	栃木	鹿児島	佐賀	滋賀	青森	宮崎	長野	群馬	鳥取
国スポ総合順位	2位	16位	25位	21位	(目標)国スポ天皇杯・皇后杯19位以内				
計画の目標	① 持続可能な競技力の向上を図るため、県内の競技力向上におけるアスリート発掘・育成・強化システムや施設 ② 国民スポーツ大会の総合成績における上位進出 ③ オリンピック・パラリンピック国際大会に代表される各種国際大会等にも出場できるアスリートも多数輩出				□ 持続可能な競技力の向上 □ 国民スポーツ大会の総合成績における上位進出 □ 各種国際大会等に本県域からのアスリートも多数輩出				
計画の推進	I 競技力の維持・組織運営体制の強化 II 次世代アスリートの発掘・育成・強化 III 指導者の養成・資質向上 IV スポーツ医・科学の活用				I 競技力向上のための組織運営体制の強化 II アスリートの発掘・育成・強化 III 指導者の養成・資質向上 IV スポーツ医・科学の活用				
イベント等	いちいちい会とちぎ国体・とちぎ大会				競技力向上基本計画見直し 令和5年10月1日(土)～10月13日(日) 宇都宮市 令和6年10月1日(土)～10月13日(日) 宇都宮市 令和7年10月1日(土)～10月13日(日) 宇都宮市 令和8年10月1日(土)～10月13日(日) 宇都宮市 令和9年10月1日(土)～10月13日(日) 宇都宮市 令和10年10月1日(土)～10月13日(日) 宇都宮市				
栃木県スポーツ推進計画	計画期間(5年)※2021-2025 改定				計画期間(5年)※2026-2030 改定				

第2章 これまでの取組成果と課題

1 競技力の維持・組織運営体制の強化

【具体的な取組・成果】

- ◆ 全国大会等で活躍が期待される選手やチームを「チームとちぎジュニア」、「有望選手・有望チーム」、「ジュニア強化指定チーム」として支援することにより、令和5年度以降に開催された特別国民体育大会及び第78・79回国民スポーツ大会では、各種指定選手・チームが中心となり獲得競技得点を押し上げました。
- ◆ 国際大会等で活躍が期待される選手を「オリパラアスリート指定選手」として支援することにより、パリオリンピック・パラリンピックにおいて、男子競泳の松下知之選手の銀メダル獲得をはじめ6名の指定選手が日本代表として活躍しました。
- ◆ 就業と競技継続の両立を希望する県内外のトップアスリートや指導者を対象に、県内協力企業等への就職を支援することにより、アスリートの県内定着を促し競技力の向上を図りました。

【今後の課題】

- ◇ 国民スポーツ大会（以下「国スポ」という。）の少年種別や全国中学校体育大会（全中）・全国高等学校総合体育大会（インターハイ）等の各種大会における入賞者数の維持が必要です。
- ◇ 関東ブロックに強豪都県が集中していることから、ブロック大会の突破への取組が必要です。
- ◇ 県内指導体制の充実を図るため、小・中学生世代、高校生世代、大学生世代等のカテゴリーの枠を超えた指導者の連携強化が必要です。

2 次世代アスリートの発掘・育成・強化

【具体的な取組・成果】

- ◆ 本県競技力の次代を担う小中学生を「チームとちぎジュニア」指定選手として、また、県内の優れた運動能力を持つ児童を「とちぎ未来アスリート」として発掘・育成支援することにより、特別国民体育大会及び第78・79回国スポでの指定選手及び育成選手の活躍につながりました。
- ◆ 栃木県中学校体育連盟（以下「中体連」という。）における強化練習会や指導者派遣等を支援することにより、少年種別競技の継続的なアスリートの強化につながりました。
- ◆ 栃木県高等学校体育連盟（以下「高体連」という。）における普及強化や中・高・大の連携を目的とした合宿や練習会等を支援することにより、練習環境の充実につながりました。

【今後の課題】

- ◇ 県内小・中学生等の人口減少に伴う、競技人口の減少対策が必要です。
- ◇ 部活動地域展開に向けた転換期であることから、中学生の活動環境の充実を図ることが必要です。
- ◇ 各種指定選手への持続可能な県内育成体制の構築に向けた更なる取組が必要です。

3 指導者の養成・資質向上

【具体的な取組・成果】

- ◆ 県内競技団体を対象に、組織のガバナンス^{*1}や指導者のコンプライアンス^{*2}等の強化を目的とした研修会を開催することにより、県内のスポーツインテグリティ^{*3}の向上を図りました。

*1 スポーツ団体が社会からの信頼される存在になるための法律やルール、倫理などを定める仕組みのこと。

*2 「法令遵守」を意味する。スポーツ指導者の場合は、「フェアプレーの精神」、「ハラスメントの防止」、「アンチ・ドーピング」等の遵守が含まれる。

*3 スポーツの「真実性」や「公平性」など、スポーツが様々な価値に欠けることなく優れる状態であること。

- ◆ 全国で活躍する外部指導者を「トップレベルコーチ」として招へいし、県内指導者を対象に最新の指導法や指導理論を学ぶための講習会等の開催を支援することにより、指導者のスキルアップを図ることができました。

【今後の課題】

- ◇ 指導者の更なる資質向上を図るため、指導者研修等の内容を充実させる必要があります。
- ◇ 猛暑等のスポーツ環境の変化に伴い、スポーツ活動中におけるアスリートの安全や安心の確保に向けた指導者のリスクマネジメント能力の向上が必要です。
- ◇ 県内指導体制の更なる充実を図るため、指導者を育成する上級指導者^{※4}の養成に取り組む必要があります。

4 スポーツ医・科学の活用

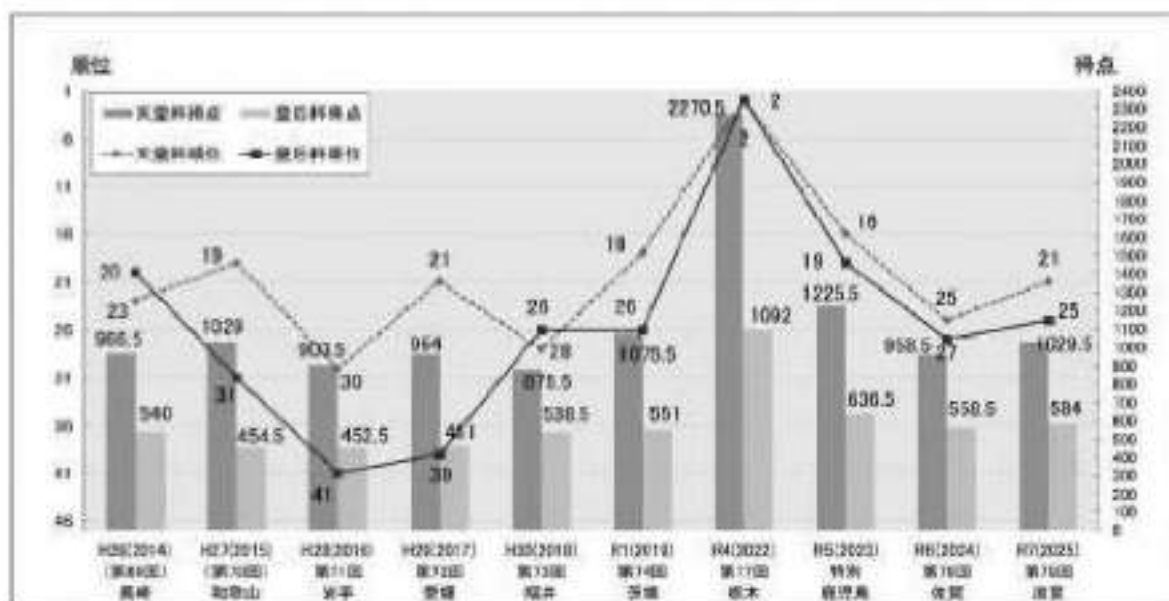
【具体的な取組・成果】

- ◆ 本県のアスリート及びチームが出場する大会や記録会等にトレーナーを派遣し、コンディショニングの向上を図ることにより、パフォーマンスが向上し好成績につながりました。
- ◆ 国スポや全国大会等で活躍できるよう、とちぎスポーツ医科学センター^{※5}(以下「TIS」という。)でのアスリートチェック(体力測定)や各種トレーニング指導、女性アスリート特有の課題解決等に向けた支援により、各種指定選手のパフォーマンスが向上し好成績につながりました。

【今後の課題】

- ◇ 「スピード」、「持久力」等のトレーニングサポートや「栄養面」、「メンタル」等のトータルサポートなど、アスリートやチームのニーズに応じたサポートを充実させる必要があります。
- ◇ 選手のコンディショニング維持・向上のため、引き続き、大会や記録会等へトレーナーを帯同させる必要があります。
- ◇ 女性アスリート特有の健康課題への適切な対処法については、選手だけでなく指導者やサポートスタッフにおいても深く理解する必要があります。

【図1】過去10年間の国体/国スポ大会における天皇杯・皇后杯順位及び総合得点の推移



※R2・R3については感染症流行のため未開催

※4 ここで挙げる上級指導者とは、日本スポーツ協会(JSPO)の公認上級指導員養成研修等の研修を受講する等、県内指導者を指導・育成できる指導者を指す。

※5 令和4(2022)年に本県開設された「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」を契機に、令和2(2020)年に栃木県総合運動公園内に開設

体力測定分野で(独)日本スポーツ振興センターが運営する、ハイパフォーマンススポーツセンター(IPSC)のネットワーク連携機関として指定されている。

第3章 本計画の目標と競技力向上のための具体的な取組

I 計画の目標

■ 国民スポーツ大会の総合成績における上位維持

【国スポにおける天皇杯・皇后杯の順位】

目標値：2030 天皇杯・皇后杯 19位以内 基準値：2025 天皇杯 21位、皇后杯 25位

■ 持続可能な競技力向上を図るため、競技団体のジュニア期から成年世代まで切れ目のない一貫指導を構築

【41競技団体の実施するカテゴリーを超えた指導者間情報交換会の実施率(2回程度/年)】

目標値：2030 実施率 80%(33団体)程度 基準値：2025 実施率 12%(5団体)

■ オリンピック・パラリンピック競技大会を代表とする各種国際大会に本県ゆかりのアスリートを多数輩出

【本県ゆかりのアスリートのオリ・パラ出場者の人数】

目標値：ロス(2028) 前回大会水準を維持 基準値：パリ(2024) オリ 15名、パラ 2名

II 競技力向上のための4つの柱と具体的な取組

1 競技力向上のための組織運営体制の強化

この基本計画に掲げる国スポ総合成績上位維持(天皇杯・皇后杯19位以内)の達成に向け、これまでの取組成果を基に戦略的な支援と、カテゴリーの枠を超えた指導者の連携強化によるジュニアから成年世代まで切れ目なく有望選手を育成するため、以下の事業を推進します。

(1) とちぎ国体前後の取組成果の検証や課題分析による戦略的強化の充実

○ 戦略的強化方針に基づく強化費の配分 》》》

国スポにおいて高得点を獲得するため、これまでの競技団体の強化状況を分析・検証の上、高得点獲得が期待できる競技を重点的に強化することで、国スポ総合成績の維持・向上に取り組みます。

○ 競技団体が実施する強化事業への支援 》》》

とちぎ国体の成果を一過性のものとせず、持続可能な競技力の向上を図るため、県内競技団体が実施する選手・チームの強化活動及び競技種目の普及活動を支援します。

○ 有望選手・チームの強化活動への支援 》》》

国スポにおいて特に活躍が見込まれ、かつ全国・国際大会等で活躍することが期待できる選手・チームを「有望選手」・「有望チーム」として指定し、県内の練習会や県外遠征等の強化事業に要する経費を支援することにより、更なる競技力の向上を図ります。

○ トップアスリート・指導者の確保 》》

全国・国際大会等で活躍するトップアスリートや指導者に対し、対策本部が運営する「とちぎアスリート・キャリアサポートセンター（職業紹介所）^{※6}」を活用し、県内協力企業への就職支援を継続することにより、本県の競技者及び指導者を確保し、安定した競技力を維持します。

○ スポーツ用具整備への支援 》》

高額等の理由により整備が困難なものをはじめ、競技規則の変更や老朽化等により改めて整備が必要と認められるスポーツ用具の整備を支援することにより、有望選手・チームの強化活動や競技団体の普及活動の活性化を図ります。

(2) 強化指定による強化拠点校への活動支援の充実

○ 高体連が指定する強化拠点校への支援 》》

国スポでの少年種別において、関東ブロック大会を突破し得点を獲得するためには、関東高等学校体育連盟及び(公財)全国高等学校体育連盟が主催する、関東大会及びインターハイで活躍できる選手やチームを支援する必要があることから、高体連に所属する35競技団体及び馬術競技（以下「専門部」という。）が推薦し、高体連が運動部活動拠点校^{※7}として指定したうち「重点強化拠点校」に対し、県内外の強化練習会や県外遠征等の強化事業を支援します。

(3) 持続可能な県内選手育成体制の構築に向けた指導者の連携強化

○ 指導者間の連携強化を目的とした研修会等の開催支援 》》

競技団体が実施する、指導カテゴリー（小・中・高・大学生等の成年種別）の枠を超えた情報交換会や有望選手の県内育成に向けた一貫指導体制の構築に関する研修会・講習会等の開催を支援します。



R7(2025)わたしのSHIGA輝く国スポ（第79回国民スポーツ大会：滋賀県）開会式 栃木県選手団

※6 就業と競技継続の両立を目指し県内外のトップアスリートや指導者を対象とした職業紹介所(無料)を対策本部内に設置 (029 頁説)

※7 各専門部が推薦する運動部を「重点強化拠点校」、「強化推進拠点校」、「普及育成推進拠点校」として指定し、各高等学校における部活動の活性化を推進している。

2 アスリートの発掘・育成・強化

競技人口の拡大及び競技力の底上げを目指した発掘・育成に向けた取組や各年代における強化事業への支援を充実させ、部活動の地域展開を契機とした地域クラブ等との連携強化を図るため、以下の事業を推進します。

(1) アスリートの発掘・育成・強化に関する取組の充実

○ とちぎ未来アスリートプロジェクトの充実

これまでの各種プログラムの取組により、プロジェクト在籍者や卒業生から国スポや国際大会等への出場者を輩出するなど、着実に成果が現れてきています。今後は、これらの大会の入賞者輩出に向け、発掘プログラムの充実を図ります。

○ 育成プログラム内容の充実

これまでの栄養学や医・科学的知見に基づくトレーニングプログラムに加えて、発育発達プログラムやコミュニケーション能力開発プログラム等を導入するなど、育成プログラムの充実に努めます。

○ バスウェイ^{※8}プログラムの充実

優れた運動能力や才能を秘めた参加者に、競技体験プログラムを通して多くのスポーツに触れる機会を創出するとともに、新たに取り組む競技が定まった、もしくは競技転向を希望する参加者には、関係団体への橋渡しをするなど、きめ細やかなサポートに努めます。

○ 中央競技団体(NF^{※9})との連携強化

日本スポーツ振興センター(以下「JSC^{※10}」という。)やNFが実施する全国規模のタレント発掘事業(J-STAR プロジェクト等)との連携を強化するとともに、JSC等が開催する中央研修会に積極的に参加することで最新の情報収集に努めます。

○ 次世代アスリートの選考

国スポ及び各種全国大会等で活躍が期待できるジュニア選手を「チームとちぎジュニア選手」として指定することで本県への帰属意識を高めるとともに、指定選手が所属する競技団体が実施する強化練習会や合宿、競技人口の拡大を目的とした普及イベント等の活動を支援します。

(2) スポーツ教室などの普及活動の充実

○ 少年種別(中学生選手)の支援

中体連に加盟している専門部(22 団体)及び国スポ正式種目競技団体等が実施する、中学生選手の発掘や普及を目的とした体験教室等の開催や競技力の向上を目的とした強化練習会等の開催を支援するとともに、本県開催で迎える関東・全国大会^{※11}(以下「上位大会」という。)を契機に、該当専門部が更なる強化を図るための活動及び本県指導者の資質向上を目的とした上位大会への派遣活動を支援します。

※8 ここでは「バスウェイ」とは、「子どもがスポーツに触れてからトップアスリートになるまでの過程」と定義しており、活動競技の決定や競技転向による競技団体への橋渡しや日本代表として活躍が期待できる発掘・育成選手を「入会」などと広い意味が含まれる。

※9 国内の各スポーツ競技を統括する全国規模の団体「National Federations」の略称

※10 独立行政法人 日本スポーツ振興センター「JAPAN SPORT COUNCIL」の略称

※11 ここでは「本県で迎える関東・全国大会」とは、関東及び全国中学校体育連盟が主催する大会を指す。

○ 少年種別（高校生選手）の支援 》》

高体連に加盟している専門部が実施する、競技の普及・強化を目的とした中高連携事業や高大連携事業を支援するとともに、本県開催で迎える上位大会^{※12}を契機に、該当専門部が更なる強化を図るための活動及び本県指導者の資質向上を目的とした上位大会への派遣活動を支援します。

(3) 有望なジュニアアスリートが在籍するクラブ等の支援対象の拡充

○ ジュニア強化指定チームの拡充 》》

今後、国スポ等において活躍が期待されるジュニア世代の児童・生徒を育成しているクラブを「ジュニア強化指定チーム」として指定し、強化活動を支援します。

○ 少年種別・成年種別の有望選手・チームの支援 》》

国スポ正式種目に取り組んでいる少年種別・成年種別の選手であり、主力選手として活躍が期待できる選手・チームを「有望選手」、「有望チーム」として指定することで、本県への帰属意識を高めるとともに、国スポ入賞に向けた強化活動を支援します。

(4) トップアスリートに関する支援の充実

○ トップアスリートへの支援 》》

日本代表・代表候補としてオリンピックやパラリンピック、世界選手権等に出場が期待される本県ゆかりのトップアスリートを「オリパラアスリート指定選手」として指定し、メダル獲得に向けた強化活動等を支援します。

※12 ここで挙げる「本県で迎える上位大会」とは、関東及び全国高等学校体育連盟が主催する大会を指す。

3 指導者の養成・資質向上

持続可能な競技力の向上に向け県内指導者の確保を図るとともに、指導者を育成する上級指導者を養成することで県内指導者の量的・質的拡充を図るため、以下の事業を推進します。

(1) 持続可能な競技力の向上に向けた県内指導者の確保

○ 指導者の更なる資質向上に向けた研修会の充実

競技団体における中核的指導者を対象に、最新の指導技術等を学ぶための各種研修会や、競技の垣根を越えた交流の場を創出することで、指導者のスキルアップ及び競技団体の指導体制の充実に努めるとともに、組織のガバナンスや指導者のコンプライアンス等を強化することにより、県内のスポーツインテグリティ向上に取り組みます。

また、気候変動を含むスポーツ環境の変化に伴い、スポーツ活動中におけるアスリートの安全・安心の確保に向けた、県内指導者のリスクマネジメント能力向上に取り組みます。

○ チームとちぎ強化指定コーチによる強化指導体制の充実

各競技団体の推薦を受けた指導者を「チームとちぎ強化指定コーチ」に指定し、その活動を支援することで、更なる指導体制の強化を図ります。

(2) 外部指導者の招へいによる県内指導者の拡充

各競技団体において、国内トップレベルの実績と指導力を持つ指導者を「トップレベルコーチ」として県内に招へいすることで、県内指導者が最先端の指導法を習得するとともに、新たな指導者の掘り起こしを目的に成年選手や競技引退者等を受講者として積極的に募集することで、県内指導者の量的拡充に取り組みます。

(3) 指導者を育成する上級指導者の養成

最新の指導技術の習得だけでなく、スポーツの価値を脅かす暴力や各種ハラスメント等を遵守するなど、高い指導力と倫理観を兼ね備えた上級指導者を養成することで、県内指導者の質的拡充に取り組みます。

4 スポーツ医・科学の活用

国スポや全国大会等で高いパフォーマンスを発揮するには、医・科学的知見に基づいたサポートが重要であることから、TISを活用した以下の事業を推進します。

(1) アスリートやチームのニーズに応じた医・科学的支援の充実

○ ニーズに応じた医・科学的支援の充実

パフォーマンス分析や提案型の総合サポート、各種測定会によるメディカルサポートなど、アスリートが抱える様々な医・科学的ニーズに対応する取組を支援します。

○ 医・科学サポート支援の充実

国スポや全国大会等において活躍が期待できる各種指定選手・チーム（高等学校運動部活動拠点校を含む）及び、オリンピック・パラリンピック競技会等の国際大会において活躍が期待できる選手に対し、TISの利用料金を支援します。

(2) 国スポや全国大会での上位進出に向けた帯同トレーナー派遣の充実

○ アスリートのパフォーマンス向上に向けた帯同トレーナーの充実

強化練習会や強化合宿及び各種大会等に帯同トレーナーを派遣し、各種指定選手・チームのコンディショニングサポートを充実します。

○ 帯同トレーナーの資質向上

アスレティック・トレーナー(AT)や理学療法士等のスポーツ医・科学サポートを担う優秀な人材が栃木県選手団に定着することを目的とした取組を支援します。

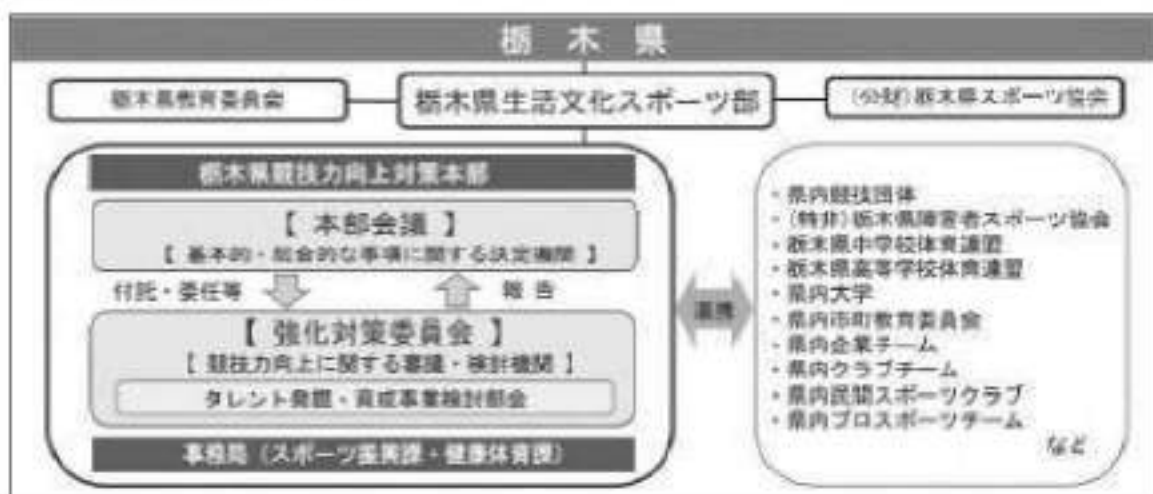
(3) 女性アスリート向けの研修や血液検査等の支援の充実

女性アスリート特有のスポーツ障害については、選手及び指導者等の相互理解を深めることが重要であることから、女性アスリートの三主徴^{※13}をテーマとした研修会の開催や健康相談及び血液検査等の取組を支援します。

※13 女性アスリートの健康管理上の問題点として「利用可能エネルギー不足」、「無月経」、「骨粗鬆症」の症状は、「女性アスリートの三主徴」と呼ばれている。

第4章 競技力向上基本計画の推進体制

1 競技力向上対策本部の組織図



2 競技力向上対策本部事務局の運営体制

競技力向上対策本部事務局の支援体制として、以下の事業を推進します。

○ 競技力向上対策本部会議の開催

本県の安定した競技力の確保及び恒久的なスポーツの振興を目指し、本県スポーツの発展に寄与することを目的に、本部長(副知事)が委嘱する県スポーツ協会、TIS、県経営者協会、県経済同友会、学校教育関係団体、学識経験者等の委員を構成メンバーとする本部会議を開催し、事業計画及び予算・決算等に関することを審議・決定するとともに、専門的知見から競技力向上対策について意見交換を行います。

○ 強化対策委員会の開催

本部長が委嘱する学識経験者等を構成メンバーとする強化対策委員会(2回/年)を開催し、専門的知見から本部会議から付託及び委任された専門的な事項について調査・審議を行います。

○ タレント発掘・育成事業検討部会の開催

強化対策委員長が委嘱する学識経験者等を構成メンバーとする検討部会(3回程度/年)を開催し、専門的知見から次世代を担う有望なジュニアアスリートの発掘・育成に関する意見交換を実施することでプログラム改善等の検討を行います。

○ 競技団体代表者会議の開催

県内競技団体関係者を対象とした代表者会議を開催し、各事業内容や補助金に係る事務手続き等について説明することで、事業が円滑に実施できるよう支援します。

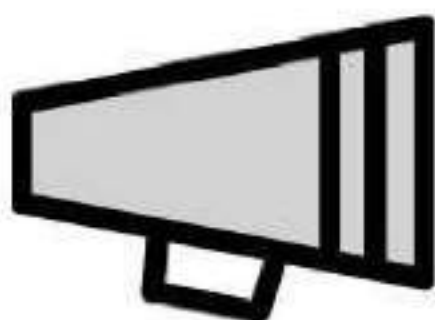
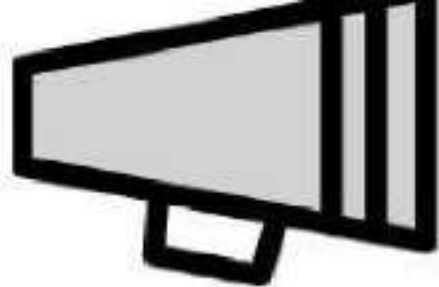
○ 競技団体別ヒアリングの実施

競技団体(41競技団体)との個別ヒアリング(2回程度/年)を開催し、国スポに向けた強化事業の進捗状況を確認するとともに、競技団体特有の課題や強化対策等を協議します。

番号	役職	氏名	所属/役職等
1	本部長	北村 一郎	栃木県副知事
2	副本部長	北條 俊明	(公財)栃木県スポーツ協会 理事長
3	副本部長	中村 和史	生活文化スポーツ部 部長
4	委員	板橋 一好	栃木県スポーツ推進審議会 委員
5	委員	小山さなえ	山梨学院大学スポーツ科学部 副学部長 教授
6	委員	池田 達昭	とちぎスポーツ医科学センター センター長
7	委員	村上 晃史	(一社)宇都宮村上塾(競技団体代表)
8	委員	海老原有希	国士舘大学 体育学部 講師(オリンピック代表)
9	委員	増渕 倫巳	栃木県車いすバスケットボール連盟(パラアスリート代表)
10	委員	駒崎 茂	(特非)栃木県障害者スポーツ協会 会長
11	委員	岡部 光子	県議会生活保健福祉委員会 委員長
12	委員	青木 勲	(一社)栃木県経営者協会 会長
13	委員	藤井 昌一	(公社)栃木県経済同友会 筆頭代表理事
14	委員	熊木 則裕	栃木県教育委員会事務局健康体育課 課長
15	委員	橋本 真己	栃木県中学校体育連盟 会長
16	委員	大牧 稔	栃木県高等学校体育連盟 会長
17	委員	大橋 芳樹	栃木県私立中学高等学校連合会 副会長
18	委員	相馬 憲一	大田原市 市長(栃木県市長会代表)
19	委員	星野 光利	上三川町 町長(栃木県町村会代表)
20	監事	福田 研一	栃木県会計局 局長
21	監事	齋藤 智明	(公財)栃木県スポーツ協会 監事

栃木県競技力向上対策本部 強化対策委員

番号	役職	氏名	所属/役職等
1	委員長	北條 俊明	(公財)栃木県スポーツ協会 理事長
2	副委員長	大貫 大輔	栃木県生活文化スポーツ部スポーツ振興課 課長
3	委員	鈴木いづみ	(公財)日本スポーツ協会公認スポーツ栄養士
4	委員	笠原 彰	作新学院大学経営学部 教授
5	委員	島田真梨子	とちぎスポーツ医科学センター 主幹研究員
6	委員	小金沢 茂	(特非)栃木県障害者スポーツ協会 事務局次長
7	委員	田代 哲郎	(公財)河内奨学財団 事務局次長
8	委員	森 雄二	北関東総合警備保障(株) 柔道部監督
9	委員	佐藤 智恵	元グラッパ・ミズライ×OrangeUnited 監督
10	委員	佐藤 智信	白鷺大学女子バスケットボール部 監督
11	委員	鈴木 智喜	栃木県中学校体育連盟 理事長
12	委員	小林 弓子	栃木県高等学校体育連盟 理事長



栃木県スポーツコミッション

スポーツチーム 紹介ページ開設

子供から大人まで「栃木県のチーム」
紹介ページが無料で作成できます！

[詳しくはこちら](#)

■お問い合わせ先

栃木県スポーツ振興課
電話番号：028-623-3604

栃木県スポーツ協会
028-680-7771

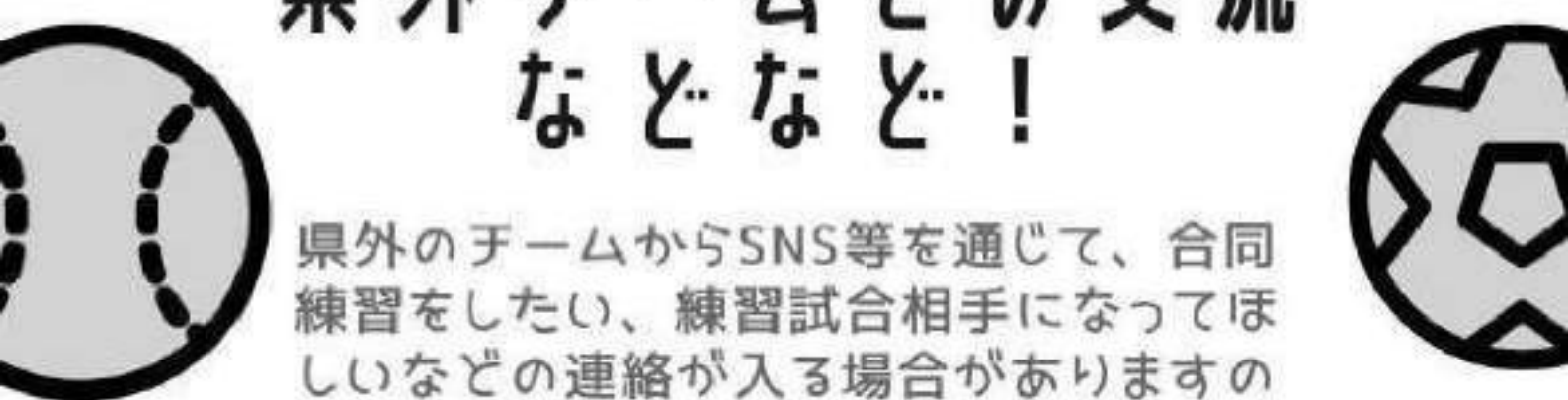


掲載のご依頼お待ちしております



部員募集 情報発信

合同練習・練習試合
県外チームとの交流
などなど！



県外のチームからSNS等を通じて、合同練習をしたい、練習試合相手になってほしいなどの連絡が入る場合がありますので、県外のチームとの交流の機会にもご利用ください。

栃木県スポーツ振興課



栃木県スポーツ協会



TOCHIGI

